

**別冊**

**「みどり市教育行政方針」により計画及び実施された  
主要事業の点検・評価の結果**

**【令和4年度 事業】**

**(55 事業)**

**令和5年12月**

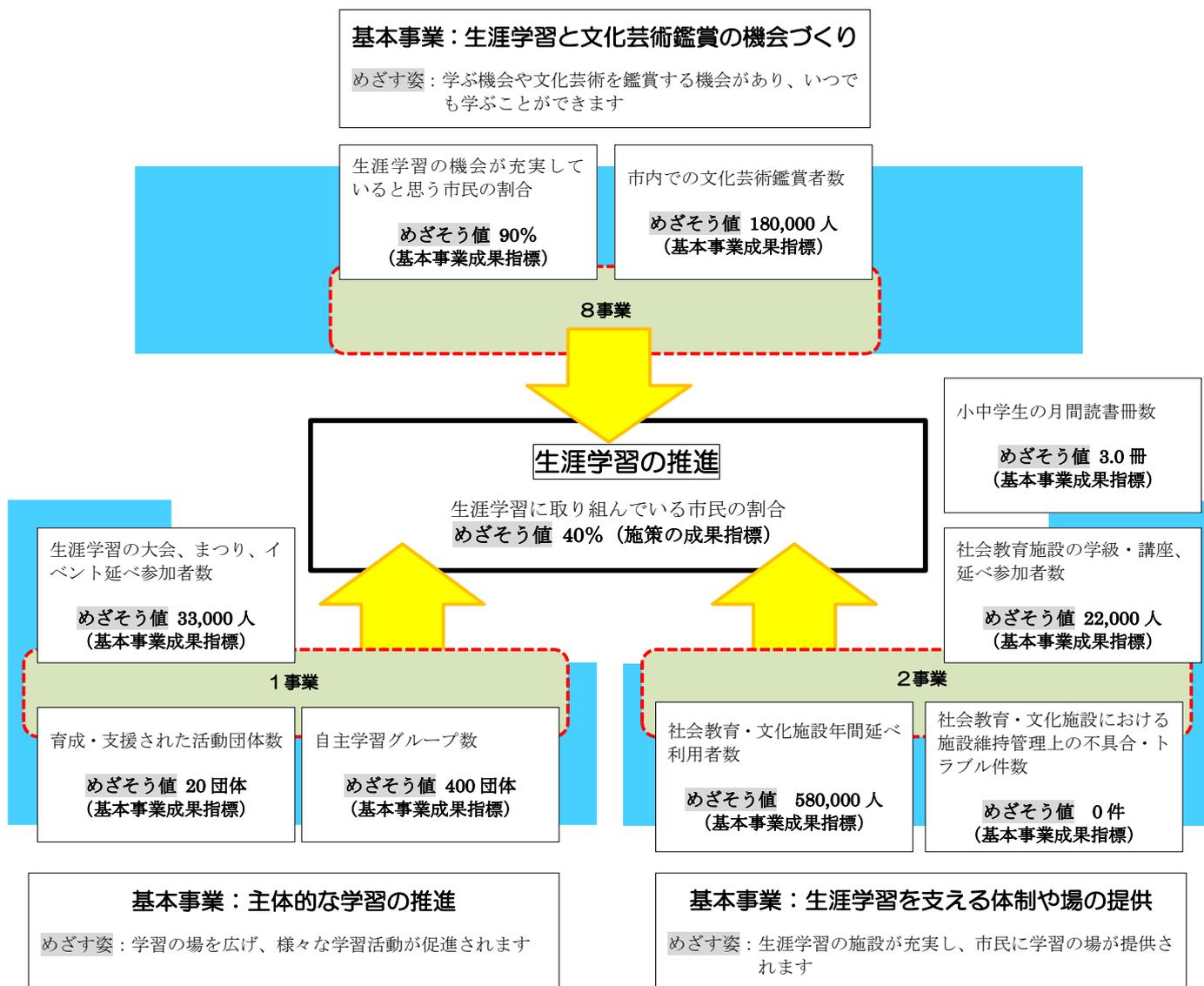


教育委員会点検・評価対象事業

第2次みどり市総合計画			みどり市教育行政方針					シート No.						
施策名	体系コード	基本事業名	事業名	重点施策コード	事業担当課									
生涯学習の推進	2	1	生涯学習と文化芸術鑑賞の機会づくり	1	ア	(ア)	社会教育課	1						
						(イ)	社会教育課	2						
						(ウ)	社会教育課	3						
					イ	(ア)	富弘美術館	4						
						(イ)	富弘美術館	5						
						(エ)	社会教育課	6						
						(ケ)	社会教育課	7						
						(サ)	社会教育課	8						
		2	主体的な学習の推進		どこでも出前講座事業	(2)	ア	(ウ)	社会教育課	9				
								3	生涯学習を支える体制や場の提供	(3)	ア	(ア)	社会教育課	10
												(ウ)	社会教育課	11
教育の充実	2	1	幼児教育の充実	2	(1)	イ	-	学校教育課	12					
							ウ			-				
										エ	-			
						エ					(イ)	学校教育課	13	
							オ				(ア)	学校教育課		
										(イ)	学校教育課			
		キ	(ア)		学校教育課	14								
			(イ)		学校教育課	15								
			2		確かな学力の向上	学力向上対策事業	(2)	イ	(ア)	学校教育課	16			
		(ク)							学校教育課	17				
		ウ						(イ)	学校教育課	18				
								(カ)	学校教育課	19				
		3	豊かな心の育成		児童生徒豊かな心と探究心育成事業	(3)	ア	(イ)	学校教育課	20				
								(イ)	学校教育課					
								(イ)	学校教育課					
							エ	(ア)	学校教育課	21				
								(イ)	学校教育課	22				
								4	健やかな体の育成	中体連活動費補助事業	(4)	ア	(イ)	学校教育課
		(イ)	学校教育課		24									
健康管理事業	イ	(ア)	学校教育課	25										
5	教職員の資質向上	学級経営充実事業	(5)	ア	(ア)	学校教育課	26							
					イ	(ア)	学校教育課	27						
6	教育環境の整備と充実	スクールソーシャルワーカー配置事業	(6)	ア	(エ)	学校教育課	28							
					イ	(ア)	学校教育課	29						
						(イ)	学校教育課	30						

教育委員会点検・評価対象事業

第2次みどり市総合計画				みどり市教育行政方針					シート No.					
施策名	体系コード		基本事業名	事業名	重点施策コード		事業担当課							
教育の充実	2	2	6	教育環境の整備と充実	教育支援センター運営事業	2	(6)	イ	(ウ)	学校教育課	31			
					いじめ防止対策推進事業				(エ)	学校教育課	32			
					学力向上対策支援員事業				(オ)	学校教育課	33			
					きめ細かな指導充実支援員配置事業				(カ)	学校教育課	34			
					学校情報整備管理運営事業				(ク)	学校教育課	35			
					部活動指導員配置事業			エ	(イ)	学校教育課	36			
					教職員健康管理事業				(ウ)	学校教育課	37			
					語学指導者設置事業			オ	(ア)	学校教育課	38			
					教育支援員配置事業				(イ)					
					小学校通級指導教室運営事業			カ	(ア)	学校教育課	39			
					防犯カメラ設置事業				(ア)	学校教育課	40			
					就学援助事業			キ	(ウ)	学校教育課	41			
					特別支援学級補助事業				(イ)	(ウ)	学校教育課	42		
					特別支援教育就学奨励費事業					(ウ)	学校教育課	43		
									44					
文化財の保護と活用	2	3	1	文化財の保護 文化財の活用	3	(1)	ア	(ア)	文化財課	45				
								(ウ)			(ア)	(イ)		
			2	文化財の活用			(1)	ア	(イ)	文化財課	46			
												(2)	イ	(ア)
			2	文化財の活用 博物館・展示施設の適正管理			(2)	ア	(ア)	文化財課	48			
												ウ	(ア)	(イ)
													エ	(ア)
3	大間々博物館事業	(2)	エ	(ウ)	文化財課	49								
							(3)	ア	(ア)	(イ)				
市民スポーツの充実	2	4	1	スポーツ活動の場づくり	4	(1)	イ	(イ)	社会教育課	50				
			2	スポーツ活動の推進					(2)	ア	(ア)	社会教育課	51	
			3	スポーツ活動の支援					(3)	ア	(ア)	社会教育課	52	
安全な暮らしの推進	3	3	4	青少年の健全育成の推進	5	(1)	ア	(ア)	社会教育課	53				
								(イ)	社会教育課	54				
人権尊重の推進	7	2	1	人権教育・啓発の推進	6	(1)	ア	(ア)	(イ)	社会教育課	55			



基本事業名	番号	事業名	担当課	評価		
				2年度	3年度	4年度
生涯学習と文化芸術鑑賞の機会づくり	1	生涯学習大会事業	社会教育課	E	E	B
	2	高齢者教室事業	社会教育課	E	B	B
	3	各公民館市民講座事業	社会教育課	E	C	C
	4	「豊かな心」の充実事業	富弘美術館	B	B	B
	5	公募展開催事業	富弘美術館	B	B	B
	6	文化ホール主催事業	社会教育課	B	B	C
	7	公民館文化祭事業	社会教育課	E	E	B
	8	文化芸術活動事業	社会教育課	C	C	B
主体的な学習の推進	9	どこでも出前講座事業	社会教育課	B	B	B
生涯学習を支える体制や場の提供	10	図書館事業	社会教育課	B	B	C
	11	多世代交流館事業	社会教育課	B	B	B



教育委員会事業評価シート

No.1

◎総合計画における事業目標

		担当課	社会教育課		
総合計画施策名	生涯学習の推進	体系コード	2	1	1
施策の成果指標	生涯学習に取り組んでいる市民の割合	めざそう値 (2022年度)	40%		

基本事業名	生涯学習と文化芸術鑑賞の機会づくり				
基本事業成果指標	生涯学習の機会が充実していると思う市民の割合	めざそう値 (2022年度)	90%		
	市内での文化芸術鑑賞者数		180,000人		
	社会教育施設の学級・講座延べ参加者数		22,000人		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	生涯学習大会事業	重点施策 コード	1	(1)	ア	(ア) (イ)
事業の目的 (何をやるのか)	学ぶことの楽しさや生涯学習の重要性を再確認するとともに、市民の主体的な活動をより豊かなものにするを目的として、生涯学習大会を開催する。					
4年度事業の 取組内容	生涯学習活動の重要性を再認識し、市民の主体的な活動をより豊かなものにするを目的とし、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、2年ぶりに生涯学習大会を開催した。併せて、文化・スポーツ分野で活躍をして児童・生徒及び市民の功績を顕彰する表彰を併催した。					

実施結果と成果	◎ この事業を行うための費用																													
	事業 コス ト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)																								
(何をどのようにして、何がどのようになったのか)	<table border="1"> <tr> <td>事業費 ① (千円)</td> <td></td> <td>0</td> <td>5</td> <td>365</td> <td>345</td> </tr> <tr> <td>人件費(概算) ② (千円)</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>総コスト ①+② (千円)</td> <td></td> <td>0</td> <td>5</td> <td>365</td> <td>345</td> </tr> <tr> <td>うち一般財源 (千円)</td> <td></td> <td>0</td> <td>5</td> <td>365</td> <td>345</td> </tr> </table>						事業費 ① (千円)		0	5	365	345	人件費(概算) ② (千円)		0	0	0	0	総コスト ①+② (千円)		0	5	365	345	うち一般財源 (千円)		0	5	365	345
	事業費 ① (千円)		0	5	365	345																								
人件費(概算) ② (千円)		0	0	0	0																									
総コスト ①+② (千円)		0	5	365	345																									
うち一般財源 (千円)		0	5	365	345																									
実績・成果		区分	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度																								
		教育委員会表彰者	団体0、個人6	—	—	個人5																								
		来場者	291人	—	—	214人																								
		参加者の満足度	91%	—	—	89%																								
<p>生涯学習大会の実施内容</p> <p>生涯学習活動紹介 工謳吹奏楽団による発表</p> <p>生涯学習講演会 講演:元バレーボール日本代表選手 大山 加奈さん 演題:「繋ぐ～バレーボールが教えてくれたこと～」</p>																														

新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	入場時の手指消毒、体温確認、定期的な換気、来場者の間隔確保等の感染症対策を徹底した。	事業評価 (数値化)					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		4	5	3	3	3.8	B

今後の課題と改善に向けた方向性	関係者や市民が一堂に会し、被表彰者を称え、市民の活動発表や講演会を見聞きし、思いや感動を共有する機会は重要なものと考えています。今後も、市民の主体的な活動をより豊かなものにするを目的として、事業を実施していきたいと考えています。	<p>■ 2年度 ■ 3年度 ■ 4年度</p>			
		必要性	有効性	経済効率	正確信頼

教育委員会事業評価シート

No.2

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	生涯学習の推進	担当課	社会教育課		
施策の成果指標	生涯学習に取り組んでいる市民の割合	体系コード	2	1	1
		めざそう値 (2022年度)	40.0%		

基本事業名	生涯学習と文化芸術鑑賞の機会づくり				
基本事業成果指標	生涯学習の機会が充実していると思う市民の割合	めざそう値 (2022年度)	90.0%		
	小中学校の月間読書冊数		3.0冊		
	市内での文化芸術鑑賞者数		180,000人		
	社会教育施設の学級・講座延べ参加者数		22,000人		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	高齢者教室事業	重点施策 コード	1	(1)	ア	(ウ)
事業の目的 (何をやるのか)	高齢者の社会参加と役割を学びながら、豊富な経験・知識を社会に還元するなど、生きがいのある生活を送るための学習を、ICTの活用など新たな公民館活動として実施して行く。					
4年度事業の 取組内容	高齢者の社会参加、役割、生きがい対策をねらいとして、笠懸、大間々地域では地元の老人クラブ連合会役員との協力のもと開催。東地域では学級生の意見を取り入れて内容を決定。いずれも参加者のニーズに沿った事業内容としている。高齢者を対象とする事業のため、令和4年度の事業実施にあたっては新型コロナウイルス感染症に細心の注意を払い、感染防止対策を徹底した。					

実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのように変わったのか)	◎ この事業を行うための費用						
	事業 コスト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)	
	事業費	①(千円)	34	33	199	120	
	人件費(概算)	②(千円)	0	0	0	0	
	総コスト	①+②(千円)	34	33	199	120	
		うち一般財源(千円)	34	33	199	120	
	講座の実績・成果 (館外研修除く)	公民館	区分	R2年度	R3年度	R4年度	
		笠懸	講座開催回数	中止	4回	7回	・笠懸公民館では、視察研修を含め全7回の講座を実施した。前年度の参加者アンケートで要望の多かったテーマから、受講者の希望に沿った内容の講座を実施した。 ・大間々公民館では、地元老人クラブ連合会と協議し、感染機会減少のため回数を縮小、また十分なソーシャルディスタンスをとれるよう参集人員も縮小して開催した。 ・東公民館では、参加者がコロナ禍前の約半分となったが、3年ぶりに寿大学を開催することができた。
			平均参加者数	—	109人	94人	
			延べ参加者数	—	436人	656人	
		大間々	講座開催回数	中止	中止	3回	
			平均参加者数	—	—	19人	
		延べ参加者数	—	—	56人		
		東	講座開催回数	中止	中止	7回	
			平均参加者数	—	—	13人	
			延べ参加者数	—	—	89人	

新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	笠懸公民館では、密を避けるため広い会場(グンエイホールパル)での開催や、視察研修の定員を縮小するなど、感染対策に十分配慮して事業を実施した。検温・手指消毒・マスクの着用・使用後の会場の消毒も徹底した。					
	事業評価(数値化)					
	必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
5	4	4	3	4.0	B	

今後の課題と改善に向けた方向性	事業の対象となる高齢者が増加していることから、公民館としても重点事業として進める必要がある。 笠懸地域では、コロナ禍での事業実施のため、体を動かす講座が行えなかった。要望もあるため、健康体操を組み込めれば、より多くの参加者が見込める。 大間々地域では約7割がリピーターで、対象者が固定化している。公民館移転により、会場の人員定数も変わったので、会場や内容に検討が必要である。 東地域は、高齢化が進み参加者も減少しているため、地域内の新規参加者も減少しているため、地域外からの参加を模索していく必要がある。 大間々、東地域では新規の参加者が増えるように、情報発信の方法や高齢者の関心の高い題材の選定など開催方法を工夫する必要がある。																						
	<p>■ 2年度 ■ 3年度 ■ 4年度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要性</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>経済効率</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>正確信頼</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>				項目	2年度	3年度	4年度	必要性	5	5	5	有効性	4	4	4	経済効率	3	3	4	正確信頼	4	4
項目	2年度	3年度	4年度																				
必要性	5	5	5																				
有効性	4	4	4																				
経済効率	3	3	4																				
正確信頼	4	4	3																				

教育委員会事業評価シート

No.3

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	生涯学習の推進	担当課	社会教育課		
施策の成果指標	生涯学習に取り組んでいる市民の割合	体系コード	2	1	1
		めざそう値 (2022年度)	40.0%		

基本事業名	生涯学習と文化芸術鑑賞の機会づくり				
基本事業成果指標	生涯学習の機会が充実していると思う市民の割合	めざそう値 (2022年度)	90.0%		
	小中学生の月間読書冊数		3.0冊		
	市内での文化芸術鑑賞者数		180,000人		
	社会教育施設の学級・講座延べ参加者数		22,000人		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	各公民館市民講座事業	重点施策 コード	1	(1)	ア	(ウ)
事業の目的 (何をやるのか)	公民館の学習機会提供事業の中で、集約的な事業と位置づけ、ただ単に知識の習得に終わることなく、「学習から実践へ」を基本に学習を進める。					
4年度事業の 取組内容	講座の企画・運営等は住民参画による市民講座運営委員会を中心に進めた。 笠懸公民館では、『知識を身に付け、智慧を育む』と題し、SDGsをテーマに全5回開催した。 大間々公民館では、『心に響く思い出の歌を届けます』をテーマとした演奏会を開催した。					

実施結果と成果	◎ この事業を行うための費用					
	事業 コスト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)
(何をどのようにして、何がどのようになったのか)	実績・ 成果	公民館	委員会開催数(回)	3	9	9
			講座回数(回)	中止	3	5
		笠懸	延べ参加者数(人)	—	275	187
			満足度(%)	—	91	97
	大間々	委員会開催数(回)	2	2	5	
		講座回数(回)	中止	中止	1	
		延べ参加者数(人)	—	—	104	
		満足度(%)	—	—	84	

笠懸公民館では、市民講座運営委員会を開催して実施内容の検討を重ね、SDGsをテーマにした連続講座を企画し、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で全5回の講座を実施した。  
大間々公民館では、市民講座運営委員会で開催について検討し、様子を見ながらまずは1回の講座を実施した。

新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	笠懸公民館・大間々公民館とも、手指消毒、体温確認、換気、マスクの着用、定員縮小、受講者の間隔確保等の感染対策を行った。					
	事業評価 (数値化)					
	必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
	4	3	3	4	3.5	C

今後の課題と 改善に向けた 方向性	笠懸公民館では、テーマを決めて連続講座として実施しているが、回が進むにつれ参加人数が減少してしまうのが課題である。次回もぜひ参加したいと思える魅力ある講座にする工夫、さらには参加者同士の交流から新たなサークルが誕生する流れを作っていく必要がある。 大間々公民館では、運営委員の高齢化・確保が課題であり、企画し運営するためのマンパワーが不足しており年間開催数を抑えざるを得ない状況にある。市民講座参加者などに声をかけるなど、人材確保に努めたい。																						
	<p>■ 2年度 ■ 3年度 ■ 4年度</p> <table border="1"> <caption>事業評価 (数値化) の推移</caption> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要性</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>経済効率</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>正確信頼</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>				評価項目	2年度	3年度	4年度	必要性	4	4	4	有効性	3	3	3	経済効率	3	3	3	正確信頼	4	4
評価項目	2年度	3年度	4年度																				
必要性	4	4	4																				
有効性	3	3	3																				
経済効率	3	3	3																				
正確信頼	4	4	4																				

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	生涯学習の推進	担当課	富弘美術館		
施策の成果指標	生涯学習に取り組んでいる市民の割合	体系コード	2	1	1
		めざそう値 (2022年度)	40%		

基本事業名	生涯学習と文化芸術鑑賞の機会づくり				
基本事業成果指標	生涯学習の機会が充実していると思う市民の割合	めざそう値 (2022年度)	90%		
	市内での文化芸術鑑賞者数		180,000人		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	「豊かな心」の充実事業	重点施策 コード	1	(1)	イ	(ア)
事業の目的 (何をやるのか)	みどり市教育研究所研究グループのひとつである地域活用推進班の心豊かな子供の育成や地域を生かした魅力ある授業づくりを通して授業実践への協力。					
4年度事業の 取組内容	学校や公民館などの市内施設に美術館職員が出向き、星野富弘さんと作品についてより多くの方に理解され、感動が与えられるような出前講座を行った。講座メニュー数は3講座を用意した。					

実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのようにになったのか)	◎ この事業を行うための費用					
	事業コスト	区分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)
	事業費 ① (千円)		0	0	0	0
	人件費(概算) ② (千円)		0	0	0	0
	総コスト ①+② (千円)		0	0	0	0
	うち一般財源 (千円)		0	0	0	0
	◎ 実施結果 富弘美術館では「星野富弘さんの作品と富弘美術館」(319人)「星野富弘さんの詩やエッセイの朗読」(177人)「鈴の鳴る道を歩こう」(6人)の、3つの出前講座を開設した。希望が最も多かったメニューは「星野富弘さんの作品と富弘美術館」で、7施設(内、市内小中学校5校、公民館2施設)で行った。また「星野富弘さんの詩やエッセイの朗読」とあわせて、富弘さんの幼なじみで本人をよく知る館長の講演も好評だった。富弘さんと作品への理解と親しみが深まるとともに、聞いた方からは感動の声が多く寄せられている。「星野富弘さんの作品と富弘美術館」の参加者は昨年度よりも増加した。「鈴の鳴る道を歩こう」では、富弘さんの散歩コースを歩くことで紅葉を楽しみ、また作品に登場する場所の解説を聞くことでより親しみを感じさせ、季節を変えて再度参加したいという声が多く聞かれた。 ※( )内は出前講座への参加者数 ◎ 成果 市の教育現場で富弘作品や富弘美術館を利用した授業実践が継続的に進められることにより、児童・生徒自身の心の広がりや深まりが増している。特に詩画制作の講座では、より主体的な発想で深みのある個性のある作品が増えている。また、一般の方が参加した「鈴の鳴る道を歩こう」も、富弘さんの詩画の世界観をより感じることができ、理解を深めてもらうことができた。					



新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	事業評価 (数値化)					
	必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
	4	4	4	5	4.3	B

今後の課題と 改善に向けた 方向性	本年度の「鈴の鳴る道を歩こう」参加者はリピーターが中心となった。本講座は、富弘さんの散歩コースの説明を聞きながら歩くことによって、日頃気づかない草花を改めて見つめ直すきっかけとなったり、富弘さんのエピソードや詩に触れることができるもので、また館外活動でもあることから、新型コロナウイルス感染症対策も十分と考えられる。富弘美術館HPでPRをしたが、新規参加者を呼ぶことはできなかった。今後はみどり市公式LINE等を活用してみどり市民へも積極的な情報発信をし、申込者をさらに増やす努力をする。また、「富弘さんの作品と富弘美術館」の講座では、学校以外にも出前講座ができるよう、リモートやプロジェクターの使用等による、多様な方法を検討する。																						
	<p>■ 2年度 ■ 3年度 ■ 4年度</p> <table border="1"> <caption>事業評価 (数値化) の推移</caption> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要性</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>経済効率</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>正確信頼</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>				評価項目	2年度	3年度	4年度	必要性	4	4	4	有効性	4	4	4	経済効率	4	4	4	正確信頼	5	5
評価項目	2年度	3年度	4年度																				
必要性	4	4	4																				
有効性	4	4	4																				
経済効率	4	4	4																				
正確信頼	5	5	5																				

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	生涯学習の推進	担当課	富弘美術館		
施策の成果指標	生涯学習に取り組んでいる市民の割合	体系コード	2	1	1
		めざそう値 (2022年度)	40%		

基本事業名	生涯学習と文化芸術鑑賞の機会づくり				
基本事業成果指標	生涯学習の機会が充実していると思う市民の割合	めざそう値 (2022年度)	90%		
	市内での文化芸術鑑賞者数		180,000人		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

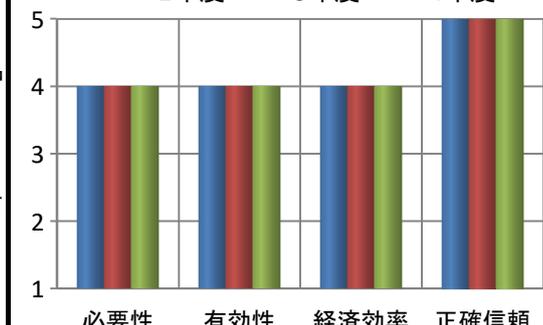
教育行政方針 重点施策名	公募展開催事業	重点施策 コード	1	(1)	イ	(イ)
-----------------	---------	-------------	---	-----	---	-----

事業の目的 (何をやるのか)	「詩画」を現代芸術の新たな表現形式として広く一般に普及させることを目的とする。					
-------------------	---	--	--	--	--	--

4年度事業の 取組内容	「第10回 富弘美術館 詩画の公募展」の応募要項を作成し広報活動を行った。応募作品の中から、審査員5名により、一般の部の大賞1点 優秀賞2点 奨励賞3点 入選74点、みどり市小中学生の部の大賞各1点 優秀賞各2点 奨励賞各3点を選考し、受賞者の表彰を行った。あわせて一般の部の入賞入選作品及びみどり市小中学生の部の応募作品全ての展示を行い、鑑賞していただいた。					
----------------	--	--	--	--	--	--

実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのようになったのか)	◎ この事業を行うための費用																	
	事業 コス ト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)												
	事業費 ① (千円)		678	797	1,405	817												
	人件費(概算) ② (千円)		0	0	0	0												
	総コスト ①+② (千円)		678	797	1,405	817												
	うち一般財源 (千円)		0	0	0	0												
	令和4年4月から公募展広報開始 応募期間 令和4年7月1日～令和4年9月30日 審査 10月8日 表彰式 令和4年12月3日 公募作品展 令和4年11月29日～令和5年2月26日 一般の部に全国30都道府県から588点、みどり市小中学生の部に1,136点の応募があり、詩画の普及に貢献した。また、みどり市小中学生の部の全応募作品を展示したことにより市内小中学生が美術館へ足を運びきっかけとなった。新聞等への記事に取り上げられ、みどり市の広報に寄与した。																	
					<table border="1"> <tr> <td></td> <td>3年度</td> <td>4年度</td> </tr> <tr> <td>一般の部</td> <td>630人</td> <td>588人</td> </tr> <tr> <td>小中学生の部</td> <td>1,342人</td> <td>1,136人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,972人</td> <td>1,724人</td> </tr> </table>			3年度	4年度	一般の部	630人	588人	小中学生の部	1,342人	1,136人	合計	1,972人	1,724人
	3年度	4年度																
一般の部	630人	588人																
小中学生の部	1,342人	1,136人																
合計	1,972人	1,724人																

新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	作品展開催期間中は、新型コロナウイルス感染症対策としてマスク着用、人数制限、換気、手指消毒等を行った。また、来館者の動線が交差しないよう、入口から出口までパーテーションと矢印と職員の案内で行った。表彰式は前年度に引き続き、招待者の人数を50人未満にするなど式典規模を縮小することで開催することができた。					
	事業評価 (数値化)					
	必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
4	4	4	5	4.3	B	

今後の課題と 改善に向けた 方向性	新型コロナウイルス対策が緩和されたことにより、外出する機会が増加した影響か、応募点数が昨年度より減少した。富弘美術館HP等を活用し、市内外へ積極的に広報を行っていく。 また、昨年同様みどり市小中学生の部において、作品にエネルギーが感じられなかったことは、学校行事等がいまだ制限下にあることが本年度も影響していると考えられるため、引き続き課題としていく。詩画制作を行う出前講座の依頼はコロナ前に戻りつつあるため、引き続き学校には積極的に活用してもらい、日頃の何気ない生活の中にも題材があることを知ってもらう機会をつくっていく。 入賞作品に常連者がいる傾向があるので、今後新しい視点からの審査を検討していく。					
	<p>■ 2年度 ■ 3年度 ■ 4年度</p>  <p>必要性 有効性 経済効率 正確信頼</p>					

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	生涯学習の推進	担当課	社会教育課		
施策の成果指標	生涯学習に取り組んでいる市民の割合	体系コード	2	1	4
		めざそう値 (2022年度)	40.0%		

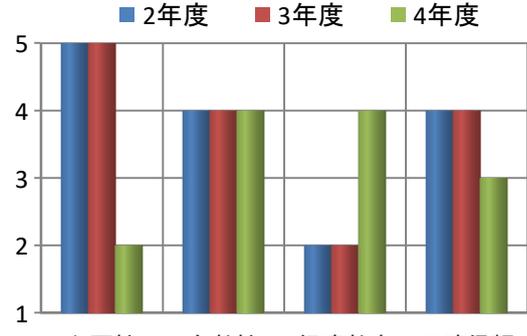
基本事業名	学習情報の提供と学習相談の充実				
基本事業成果指標	学びの情報が入りやすいと思う市民の割合	めざそう値 (2022年度)	60.0%		
	学びの情報を伝える媒体・手段数		6件		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	文化ホール主催事業	重点施策 コード	1	(1)	イ	(エ)
事業の目的 (何をやるのか)	文化・芸術の振興を図り、文化的・芸術的に優れた質の高い催物の鑑賞の機会を提供する。					
4年度事業の 取組内容	クラシック音楽、ミュージカル、ロック、映画上映など多岐にわたるジャンルの公演を実施しました。 また、みどり・桐生地区中高合同音楽祭や市内の学生等が参加する楽器セミナー、アンサンブルコンサートは継続して実施することができた。					

実施結果と成果	◎ この事業を行うための費用																						
	事業 コス ト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)																	
		事業費 ①(千円)	2,964	3,646	11,342	4,457																	
		人件費(概算) ②(千円)	0	0	0	0																	
	総コスト ①+②(千円)	2,964	3,646	11,342	4,457																		
	うち一般財源(千円)	2,964	2,613	11,342	0																		
(何をどのようにして、何がどのようになったのか)	<table border="1"> <tr> <th>ジャンル</th> <th>クラシック等</th> <th>歌謡曲</th> <th>合唱</th> <th>演劇等</th> <th>古典芸能</th> <th>映画</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>公演数</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>7</td> </tr> </table>							ジャンル	クラシック等	歌謡曲	合唱	演劇等	古典芸能	映画	その他	公演数	2	0	0	1	0	1	7
	ジャンル	クラシック等	歌謡曲	合唱	演劇等	古典芸能	映画	その他															
	公演数	2	0	0	1	0	1	7															
※その他(陸上自衛隊、楽器セミナー、アンサンブルコンサート、避難訓練コンサートなど)																							
	<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> <tr> <td>収容人数に対する 来場者の割合(%)</td> <td>12</td> <td>47</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>収支比率(%) (収入/支出)</td> <td>47</td> <td>19</td> <td>38</td> </tr> </table>		区分	R2年度	R3年度	R4年度	収容人数に対する 来場者の割合(%)	12	47	37	収支比率(%) (収入/支出)	47	19	38	 <p>ミュージカル「眠れる森の美女」</p>								
区分	R2年度	R3年度	R4年度																				
収容人数に対する 来場者の割合(%)	12	47	37																				
収支比率(%) (収入/支出)	47	19	38																				
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和4年10月まで50%の入場制限をし、11月以降は通常定員に戻したが、コロナによる影響から来場者数の回復ができない状況にある。																							

新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	「新しい生活様式」に基づき、身体的距離の確保、マスクの着用、手洗い・手指消毒、健康チェック、ホール・各室の人数制限、換気等によるコロナ対策を実施。Wi-Fiの設置により動画配信、YouTubeの活用等コロナ禍における公演の新しい形での実施も進めていきたい。					
	事業評価(数値化)					
	必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
2	4	4	3	3.3	C	

今後の課題と改善に向けた方向性	限られた予算の中で、市民のニーズに合った公演を実施できるかが課題です。また、開館30年を迎え施設の老朽化、設備の経年劣化が進んでおり、設備の更新・修繕などに多額の費用を要することが課題となっている。			
	公演については、SNS(YouTube等)による広告宣伝等も活用し、幅広く周知に努める。 Wi-Fiの設置により動画配信、YouTubeの活用等、また、リハーサル室、会議室でのWi-Fi設備の利用の問い合わせ等も増えており、コロナ禍における利用の多様化に対応していけるよう進めていきたい。			
	 <p>■ 2年度 ■ 3年度 ■ 4年度</p> <p>必要性 有効性 経済効率 正確信頼</p>			

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	生涯学習の推進	担当課	社会教育課		
施策の成果指標	生涯学習に取り組んでいる市民の割合	体系コード	2	1	1
		めざそう値 (2022年度)	40.0%		

基本事業名	生涯学習と文化芸術鑑賞の機会づくり				
基本事業成果指標	生涯学習の機会が充実していると思う市民の割合	めざそう値 (2022年度)	90.0%		
	小中学生の月間読書冊数		3.0冊		
	市内での文化芸術鑑賞者数		180,000人		
	社会教育施設の学級・講座延べ参加者数		22,000人		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	公民館文化祭事業	重点施策 コード	1	(1)	イ	(ケ)
-----------------	----------	-------------	---	-----	---	-----

事業の目的 (何をやるのか)	文化・芸術活動を推進し、市民参加による地域文化の創造を図る。					
-------------------	--------------------------------	--	--	--	--	--

4年度事業の 取組内容	公民館や各地域で学習・文化活動を行っている個人や団体の活動成果などを発表し合い、相互の交流を図るとともに新たな仲間作りや学習活動のきっかけ作りを目的とする。参加者を中心とする実行委員会を組織し、企画・運営を行い、手づくりの文化祭を実施している。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の行動規制が緩和されたため、各公民館で3年振りに文化祭を開催した。					
----------------	--	--	--	--	--	--

実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのように変わったのか)	◎ この事業を行うための費用					
	事業 コス ト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)
	事業費 ①(千円)		40	19	555	353
	人件費(概算) ②(千円)		0	0	0	0
	総コスト ①+②(千円)		40	19	555	353
	うち一般財源(千円)		40	19	555	353
実績・ 成果	公民館	区分	R2年度	R3年度	R4年度	
		笠懸	参加団体数	中止	中止	60
		延べ参加者数(人)	—	—	3,500	
	大間々	参加団体数	中止	中止	14	
		延べ参加者数(人)	—	—	1,080	
	東	参加団体数	中止	中止	8	
延べ参加者数(人)		—	—	270		

・ 笠懸公民館では、実行委員会で開催方法や新型コロナウイルスの感染防止対策等について参加団体と協議した結果、3年振りに文化祭を開催することができた。コロナ前を上回る多くの来場者があった。

・ 大間々公民館は、大間々地域文化協会役員会を開き、3年ぶりの開催を決定した。内容については縮小となった。

・ 東公民館は、実行委員会を開催し、開催方法・開催時期・会場や新型コロナウイルス感染防止対策等について協議し、小規模であるが3年ぶりに文化祭を開催することができた。

新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	笠懸公民館では、入場口を1本化し、体温測定と手指消毒、マスクの着用を徹底し、確認済の証としてリストバンドを着用した。 大間々公民館では、基本対策の他、内容の精査、一般参加の見送り等、感染機会の減少に努めた。 東公民館は、基本的な対策の徹底と小規模開催に向けた調整を実行委員会で行った。					
	事業評価(数値化)					
	必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
4	4	4	4	4.0	B	

今後の課題と 改善に向けた 方向性	各地域に共通する課題として、参加団体数が減少傾向にあることが挙げられる。原因としては、サークルの高齢化や会員数の減少等の恒常化している問題の他、ここ数年のコロナ禍も大きく影響している。 課題解決のためには、参加団体の要望を分析し、参加条件や運営方法等を改めて考える必要がある。打合せ会議の開催日時や当日の役割分担等、ネックとなっている問題を改善できれば、参加団体を増やせる可能性はある。参加していない団体・サークルに対しては、公民館側からも積極的な声かけを行い、より多くの団体が参加できる環境づくりを進めていく。																								
	<p>■ 2年度 ■ 3年度 ■ 4年度</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> <tr> <td>必要性</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>経済効率</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>正確信頼</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </table>						項目	2年度	3年度	4年度	必要性	4	4	4	有効性	4	4	4	経済効率	2	2	2	正確信頼	4	4
項目	2年度	3年度	4年度																						
必要性	4	4	4																						
有効性	4	4	4																						
経済効率	2	2	2																						
正確信頼	4	4	4																						

◎総合計画における事業目標

		担当課	社会教育課		
総合計画施策名	生涯学習の推進	体系コード	2	1	1
施策の成果指標	生涯学習に取り組んでいる市民の割合	めざそう値 (2022年度)	40%		

基本事業名	生涯学習と文化芸術鑑賞の機会づくり				
基本事業成果指標	生涯学習の機会が充実していると思う市民の割合	めざそう値 (2022年度)	90%		
	市内での文化芸術鑑賞者数		180,000人		
	社会教育施設の学級・講座延べ参加者数		22,000人		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	文化芸術活動事業	重点施策 コード	1	(1)	イ	(サ)
事業の目的 (何をやるのか)	特色ある地域文化の創造・発展及び多様な文化芸術の振興を図ることを目的として、学習機会や発表の場、情報資料の提供、芸術に関する講座などを開催する。					
4年度事業の 取組内容	新型コロナウイルス感染症の影響を受けて令和3年度は創生落語伝承事業のみの実施となったが、令和4年度は各種事業を実施することができ、児童生徒に質の高いスポーツ・文化芸術の鑑賞・体験の機会を提供し、子供たちに未来づくりのきっかけを創出することができた。					

実施結果と成果	◎ この事業を行うための費用					
	事業 コス ト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)
		事業費 ①(千円)	553	1,313	2,824	2,588
		人件費(概算) ②(千円)	0	0	0	0
		総コスト ①+②(千円)	553	1,313	2,824	2,588
		うち一般財源(千円)	553	1,313	2,824	2,588
(何をどのようにして、何がどのようになったのか)	実績・ 成果	事業名		R2年度	R3年度	R4年度
		子どものためのコンサート	参加者数	—	—	273人
		創生落語伝承事業	参加児童数	—	433人	387人
		バスケットボールクリニック	参加者数	—	—	115人
		群馬交響楽団補助事業	参加児童生徒数	500人	—	—
MIDORIジュニアアカデミー事業では、これまでの吹奏楽指導・みどりジュニア音楽祭に代わり、子供のためのコンサートを開催し、音楽を身近に触れる機会を与えるとともに、プロの演奏を通して音楽の魅力を伝えることができた。また、バスケットボールクリニックでは、群馬クレインサンダーズの選手を講師に招き、一流のプレーを間近で見ることのできる貴重な体験となった。						

新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	各事業の実施にあたり、手指消毒の徹底などの基本的な感染症対策を行い、事業の参加者が密にならないよう配慮した。	事業評価 (数値化)					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		4	4	3	4	3.8	B

今後の課題と改善に向けた方向性	小中学校の児童生徒に質の高いスポーツ・文化芸術の鑑賞・体験の機会を提供し、子どもたちに未来づくりのきっかけを創出するという目的のもと、引き続き、芸術、音楽、スポーツの各分野において、それぞれに興味のある児童生徒を対象に、新たな将来や夢を発見するきっかけとなるよう事業に取り組んでいく。	■ 2年度 ■ 3年度 ■ 4年度			
		必要性	有効性	経済効率	正確信頼

◎総合計画における事業目標

		担当課	社会教育課		
総合計画施策名	生涯学習の推進	体系コード	2	1	2
施策の成果指標	生涯学習に取り組んでいる市民の割合	めざそう値 (2022年度)	40%		

基本事業名	主体的な学習の推進				
基本事業成果指標	育成・支援された活動団体数	めざそう値 (2022年度)	20団体		
	自主学習グループ数		400団体		
	生涯学習の大会、まつり、イベント延べ参加者数		33,000人		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	どこでも出前講座事業	重点施策 コード	1	(2)	ア	(ウ)
事業の目的 (何をやるのか)	くらしや健康・福祉、教育・文化などの身近な題材の学習会等に市職員を講師として派遣し、説明等を行うことにより、市民と職員が意見を交換する機会を設けるとともに、市政についての情報や学習機会を提供し、市民の主体的な学習活動に役立ててもらう。					
4年度事業の 取組内容	団体やグループなどからの希望に応じて、学習活動の場に市職員が出向き、みどり市の行政や福祉、まちづくり、産業、教育、文化などの身近な内容についての講座を行った。出前講座のメニューは71講座用意した。					

実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのようになったのか)	◎ この事業を行うための費用					
	事業 コス ト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)
		事業費 ①(千円)	0	0	0	0
人件費(概算) ②(千円)		0	0	0	0	
総コスト ①+②(千円)		0	0	0	0	
	うち一般財源(千円)	0	0	0	0	
	実績・ 成果	区分	R2年度	R3年度	R4年度	過去3年の平均
		開催講座数	13回	32回	109回	51回
		参加人数	253人	1,113人	3,132人	1,499人
		満足度	100%	100%	70%	90%
	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止せざるを得なかった講座が多かったが、令和4年度は、染症対策を徹底し開催したことにより、申込みのあった団体の希望どおりに開催することができた。「ポッチャ体験」、「消費生活講座」、「エンディングノート活用術」などの講座の人气が比較的高かった。					

新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	開催した講座については、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で実施した。					
	事業評価 (数値化)					
	必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
	4	4	4	5	4.3	B

今後の課題と 改善に向けた 方向性	多くの市民に関心を寄せてもらえるように多種多様な講座を用意してあるが、一部の講座に受講が偏りがちなので、さまざまな講座を受講してもらえるよう、PR方法等を検討する必要がある。																								
	<p>■ 2年度 ■ 3年度 ■ 4年度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要性</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>経済効率</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>正確信頼</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>						項目	2年度	3年度	4年度	必要性	4	4	4	有効性	4	4	4	経済効率	4	4	4	正確信頼	4	4
項目	2年度	3年度	4年度																						
必要性	4	4	4																						
有効性	4	4	4																						
経済効率	4	4	4																						
正確信頼	4	4	5																						

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	生涯学習の推進	担当課	社会教育課		
施策の成果指標	生涯学習に取り組んでいる市民の割合	体系コード	2	1	3
		めざそう値 (2022年度)	40%		

基本事業名	生涯学習を支える体制や場の提供			
基本事業成果指標	社会教育・文化施設年間延べ利用者数	めざそう値 (2022年度)	580,000人	
	社会教育・文化施設における施設維持管理上の不具合・トラブル件数		0件	

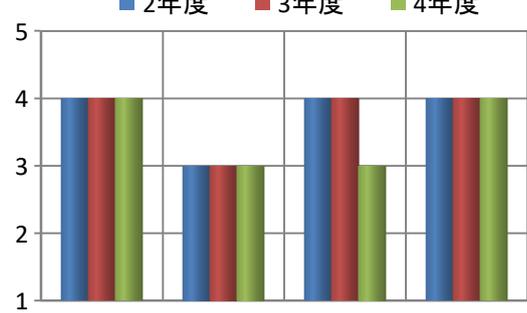
◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針重点施策名	図書館事業	重点施策コード	1	(3)	ア	(ア)(ウ)(エ)
事業の目的 (何をやるのか)	小中学生の読書冊数が向上するように、子供の読書活動推進計画に基づき推進する。市民が安心して利用できるよう、計画的な施設の改修と維持管理に取り組む。市民の学習要求に基づき使いやすく、暮らしに役立つ図書館事業の充実を図る。					

4年度事業の取組内容	新型コロナウイルス感染対策を徹底して、図書館サービスやイベント事業を実施した。感染状況や対策をしたうえで子ども読書活動推進事業の読書感想文講座と読み聞かせ講座を対面で開催した。また、映画会や読み聞かせイベントも再開した。					
------------	--	--	--	--	--	--

実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのように変わったのか)	◎ この事業を行うための費用							
	事業コスト	区分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)		
		事業費 ①(千円)	41,848	22,751	24,265	23,917		
		人件費(概算) ②(千円)	0	0	0	0		
		総コスト ①+②(千円)	41,848	22,751	24,265	23,917		
		うち一般財源(千円)	21,648	21,040	24,265	21,517		
	【所蔵資料の状況】			【小中学生の月間読書冊数】				
	区分	R2年度	R3年度	R4年度	区分	R2	R3	R4
	図書資料(冊)	316,749	322,030	328,211	冊数	1.3	1.5	1.5
	視聴覚資料(点)	27,707	27,699	27,827	【電子図書館利用状況】			
電子書籍(点)	4,591	4,981	3,973	区分	R2	R3	R4	
【利用状況】			ログイン数	1,774	7,664	5,898		
区分	R2年度	R3年度	R4年度	貸出数	880	3,932	4,302	
来館者数	123,405	137,721	151,396	 しこー 会わ3 い館 のお合 様は同 子な				
貸出人数	61,802	69,323	67,543					
利用冊数(点数)	340,263	378,224	367,505					

新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	図書館におけるガイドラインに基づき感染対策を取り、通常開館できた。映画会やおはなし会などのイベントは感染対策と人数制限をして開催した。開催にあたり、ぐんま電子申請を活用して受付や参加者アンケートを行い、今後の事業に活かすことが出来た。					
	事業評価(数値化)					
	必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
4	3	3	4	3.5	C	

今後の課題と改善に向けた方向性	図書館サービスやイベント事業は、通常に戻し実施していく。 電子図書館の市民へ向けた周知及び学校での利活用が課題である。広報や出前講座、使い方講座等で周知していく。 小中学生の月間読書冊数の目標達成を目指し、第2期子どもの読書活動推進計画に基づいて、引き続き関係機関との連携して子供の読書活動の推進を図る。 図書館に来館できない障がい者や高齢者への配達サービスを関係機関と連携して周知を図る。					
	■ 2年度 ■ 3年度 ■ 4年度					
						

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	生涯学習の推進	担当課	社会教育課		
施策の成果指標	生涯学習に取り組んでいる市民の割合	体系コード	2	1	3
		めざそう値 (2022年度)	40.00%		

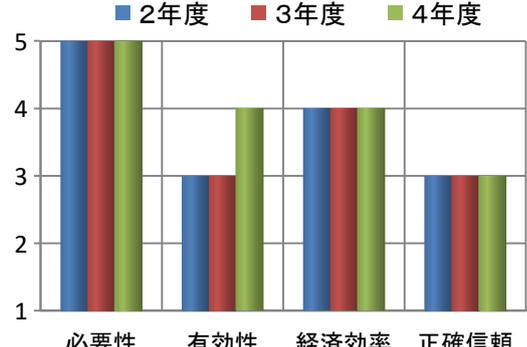
基本事業名	生涯学習を支える体制や場の提供				
基本事業成果指標	社会教育・文化施設年間延べ利用者数	めざそう値 (2022年度)	580,000人		
	社会教育・文化施設における施設維持管理上の不具合・トラブル件数		0件		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針重点施策名	多世代交流館事業	重点施策コード	1	(3)	イ	(ア)
事業の目的 (何をやるのか)	みどり市「多世代交流館」基本構想に基づく整備を進め、市民交流の拠点づくり等に取り組みます。					
4年度事業の取組内容	個別施設管理計画に基づく、ふるさと往来センターと生活改善センターの機能統合に伴う3階等の整備を行い、利用者の円滑な移行に取り組みました。また、コロナ禍への対策をとりながらの利用促進に取り組みました。					

実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのようになったのか)	◎ この事業を行うための費用					
	事業コスト	区分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)
	事業費 ① (千円)		9,735	9,129	11,804	11,584
	人件費(概算) ② (千円)		4,265	4,121	4,354	4,182
	総コスト ①+② (千円)		14,000	13,250	16,158	15,766
	うち一般財源 (千円)		14,000	13,250	16,158	15,766
	施設利用の推移については順調に伸びています。 わくわく広場では簡易な遊具を導入、小さな子どもを自由に遊ばせられる設定とし、子育て世代の利用促進を図りました。 反面、「山の中で遠い」などイメージ的な面で利用を敬遠する声も聞かれることから、市民が利活用しやすくなるよう立地を活かした企画を心がけました。					
		利用回数	利用延べ人数			
	R2	900回	10,251人			
	R3	1,315回	11,742人			
	R4	2,554回	23,310人			
	 ノルディック・ウォークを体験しながら風景写真のコツも教わる教室   わくわく広場遊具整備					

新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	利用者(体調管理・マスク・手指消毒)と施設管理者(消毒セット提供・使用後の消毒)が分担して感染症対策を適正に行う体制が確立しました。 講座の開催については感染機会をコントロールできるよう縮小開催や開催見送りなどの方策をとりました。					
	事業評価 (数値化)					
	必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
5	4	4	3	4.0	B	

今後の課題と改善に向けた方向性	立地についての周知不足(および偏見)が見られるため、引き続き館の活用の活発化を通じた知名度の向上を図ります。3月から視認性と速報性に優れたInstagramを開設したので、館の情報発信のため大いに活用していきます。 館の整備については、体育館の総合的な改修を予定しており、高齢者や身障者も利用しやすくなるよう利便性を高めます。					
	 <p>■ 2年度 ■ 3年度 ■ 4年度</p> <p>必要性 有効性 経済効率 正確信頼</p>					

## 教育委員会事業評価 実績一覧(資料)

教育総務課及び社会教育課並びに富弘美術館が行った社会教育施設に係る維持管理業務と整備改修業務について、その概要をまとめました。

### ○多世代交流館消火栓ポンプ呼水槽配管工事



before

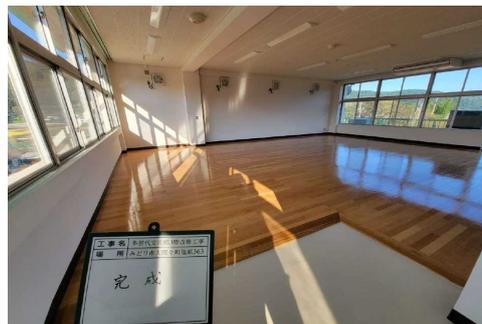


after

### ○多世代交流館3階改修工事



before



after

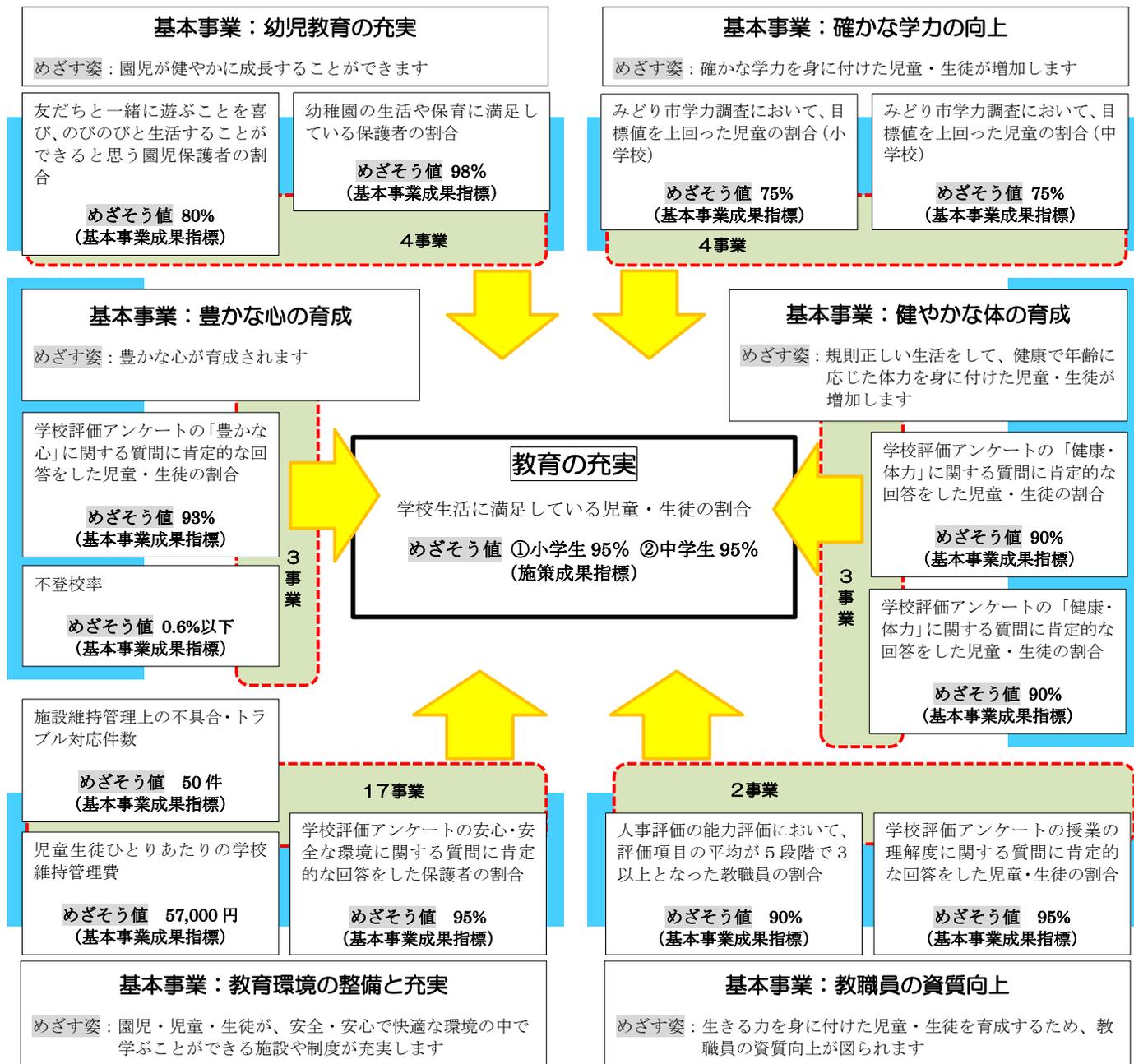
### ○上記の他にに行われた令和4年度の社会教育施設整備改修事業一覧

- 1 笠懸公民館和室畳裏返し修繕
- 2 東公民館通用口誘導灯修繕
- 3 東公民館3階ホール天井修繕
- 4 笠懸野文化ホール大道具庫搬入口テント修繕
- 5 笠懸図書館カウンター前埋込照明器具修繕
- 6 多世代交流館火災受信機入替工事
- 7 笠懸公民館2階空調設備改修工事
- 8 笠懸野文化ホール空調設備改修工事
- 9 大間々図書館照明器具工事
- 10 ふるさと往来センター解体工事
- 11 富弘美術館空調設備ケミカルフィルター交換工事
- 12 富弘美術館外壁等改修工事
- 13 富弘美術館自動火災報知設備更新工事

### 【社会教育施設の維持管理に伴う主な事業】

#### ○施設管理

施設清掃、機械警備、空調設備機器保守、消防設備保守、エレベーター保守、ダムウエーター保守、シャッター保守、自動扉保守、電器設備保安全管理、ガラス清掃、受水槽清掃、非常用発電機保守、浄化槽維持管理、污泥引抜、植栽管理、環境衛生管理、節電システム維持管理、防火対象物点検



基本事業名	番号	事業名	担当課	評価		
				2年度	3年度	4年度
幼児教育の充実	12	幼稚園保育充実事業	学校教育課	A	B	B
	13	幼稚園子育て支援事業	学校教育課	A	B	B
	14	施設等利用給付費事業(幼稚園)	学校教育課	B	B	B
	15	私立幼稚園副食費助成事業	学校教育課	B	B	B
確かな学力の向上	16	学力向上対策事業	学校教育課	A	A	A
	17	東地域小中一貫教育推進事業	学校教育課	B	B	B
	18	キャリアドリーム事業	学校教育課	B	C	B
	19	MIDORIプログラミング教室事業	学校教育課	A	A	A
豊かな心の育成	20	児童生徒豊かな心と探究心育成事業	学校教育課	B	B	B
	21	中学生海外派遣事業	学校教育課	B	C	B
	22	環境教育・宿泊体験奨励事業	学校教育課	A	B	B

基本事業名	番号	事業名	担当課	評価		
				2年度	3年度	4年度
健やかな体の育成	23	中体連活動費補助事業	学校教育課	C	B	A
	24	小体研・音楽コンクール事業	学校教育課	C	B	B
	25	健康管理事業	学校教育課	B	B	B
教職員の資質向上	26	学級経営充実事業	学校教育課	C	B	B
	27	教職員研修事業	学校教育課	A	A	A
教育環境の整備と充実	28	スクールソーシャルワーカー配置事業	学校教育課	B	B	B
	29	生徒指導特別サポート員配置事業	学校教育課	B	B	B
	30	学校カウンセラー活用事業	学校教育課	B	B	B
	31	教育支援センター運営事業	学校教育課	B	B	B
	32	いじめ防止対策推進事業	学校教育課	B	B	B
	33	学力向上対策支援員事業	学校教育課	B	B	B
	34	きめ細かな指導充実支援員配置事業	学校教育課	B	B	B
	35	学校情報整備管理運営事業	学校教育課	B	A	A
	36	部活動指導員配置事業	学校教育課	B	B	B
	37	教職員健康管理事業	学校教育課	A	A	A
	38	語学指導者設置事業	学校教育課	B	B	B
	39	教育支援員配置事業	学校教育課	B	A	A
	40	小学校通級指導教室運営事業	学校教育課	A	A	A
	41	防犯カメラ設置事業	学校教育課	A	B	B
	42	就学援助事業	学校教育課	B	B	B
	43	特別支援学級補助事業	学校教育課	C	C	C
	44	特別支援教育就学奨励費事業	学校教育課	B	B	B

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	教育の充実	担当課	学校教育課		
施策の成果指標	学校教育生活に満足している児童の割合(小学校) 学校教育生活に満足している生徒の割合(中学校)	体系コード	2	2	1
		めざそう値 (2022年度)	(小学校)95.0% (中学校)95.0%		

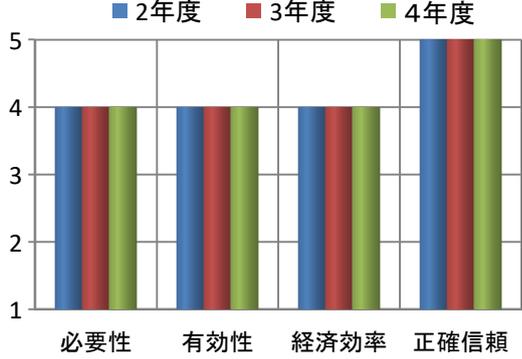
基本事業名	幼児教育の充実			
基本事業成果指標	幼稚園の生活や保育に満足している保護者の割合	めざそう値 (2022年度)	98.0%	
	友だちと一緒に遊ぶことを喜び、のびのびと生活することができると思う園児保護者の割合		86.0%	

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針重点施策名	幼稚園保育充実事業	重点施策コード	2	(1)	イ ウ エ	-
事業の目的(何をやるのか)	心身ともに健康で安全な幼稚園生活を送ることができる幼児の育成を目指す。					
4年度事業の取組内容	幼児が楽しく参加でき満足感や充実感を味わえる行事(誕生会や運動会、作品展やお楽しみ会など)を開催した。					

実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのようになったのか)	◎ この事業を行うための費用	<table border="1"> <tr> <th>事業コスト</th> <th>区 分</th> <th>R2決算</th> <th>R3決算</th> <th>R4予算</th> <th>R4決算(概算)</th> </tr> <tr> <td>事業費 ①(千円)</td> <td></td> <td>552</td> <td>545</td> <td>558</td> <td>482</td> </tr> <tr> <td>人件費(概算) ②(千円)</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>総コスト ①+②(千円)</td> <td></td> <td>552</td> <td>545</td> <td>558</td> <td>482</td> </tr> <tr> <td>うち一般財源(千円)</td> <td></td> <td>552</td> <td>545</td> <td>558</td> <td>482</td> </tr> </table>					事業コスト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)	事業費 ①(千円)		552	545	558	482	人件費(概算) ②(千円)		0	0	0	0	総コスト ①+②(千円)		552	545	558	482	うち一般財源(千円)		552	545	558	482
	事業コスト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)																														
事業費 ①(千円)		552	545	558	482																															
人件費(概算) ②(千円)		0	0	0	0																															
総コスト ①+②(千円)		552	545	558	482																															
うち一般財源(千円)		552	545	558	482																															
	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動会は、家族の観客数制限せず10月12日(水)に規模を縮小して実施した。園児席と観客席を分離し、プログラムごとに応援エリア(最前列)を入れ替えながら実施した。</li> <li>作品展は、5歳児(12/7)、4歳児(12/8)、3歳児(12/9)の保護者を招き参観日として開催した。</li> <li>お楽しみ会は、大道芸(6/6)、雑語り(3/2)、親子ミュージカル(3/3)、マジックショー(3/15)を開催した。</li> </ul>   <p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運動会や作品展など、我が子の活動への取り組みを鑑賞することで成長を感じ、幼児は保護者から認められ、大きな自信につながった。</li> <li>様々なジャンルのお楽しみ会を実施することができ、幼児は様々な感動を味わうことができた。</li> </ul>																																			

新型コロナウイルス感染症対策(影響による教訓をどこに生かしたのか)	コロナ禍も3年目になり、1~2年目のノウハウを生かし、活動ごとに必要な感染症対策を講じながら、子供たちが必要な経験や感動体験を味わえるように、行事を実施することができた。	事業評価(数値化)					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		4	4	4	5	4.3	B

今後の課題と改善に向けた方向性	今後もコロナウイルスや他の感染症、熱中症などの対策を講じながら、幼児が必要な経験や体験を積むことができるように、行事の実施や職員資質向上に努めていく必要がある。				
		必要性	有効性	経済効率	正確信頼

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	教育の充実	担当課	学校教育課		
施策の成果指標	学校生活に満足している児童の割合(小学校) 学校生活に満足している生徒の割合(中学校)	体系コード	2	2	1
		めざそう値 (2022年度)	(小学校)95.0% (中学校)95.0%		

基本事業名	幼児教育の充実			
基本事業成果指標	幼稚園の生活や保育に満足している保護者の割合	めざそう値 (2022年度)	98.0%	
	友だちと一緒に遊ぶことを喜び、のびのびと生活することができると思う園児保護者の割合		86.0%	

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	幼稚園子育て支援事業	重点施策 コード	2	(1)	エ オ	(イ) (ア)・(イ)
事業の目的 (何をやるのか)	心身ともに健康で安全な幼稚園生活を送ることができる幼児の育成を目指す。					
4年度事業の 取組内容	通常保育終了後、14:00~16:00間で、保護者の仕事、通院、家の都合、学校行事その他の事由に対応し、実施した。					

実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのようになったのか)	◎ この事業を行うための費用					
	事業 コス ト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)
	事業費 ①(千円)		122	93	94	73
	人件費(概算) ②(千円)		0	0	0	0
	総コスト ①+②(千円)		122	93	94	73
	うち一般財源(千円)		72	0	0	0
	・ 預かり保育 実施日数: 185日 月平均: 17日、一日平均: 14人 利用者人数: 2236人 月平均利用者数: 220人					
	《成果》 預かりカードを利用した事前申込だけでなく、保護者の急な要望に応えられるように、降園時刻まで電話連絡でも受付けて、預かり保育を実施したことにより、子育て支援の一助となった。					



新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	新型コロナウイルス感染症の状況や県の警戒度、みどり市の対応状況などから、安全を考慮し未就園児を対象とする体験保育は中止した。園児に安全安心な保育を提供することを最優先にした。					
	事業評価 (数値化)					
	必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
	4	4	4	5	4.3	B

今後の課題と改善に向けた方向性	コロナ禍の影響で、子育て世代が孤立してしまう可能性がある。子育てをしている家族の思いに寄り添い、サポートできるよう努めていく必要がある。また、幼児一人一人に応じたきめ細やかな保育の充実を図るとともに、保護者や地域、関係機関と連携を密に図っていく必要がある。																									
	■ 2年度 ■ 3年度 ■ 4年度																									
	<table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> <tr> <td>必要性</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>経済効率</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>正確信頼</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> </table>						項目	2年度	3年度	4年度	必要性	4	4	4	有効性	4	4	4	経済効率	4	4	4	正確信頼	5	5	5
項目	2年度	3年度	4年度																							
必要性	4	4	4																							
有効性	4	4	4																							
経済効率	4	4	4																							
正確信頼	5	5	5																							

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	教育の充実	担当課	学校教育課		
施策の成果指標	学校教育に満足している児童の割合(小学校) 学校教育に満足している生徒の割合(中学校)	体系コード	2	2	1
		めざそう値 (2022年度)	(小学校)95.0% (中学校)95.0%		

基本事業名	幼児教育の充実				
基本事業成果指標	幼稚園の生活や保育に満足している保護者の割合	めざそう値 (2022年度)	98.0%		
	友だちと一緒に遊ぶことを喜び、のびのびと生活することができると思う園児保護者の割合		86.0%		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針重点施策名	施設等利用給付事業(幼稚園)	重点施策コード	2	(1)	キ	(ア)
事業の目的(何をやるのか)	幼児期の学校教育や保育、地域の子育て支援の量の拡充や質の向上を目的として国が定めた「子ども・子育て支援新制度」を実現するために、幼児教育無償化を実施する。					

4年度事業の取組内容	子育てを行う家庭の経済的負担の軽減を図るため、市内在住で新制度未移行幼稚園(私立3園)に通う3歳以上の子供に関する保育料(住民税非課税世帯であって、保育の必要性がある子供に関しては0歳以上)と保育の必要性がある3歳以上の子供に関する預かり保育事業費を無償化した。					
------------	---	--	--	--	--	--

実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのようにになったのか)	◎ この事業を行うための費用					
	事業コスト	区分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)
	事業費	①(千円)	61,077	61,736	66,137	60,572
	人件費(概算)	②(千円)	0	0	0	0
	総コスト	①+②(千円)	61,077	61,736	66,137	60,572
		うち一般財源(千円)	12,821	12,780	16,535	11,819
	◎ 実施結果					
		保育料		預かり保育事業		
		人数	給付額	人数	給付額	
	阿左美幼稚園	113人	33,019,903円	62人	3,910,950円	
	大間々南幼稚園	69人	21,068,024円	30人	1,968,300円	
	田部井幼稚園	2人	539,700円	0人	—	
	西妻沼幼稚園	2人	50,100円	2人	15,300円	
	※阿左美幼稚園・大間々南幼稚園の人数に関しては、月ごとの利用者の総計を12で除した値					
	◎ 成果					
	子育てを行う家庭の経済的負担の軽減することができ、幼児教育を充実させることができた。					

新型コロナウイルス感染症対策(影響による教訓をどこに生かしたのか)	特になし					
	事業評価(数値化)					
	必要性	有効性	経済性効率性	正確性信頼度	評価数値	評価結果
	5	4	4	3	4.0	B

今後の課題と改善に向けた方向性	国の制度により、国庫1/2、県費1/4の補助事業であり、算定要領に則り、適正に事務を行っている。全額補助でなく、一般財源が1/4のため、財源確保が課題である。今後も継続のため、財源確保をしていく必要がある。																								
	<p>■ 2年度 ■ 3年度 ■ 4年度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要性</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>経済効率</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>正確信頼</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>						項目	2年度	3年度	4年度	必要性	5	5	5	有効性	4	4	4	経済効率	4	4	4	正確信頼	3	3
項目	2年度	3年度	4年度																						
必要性	5	5	5																						
有効性	4	4	4																						
経済効率	4	4	4																						
正確信頼	3	3	3																						

◎総合計画における事業目標

		担当課	学校教育課		
総合計画施策名	教育の充実	体系コード	2	2	1
施策の成果指標	学校生活に満足している児童の割合(小学校) 学校生活に満足している生徒の割合(中学校)	めざそう値 (2022年度)	(小学校)95.0% (中学校)95.0%		

基本事業名	幼児教育の充実				
基本事業成果指標	幼稚園の生活や保育に満足している保護者の割合	めざそう値 (2022年度)	98.0%		
	友だちと一緒に遊ぶことを喜び、のびのびと生活することができると思う園児保護者の割合		86.0%		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	私立幼稚園副食費助成事業	重点施策 コード	2	(1)	キ	(イ)
事業の目的 (何をやるのか)	幼児期の学校教育や保育、地域の子育て支援の量の拡充や質の向上を目的として国が定めた「子ども・子育て支援制度」を実現するために、副食費助成を実施する。					
4年度事業の 取組内容	子育てを行う家庭の経済的負担の軽減を図るため、新制度未移行幼稚園に通園する年収360万円未満相当世帯の子ども及び所得階層に関わらず第3子以降の子どもの保護者を対象に副食費を助成した。					

実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのようになったのか)	◎ この事業を行うための費用					
	事業 コス ト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)
	事業費 ①(千円)		1,134	1,476	2,562	1,447
	人件費(概算) ②(千円)		0	0	0	0
	総コスト ①+②(千円)		1,134	1,476	2,562	1,447
	うち一般財源(千円)		680	868	1,414	299
	◎ 事業結果					
	私立幼稚園(市内2園、市外1園)に通園する年収360万円未満相当世帯の子供及び所得階層に関わらず第3子以降の子供の保護者に対して、月額4,500円以内の範囲で副食材料費負担分を補助した。					
		R2	R3	R4		
	補助人数	44人	49人	49人		
	補助額	1,133,371円	1,475,318円	1,446,959円		
	1年を2期(上期と下期)に分けて、申請を受付					
	◎ 成果					
	子育てを行う低・中所得階層の世帯や多子世帯の経済的負担の軽減することができ、幼児教育を充実させることができた。					

新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	特になし	事業評価(数値化)					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	4	4	3	4.0	B

今後の課題と 改善に向けた 方向性	幼児教育・保育の無償化に伴い、新制度移行施設利用者のうち、低所得世帯及び第3子以降の子供にかかる副食費が免除となった。これを受けて、公平性の観点から、未移行施設においても、地域子ども・子育て支援事業の1つである「実費徴収に係る補足給付事業」を行うことにより、低・中所得階層の世帯や多子世帯の経済的負担が軽減されるため、継続して行っていく必要がある。	■ 2年度 ■ 3年度 ■ 4年度			
		必要性	有効性	経済効率	正確信頼
		5	4	4	3

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	教育の充実	担当課	学校教育課		
施策の成果指標	学校教育生活に満足している児童の割合(小学校) 学校教育生活に満足している生徒の割合(中学校)	体系コード	2	2	2
		めざそう値 (2022年度)	(小学校)95.0% (中学校)95.0%		

基本事業名	確かな学力の向上				
基本事業成果指標	みどり市学力調査において、目標値を上回った児童の割合(小学校)	めざそう値 (2022年度)	75.0%		
	みどり市学力調査において、目標値を上回った生徒の割合(中学校)		75.0%		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針重点施策名	学力向上対策事業	重点施策コード	2	(2)	イ	(ア)
事業の目的(何をやるのか)	みどり市学力調査及び知能検査を実施し、結果を分析して学力向上を目指す。					
4年度事業の取組内容	市内小学校及び義務教育学校の1年から6年までの児童に国語・算数の2教科、中学校1・2年及び義務教育学校7・8年の生徒に国語、社会、数学、理科、英語の5教科について、学力調査を行った。 市内小学校及び義務教育学校の3・5年の児童、中学校1年と義務教育学校7年の生徒に、知能検査を行った。					

実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのようになったのか)	◎ この事業を行うための費用					
	事業コスト	区分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)
	事業費 ①(千円)		3,953	3,922	4,129	3,780
	人件費(概算) ②(千円)		0	0	0	0
	総コスト ①+②(千円)		3,953	3,922	4,129	3,780
	うち一般財源(千円)		3,953	3,922	4,129	3,780
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みどり市学力調査の結果から児童生徒の学力の状況を分析し、学力向上策を検討・改善した。児童生徒が自分の学力の状況や努力点を把握し、学習への意欲を更に高めるとともに、家庭学習の充実につながるよう、結果を家庭にも知らせ協力を仰いでいる。</li> <li>・小学校及び義務教育学校前期課程では、概ね全国と同程度の正答率であったが、5・6年の算数では全国を大きく下回った。中学校1年及び義務教育学校7年では全ての教科で全国を上回った。中学校2年及び義務教育学校8年は数学で全国を下回ったが、概ね全国平均を上回る結果となった。すべての学校において、学校ごとに結果を分析し、学力向上対策に取り組んだ成果が表れた。</li> <li>・各学校の学力向上対策委員会では、学力向上コーディネーターを中心に計画を立て、学力向上対策を講じている。全国学力・学習状況調査も比較・活用しながら結果を分析し、PDCAサイクルが効果的に回るよう見直しを行っている。また、市の学力向上コーディネーター研修会において、各校の成果や課題、改善策等について共有することができた。</li> <li>・「みどり市学力向上サイクル」に本学力調査と全国学力・学習状況調査を位置付け、それぞれの成果と課題を分析し、改善策を講じており、各校の学力向上に大きく貢献している。</li> <li>・知能検査の実施により児童生徒の知能と学力との関連性を分析することで学習指導における個別の指導の充実が可能となった。</li> </ul>					

新型コロナウイルス感染症対策(影響による教訓をどこに生かしたのか)	特になし					
	事業評価(数値化)					
	必要性	有効性	経済性効率性	正確性信頼度	評価数値	評価結果
5	4	4	5	4.5	A	

今後の課題と改善に向けた方向性	更なる学力向上に向けて、次の2点に重点を置き学校への指導支援を充実させていく必要がある。 ①「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業改善、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けたICT活用について市全体で共通理解できるよう、研修を充実させる。 ②全国学力・学習状況調査、みどり市学力調査の結果分析を踏まえ、市の課題点を克服するための指導方法、授業方法について、学校訪問を活用しながら具体的に提案する。																						
	<p>■ 2年度 ■ 3年度 ■ 4年度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要性</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>経済効率</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>正確信頼</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>				項目	2年度	3年度	4年度	必要性	5	5	5	有効性	4	4	4	経済効率	4	4	4	正確信頼	5	5
項目	2年度	3年度	4年度																				
必要性	5	5	5																				
有効性	4	4	4																				
経済効率	4	4	4																				
正確信頼	5	5	5																				

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	教育の充実	担当課	学校教育課		
施策の成果指標	学校生活に満足している児童の割合(小学校) 学校生活に満足している生徒の割合(中学校)	体系コード	2	2	6
		めざそう値 (2022年度)	(小学校)95.0% (中学校)95.0%		

基本事業名	教育環境の整備と充実				
基本事業成果指標	施設維持管理上の不具合・トラブル対応件数	めざそう値 (2022年度)	50件		
	児童生徒ひとりあたりの学校維持管理費		57,000円		
	学校評価アンケートの安心・安全な環境に関する質問に肯定的な回答をした保護者の割合		95.0%		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	東地域小中一貫教育推進事業	重点施策 コード	2	(2)	イ	(ク)
事業の目的 (何をやるのか)	あずま小中学校に英語力向上支援員の配置及びデジタル教科書を整備し、先進校としての取組を次年度以降に市内各学校へ還元する。					

4年度事業の 取組内容	あずま小中学校に英語力向上支援員1名の配置及び全教科で教員用、児童生徒用デジタル教科書を整備を行った。英語科におけるチームティーチングによる指導やデジタル教科書を活用することによって、きめ細かな指導や視覚的音声的な指導を増加させ、学習内容の定着を図った。					
----------------	---	--	--	--	--	--

実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのようにになったのか)	◎ この事業を行うための費用					
	事業 コス ト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)
	事業費	①(千円)	523	703	1,745	1,128
	人件費(概算)	②(千円)	0	1,942	0	0
	総コスト	①+②(千円)	523	2,645	1,745	1,128
		うち一般財源(千円)	23	2,025	245	48
	◎事業の結果 あずま小中学校に英語力向上支援員1名の配置及び全教科のデジタル教科書の整備を行った。英語の授業では、英語力向上支援員とのチームティーチングによって、きめ細かな指導が実現した。また、デジタル教科書を活用することによって、視覚的音声的な指導を工夫することができ、これまでにない指導につながり、一人一人への支援がしやすくなった。一人一台タブレット端末と並行して活用することで、児童生徒が学習内容を深く理解することにつながった。					
	◎事業の成果 英語科教員、ALT、英語力向上支援員によるきめ細かな指導(場面によって1対1による個別指導)を実践することができた。全教科のデジタル教科書が整備されているのはあずま小中学校のみであるため、活用のスキルや成果を市内に広く周知することで、各学校の授業改善につなげることができた。また、ドリル教材等もデジタル教科書に入っていることから、教職員の多忙化解消にも効果的であった。					

新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	新型コロナウイルス感染症対策として、マスクの着用、換気、手指消毒を徹底した。	事業評価(数値化)					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		4	4	3	4	3.8	B

今後の課題と改善に向けた方向性	英語科教員、ALT、英語力向上支援員による役割分担や英会話のデモンストレーションをさらに充実させていく。 令和4年度においては英語科教員、ALT、英語力向上支援員ともに3年間同じメンバーであったため、連携がスムーズに図られた。また、英語力向上コーディネーターの指導助言を得ながらデジタル教科書の活用について英語科の研究を中心にする。とりわけ、映像やアニメーション、音声教材の効果は高く、有効であることがわかった。次年度は他教科での研究も進めていく。	
	<p>■ 2年度 ■ 3年度 ■ 4年度</p> <p>必要性 有効性 経済効率 正確信頼</p>	

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	教育の充実	担当課	学校教育課		
施策の成果指標	学校教育生活に満足している児童の割合(小学校) 学校教育生活に満足している生徒の割合(中学校)	体系コード	2	2	2
		めざそう値(2022年度)	(小学校)95.0% (中学校)95.0%		

基本事業名	確かな学力の向上				
基本事業成果指標	みどり市学力調査において、目標値を上回った児童の割合(小学校)	めざそう値(2022年度)	75.0%		
	みどり市学力調査において、目標値を上回った生徒の割合(中学校)		75.0%		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針重点施策名	キャリアアドリーム事業	重点施策コード	2	(2)	ウ	(イ)
事業の目的(何をやるのか)	中学校における職場体験活動を支援することを通して、確かな学力と豊かな心の育成を目指す。					
4年度事業の取組内容	中学校・義務教育学校後期課程では、地域の一員としての自覚を高めるとともに、望ましい勤労観・職業観を育成するため、地域の事業所で職場体験を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。あずま小中学校は、対象生徒が1名のため、実施した。代替事業として、各校ごとに進路講演会や校外学習でのキャリア体験等を実施した。					

実施結果と成果	◎ この事業を行うための費用													
	事業コスト	区分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)								
		事業費 ①(千円)	0	9	730	75								
		人件費(概算) ②(千円)	0	0	0	0								
		総コスト ①+②(千円)	0	9	730	75								
		うち一般財源(千円)	0	9	730	75								
(何をどのようにして、何がどのようになったのか)	<p>新型コロナウイルス感染拡大のため、事業所における生徒の受入が難しく、職場体験を実施することができなかった。 あずま小中学校は、対象生徒が1名のため、美容室にて半日の日程で実施した。 代替事業として望ましい勤労観・職業観を育成するために、学校ごとに、講師を招いてのキャリア講演会や校外学習でのキャリア体験活動等を実施した。</p> <p>代替事業(講演会、校外学習でのキャリア体験など)</p> <table border="0"> <tr> <td>笠懸中学校</td> <td>2回実施</td> <td>笠懸南中学校</td> <td>3回実施</td> </tr> <tr> <td>大間々中学校</td> <td>5回実施</td> <td>大間々東中学校</td> <td>3回実施</td> </tr> </table>						笠懸中学校	2回実施	笠懸南中学校	3回実施	大間々中学校	5回実施	大間々東中学校	3回実施
笠懸中学校	2回実施	笠懸南中学校	3回実施											
大間々中学校	5回実施	大間々東中学校	3回実施											

新型コロナウイルス感染症対策(影響による教訓をどこに生かしたのか)	事業所の受入が難しく職場体験活動を実施できなかった学校は、代替事業を実施した。 ○キャリア講演会 ○マナー講習会 ○校外学習でのキャリア会見活動 ○みどり市商工フェアへの参加	事業評価(数値化)					
		必要性	有効性	経済性効率性	正確性信頼度	評価数値	評価結果
		5	3	4	3	3.8	B

今後の課題と改善に向けた方向性	R4年度は新型コロナウイルス感染症の影響のため、あずま小中学校を除き、職場体験は実施できなかったが、キャリア講演会等の代替事業を実施した。 みどり市内の中学校において、キャリアアドリーム事業はすっかり定着し、中学2年生の重要な学習活動になっている。群馬県でもキャリア教育は重要施策と位置付けられていることから、今後も充実を図っていく必要がある。ウィズコロナにおける指導計画や活動内容を工夫し、みどり市内の事業所との連携を強化していきたい。	

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	教育の充実	担当課	学校教育課		
施策の成果指標	学校教育に満足している児童の割合(小学校) 学校教育に満足している生徒の割合(中学校)	体系コード	2	2	2
		めざそう値 (2022年度)	(小学校)95.0% (中学校)95.0%		

基本事業名	確かな学力の向上				
基本事業成果指標	みどり市学力調査において、目標値を上回った児童の割合(小学校)	めざそう値 (2022年度)	75.0%		
	みどり市学力調査において、目標値を上回った生徒の割合(中学校)		75.0%		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	MIDORIプログラミング教室事業	重点施策 コード	2	(2)	ウ	(カ)
事業の目的 (何をやるのか)	ICTを活用しながら、課題を解決するためのロボットの動きをプログラミングすることを通して、論理的創造的に思考し、課題を発見・解決していくプログラミング思考を身につける。					
4年度事業の 取組内容	市内小中学生を対象に、ロボットに自分が意図する動きをプログラミングすることで、必要な動きの組合せや課題の解決に向けたプログラミング的思考を学ぶ体験学習を行った。					

実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのように変わったのか)	◎ この事業を行うための費用					
	事業コスト	区分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)
	事業費 ①(千円)		0	0	9	0
	人件費(概算) ②(千円)		0	24	396	384
	総コスト ①+②(千円)		0	24	405	384
	うち一般財源(千円)		0	24	405	384
	<p>①群馬大学工学部の山田功教授を講師に迎えたプログラミング教室では、ロボットに自分が意図する動きをプログラミングすることで、必要な動きの組合せや課題の解決に向けたプログラミング的思考を学ぶ体験学習を行った。市内中学生12名が参加した。</p> <p>②株式会社グッドアイと連携したプログラミング教室では、小学生向けとして「人間型ロボットのプログラミング体験」、中学生向けとして「スマートデバイスを作ってみよう」の2コースを用意して実施した。小学生77名、中学生19名が参加した。</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒各自がタブレットを持参して参加した。</li> <li>・児童生徒の発達段階に応じたプログラムを準備したことで、プログラミング的思考を学ぶ良い機会となった。</li> <li>・参加児童生徒は「十分満足した」または「満足した」と解答しており、活動内容に満足している様子がうかがえた。</li> </ul>					

新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	新型コロナウイルス感染症対策として、マスクの着用、換気の徹底を行いながら、実施した。	事業評価 (数値化)					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	5	4	4	4.5	A

今後の課題と改善に向けた方向性	<p>学校授業で本格実施となったプログラミング教室は児童生徒の興味関心が高く、このような機会が設けられることは、筋道を立てて考える力を育成するために大変有効である。</p> <p>小学生の時に「ロボットと遊ぼう」(群馬大学地域貢献事業)に参加した経験のある生徒も見られた。「ロボットと遊ぼう」ではハード面から、「MIDORIプログラミング教室」ではソフト面から、それぞれロボット制御の仕組みを学ぶという系統性のある学習になった。</p> <p>授業の充実を図ることも考えると、群馬大学と一層の連携を図り、学校の授業支援についても検討していく必要がある。</p>	<p>■ 2年度 ■ 3年度 ■ 4年度</p> <p>必要性 有効性 経済効率 正確信頼</p>
-----------------	--	---

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	教育の充実	担当課	学校教育課		
施策の成果指標	学校生活に満足している児童の割合(小学校) 学校生活に満足している生徒の割合(中学校)	体系コード	2	2	3
		めざそう値 (2022年度)	(小学校)95.0% (中学校)95.0%		

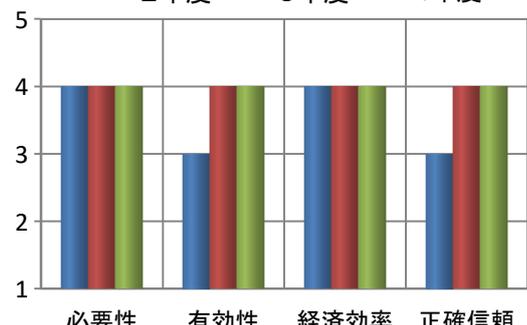
基本事業名	豊かな心の育成				
基本事業成果指標	学校評価アンケートの「豊かな心」に関する質問に肯定的な回答をした児童・生徒の割合	めざそう値 (2022年度)	93.0%		
	不登校率		0.6%		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	児童生徒豊かな心と探求心育成事業	重点施策 コード	2	(3)	ア エ	(イ)
事業の目的 (何をやるのか)	市内の文化芸術施設である富弘美術館と岩宿博物館施設を活用する学校の事業をバスの借上げを行うことで支援する。3年に1回演劇教室を開催し、たくましい心や思いやりの心を育成する。					
4年度事業の 取組内容	学校が実施する富弘美術館及び岩宿博物館における校外学習時のバスの借上げを行った。演劇教室を令和5年度に実施予定。					

実施結果と成果	◎ この事業を行うための費用						
	事業 コス ト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)	
	事業費 ①(千円)		363	266	797	387	
	人件費(概算) ②(千円)		0	0	0	0	
	総コスト ①+②(千円)		363	266	797	387	
	うち一般財源(千円)		363	266	797	387	
(何をどのようにして、何がどのようになったのか)			<p>◎ 富弘美術館や岩宿博物館と連携した授業や体験活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○バスの手配 大北小バス: 4校、貸切バス(財政課手配): 5校 借上げバス(個別契約): 4校 あずま小中学校はスクールバス使用</li> <li>○実際に見学して体験活動を行った学校は富弘美術館 1校、岩宿博物館 6校。出張授業等による体験を行った学校は富弘美術館 4校、岩宿博物館 5校。</li> </ul>			<p>◎ 成果</p> <p>参加した児童生徒の豊かな心の育成と郷土を大切にする心を育むことができた。</p>	

新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら見学や学校での体験活動を実施した学校が増えた。	事業評価 (数値化)					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		4	4	4	4	4.0	B

今後の課題と改善に向けた方向性	富弘美術館と岩宿博物館を活用した学校がそれぞれ11校、6校、出張授業等を利用した学校がそれぞれ4校、5校であった。前年度に比べ増えており、コロナ禍前の水準に戻ってきた。事業全体でみると、公演委託料が発生する演劇教室を「移動音楽教室事業」を実施しない年度に行うことで効率的だといえる(今回はH30年度に開催。次回はR6年度の予定)。また、市有施設を活用するため児童生徒移送費以外のコストは発生せず効率的であり、今後も継続して、学校が積極的に実施できるようはたらかせていく必要がある。	<p>■ 2年度 ■ 3年度 ■ 4年度</p> 			
		必要性	有効性	経済効率	正確信頼

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	教育の充実	担当課	学校教育課		
施策の成果指標	学校生活に満足している児童の割合(小学校) 学校生活に満足している生徒の割合(中学校)	体系コード	2	2	3
		めざそう値 (2022年度)	(小学校)95.0% (中学校)95.0%		

基本事業名	豊かな心の育成			
基本事業成果指標	学校評価アンケートの「豊かな心」に関する質問に肯定的な回答をした児童・生徒の割合	めざそう値 (2022年度)	93.0%	
	不登校率		0.6%	

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針重点施策名	中学生海外派遣事業(EnglishCampを代替実施)	重点施策コード	2	(3)	エ	(ア)
事業の目的(何をやるのか)	海外でのホームステイや外国文化を体験し、国際的視野に立った見方や考え方の基礎を培い、本事業の成果を生かして学校活動に主体的に参加できる生徒を目指す。					

4年度事業の取組内容	市内中学生25名をオーストラリアへ8日間派遣し、ホームステイ、現地の学校との交流、語学研修を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。代替事業として、市内ALTを活用した2日間のオールイングリッシュアクティビティを実施した。					
------------	--	--	--	--	--	--

実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのようになったのか)	◎ この事業を行うための費用					
	事業コスト	区分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)
	事業費 ①(千円)		0	154	72	12
	人件費(概算) ②(千円)		0	0	0	0
	総コスト ①+②(千円)		0	154	72	12
	うち一般財源(千円)		0	154	72	12
	<p>市内中学生25名をオーストラリアへ8日間派遣し、ホームステイ、現地の学校との交流、語学研修を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。</p> <p>◎成果 代替事業として、中学2・3年生、義務教育学校8・9年生の希望する28名を対象として、市内ALTを活用したオールイングリッシュのアクティビティ(EnglishCamp)を2日間実施した。参加生徒全員が「また参加したい」と回答し、各々の目標を達成していた。 【参加生徒】 笠懸中学校 5名、笠懸南中学校 11名、大間々中学校 8名、大間々東中学校 4名</p>					

新型コロナウイルス感染症対策(影響による教訓をどこに生かしたのか)	中学生をオーストラリアへ派遣することはできなかったが、代替事業として、市内ALTを活用したオールイングリッシュのアクティビティ(EnglishCamp)を2日間実施した。					
	事業評価(数値化)					
	必要性	有効性	経済性効率性	正確性信頼度	評価数値	評価結果
	4	4	4	4	4.0	B

今後の課題と改善に向けた方向性	社会情勢や災害等により、海外派遣が中止になっている経緯があります。そこで、令和5年度より、こうした影響を受けず、より多くの生徒が参加でき、みどり市のメリットを生かした事業へと方向転換をします。																								
	<p>■ 2年度 ■ 3年度 ■ 4年度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要性</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>経済効率</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>正確信頼</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> </tr> </tbody> </table>						項目	2年度	3年度	4年度	必要性	4	4	4	有効性	4	4	4	経済効率	3	3	3	正確信頼	4.0	4.0
項目	2年度	3年度	4年度																						
必要性	4	4	4																						
有効性	4	4	4																						
経済効率	3	3	3																						
正確信頼	4.0	4.0	4.0																						

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	教育の充実	担当課	学校教育課		
施策の成果指標	学校生活に満足している児童の割合(小学校) 学校生活に満足している生徒の割合(中学校)	体系コード	2	2	3
		めざそう値 (2022年度)	(小学校)95.0% (中学校)95.0%		

基本事業名	豊かな心の育成				
基本事業成果指標	学校評価アンケートの「豊かな心」に関する質問に肯定的な回答をした児童・生徒の割合	めざそう値 (2022年度)	93.0%		
	不登校率		0.6%		

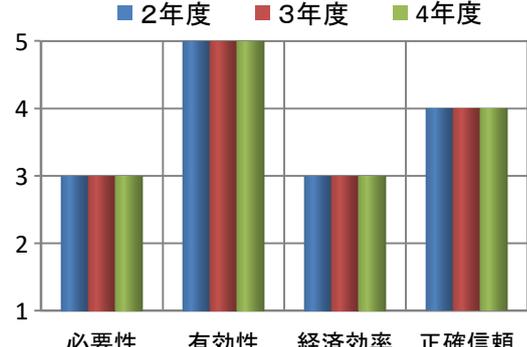
◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	環境教育・宿泊体験奨励事業	重点施策 コード	2	(3)	エ	(イ)
事業の目的 (何をやるのか)	みどりのカーテンや宿泊体験を奨励することで体験活動の充実を図る。 団体生活や自然体験を通して児童の豊かな人間性を育み、生きる力を醸成する。					

4年度事業の 取組内容	(1)学校が「みどりのカーテン」を実施する際に必要になる苗や肥料等を購入した。 (2)学校が実施する宿泊体験(R4は新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部の学校は日帰り事業を対象)に補助金を交付した。					
----------------	--	--	--	--	--	--

実施結果と成果	◎この事業を行うための費用					
	事業 コス ト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)
	事業費 ①(千円)		994	1,022	982	811
	人件費(概算) ②(千円)		0	0	0	0
	総コスト ①+②(千円)		994	1,022	982	811
	うち一般財源(千円)		994	1,022	982	811
(何をどのようにして、何がどのように変わったのか)	内 訳	みどりのカーテン消耗品	実施校 9校 96,462円			
		体験学習(宿泊体験の代替事業)補助金	実施校 7校 714,084円			
	◎成果 みどりのカーテン			◎成果 宿泊体験活動奨励		
	各校9千円の予算内で苗、土、肥料等を購入し、みどりのカーテンをはじめ、植物等を増やし、例年と同様に、学校の緑化・環境対策を進めるとともに児童が自然に触れる機会を増やすことができた。			宿泊体験を実施した学校と新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から宿泊体験の代替事業として実施する日帰りの体験活動を実施した学校の両方を補助金対象とし、自然体験を通して児童の豊かな人間性を育むことができた。		
						

新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	感染症対策として宿泊体験を行わなかった学校にも、補助金を交付することで、児童が自然に触れ合う貴重な体験の機会を失うことなく、例年に近い形で体験への支援を行うことができた。					
	事業評価 (数値化)					
	必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
	3	5	3	4	3.8	B

今後の課題と改善に向けた方向性	みどりのカーテンは、学校の緑化・環境対策に有効であるため、今後も継続していく。 今後、感染症の流行等に限らず、やむを得ず宿泊体験を実施できない事態に備えて、みどり市内の自然や施設を活用した体験学習を充実させる必要がある。					
						

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	教育の充実	担当課	学校教育課		
施策の成果指標	学校教育に満足している児童の割合(小学校) 学校教育に満足している生徒の割合(中学校)	体系コード	2	2	4
		めざそう値 (2022年度)	(小学校)95.0% (中学校)95.0%		

基本事業名	健やかな体の育成				
基本事業成果指標	学校評価アンケートの「健康・体力」に関する質問に肯定的な回答をした児童・生徒の割合	めざそう値 (2022年度)	90.0%		
	「群馬県児童生徒の体力・運動能力調査」で体力優良証をもらえる児童生徒の割合		16.0%		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	中体連活動費補助事業	重点施策 コード	2	(4)	ア	(イ)
事業の目的 (何をやるのか)	体育及びスポーツ活動振興、生徒の体力向上のため、みどり市立中学校の体育連盟の諸活動を支援する。					
4年度事業の 取組内容	中学校体育連盟に参加するみどり市立中学校に補助金を支出することで、大会参加や、大会へ参加するための部活動の支援を行った。					

実施結果と成果	◎ この事業を行うための費用					
	事業 コスト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)
	事業費 ①(千円)		1,138	1,022	981	930
	人件費(概算) ②(千円)		0	0	0	0
	総コスト ①+②(千円)		1,138	1,022	981	930
	うち一般財源(千円)		1,138	1,022	981	930
(何をどのようにして、何がどのようになったのか)	◎ 成果					
	交付した補助金は主に、大会参加負担金、プログラム・ユニフォーム代、消耗品費に活用され、生徒や保護者の経済的負担を軽減することができ、積極的な活動参加への一助となった。また、大会において以下の成績を残すことができ、生徒の体力向上にもつながった。					
	団体成績		春季	総体	新人	
	優勝数	10	9	11		
県出場数	14	16	20			



新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類から5類へ移行したため、最低限の対策で春季大会・総合体育大会・新人大会の中体連3大会を実施することができた。					
	事業評価 (数値化)					
	必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
	5	5	5	5	5.0	A

今後の課題と改善に向けた方向性	本年度は、春季大会・総合体育大会・新人大会と3大会を実施でき、補助を行うことができたため、事業の目的をおおむね達成したといえる。来年度から、春季大会が廃止となり、総合体育大会と新人大会の2大会のみとなる。生徒の体力向上のためにも、本事業は必要である。																								
	<p>■ 2年度 ■ 3年度 ■ 4年度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要性</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>経済効率</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>正確信頼</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>						項目	2年度	3年度	4年度	必要性	3	5	5	有効性	5	5	5	経済効率	3	3	5	正確信頼	3	4
項目	2年度	3年度	4年度																						
必要性	3	5	5																						
有効性	5	5	5																						
経済効率	3	3	5																						
正確信頼	3	4	5																						

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	教育の充実	担当課	学校教育課		
施策の成果指標	学校生活に満足している児童の割合(小学校) 学校生活に満足している生徒の割合(中学校)	体系コード	2	2	4
		めざそう値 (2022年度)	(小学校)95.0% (中学校)95.0%		

基本事業名	健やかな体の育成			
基本事業成果指標	学校評価アンケートの「健康・体力」に関する質問に肯定的な回答をした児童・生徒の割合	めざそう値 (2022年度)	90.0%	
	「群馬県児童生徒の体力・運動能力調査」で体力優良証をもらえる児童生徒の割合		16.0%	

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	小体研・音楽コンクール事業	重点施策 コード	2	(4)	ア	(イ)
事業の目的 (何をやるのか)	大会開催に要する施設使用料や県大会出場者Tシャツの作成、児童移送に係るバスの手配等を行う。					
4年度事業の 取組内容	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、参加人数を限定し、水泳記録会、陸上記録会を実施した。マーチングフェスティバルについては、開催されなかった。					

実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのようになったのか)	◎ この事業を行うための費用					
	事業コスト	区分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)
	事業費 ①(千円)		88	0	1,245	692
	人件費(概算) ②(千円)		0	0	0	0
	総コスト ①+②(千円)		88	0	1,245	692
	うち一般財源(千円)		88	0	1,245	692
	◎実施結果 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加人数を限定し、水泳記録会、陸上記録会を実施した。マーチングフェスティバルについては、開催されなかった。					
	◎成果 規模を縮小しながらも水泳記録会、陸上記録会を実施し、記録上位者に賞状を、県大会出場者にTシャツを授与した。					

新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	参加者の人数を制限するなど、規模を縮小して記録会を実施することができた。群馬県の記録会にも出場することができ、児童の運動に対する意欲の向上と、体力の現状を知るための機会を得ることができた。					
	事業評価(数値化)					
	必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
5	4	4	4	4.3	B	

今後の課題と改善に向けた方向性	水泳記録会、陸上記録会の実施方法を工夫し、より児童の体力向上につながるようにする。また、これまでと同様の方法により支援を行う。																								
	<p>■ 2年度 ■ 3年度 ■ 4年度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要性</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>経済効率</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>正確信頼</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>						項目	2年度	3年度	4年度	必要性	3	5	5	有効性	4	4	4	経済効率	2	3	4	正確信頼	3	4
項目	2年度	3年度	4年度																						
必要性	3	5	5																						
有効性	4	4	4																						
経済効率	2	3	4																						
正確信頼	3	4	4																						

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	教育の充実	担当課	学校教育課		
施策の成果指標	学校生活に満足している児童の割合(小学校) 学校生活に満足している生徒の割合(中学校)	体系コード	2	2	4
		めざそう値 (2022年度)	(小学校)95.0% (中学校)95.0%		

基本事業名	健やかな体の育成			
基本事業成果指標	学校評価アンケートの「健康・体力」に関する質問に肯定的な回答をした児童・生徒の割合	めざそう値 (2022年度)	90.0%	
	「群馬県児童生徒の体力・運動能力調査」で体力優良証をもらえる児童生徒の割合		16.0%	

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	健康管理事業	重点施策 コード	2	(4)	イ	(ア) (イ)
事業の目的 (何をやるのか)	児童生徒の健康管理を行う。					
4年度事業の 取組内容	児童生徒の健康管理のために、健康診断、各種検査(結核検査・尿検査・心電図検査・心臓検査・ 歯科検診)を行った。					

実施結果と成果	◎ この事業を行うための費用					
	事業 コス ト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)
(何をどのように して、何がどのよ うになったのか)	事業費	①(千円)	19,512	19,378	19,511	18,769
	人件費(概算)	②(千円)	0	0	0	0
	総コスト	①+②(千円)	19,512	19,378	19,511	18,769
	うち一般財源	(千円)	19,512	19,378	19,511	18,769
	内訳					
	小学校事業費		11,730	11,414	11,432	10,976
	中学校事業費		7,782	7,964	7,064	6,803
	義務教育学校事業費		-	-	1,015	990
	◎実施結果 新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら、予定されていた健康診断や各種検査を、 全て実施することができた。					
	◎成果 学校保健安全法等で示されている健康診断や各種検査を全て実施し、結果を児童生徒の 家庭に知らせ、受診等を促すことができた。					

新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	健康診断では、健康診断を行う部屋が密にならないように換気をしたり、人と人との間隔を十分取ったり感染防止対策をした。また、待機する児童生徒の間隔を広げたり健診会場を体育館に変更したりするなど、必要な対策を講じた。					
	事業評価(数値化)					
	必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
	5	4	4	4	4.3	B

今後の課題と 改善に向けた 方向性	本事業は、児童生徒の健康管理には欠かせない事業である。新型コロナウイルス等の感染症拡大の有無にかかわらず、実施方法を検討しながら事業の充実を図る必要がある。																								
	<p>■ 2年度 ■ 3年度 ■ 4年度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要性</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>経済効率</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>正確信頼</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>						項目	2年度	3年度	4年度	必要性	5	5	5	有効性	4	4	4	経済効率	4	4	4	正確信頼	4	4
項目	2年度	3年度	4年度																						
必要性	5	5	5																						
有効性	4	4	4																						
経済効率	4	4	4																						
正確信頼	4	4	4																						

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	教育の充実	担当課	学校教育課		
施策の成果指標	学校教育生活に満足している児童の割合(小学校) 学校教育生活に満足している生徒の割合(中学校)	体系コード	2	2	5
		めざそう値 (2022年度)	(小学校)95.0% (中学校)95.0%		

基本事業名	教職員の資質向上			
基本事業成果指標	人事評価の能力評価において、評価項目の平均が5段階で3以上となった教職員の割合	めざそう値 (2022年度)	90.0%	
	学校評価アンケートの授業の理解度に関する質問に肯定的な回答をした児童・生徒の割合		95.0%	

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針重点施策名	学級経営充実事業	重点施策コード	2	(5)	ア	(ア)
事業の目的(何をやるのか)	学級の状況を的確に把握し、一人一人を大切に学級づくりを目指す。					
4年度事業の取組内容	児童生徒の学校生活の意欲や学級満足度を分析する調査(Q-U)等を行い、K-13法を用いたアセスメントにより、すべて児童生徒が学級を「心の居場所」とし、安心して学校生活を送れるよう支援を行った。					

実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのように変わったのか)	◎ この事業を行うための費用					
	事業コスト	区分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)
	事業費 ①(千円)		2,428	2,375	2,411	2,284
	人件費(概算) ②(千円)		0	0	0	0
	総コスト ①+②(千円)		2,428	2,375	2,411	2,284
	うち一般財源(千円)		2,428	2,375	2,411	2,284
	◎ 事業結果 各学校でQ-U結果をもとにしたK-13法を用いたアセスメントを行い、複数の教員で学級経営の充実に向けた改善策や取組を話し合った。アセスメントの結果を受けて学校教育課に改善策や今後の取組を提出した学級は100%であり、Q-Uを有効に活用していた。					
	◎ 成果 ①学校生活満足群：小学校62.0%、中学校62.2%(全国平均小学校42.6%、中学校41%) 学校生活不満足群：小学校12.8%、中学校15.5%(全国平均小学校22.6%、中学校28.0%) ②問題行動報告件数：(加害的事案)R2は5件、R3は28件、R4は23件であった。R4についても、昨年同様その他(加害)が増加したが、その内容は自傷行為が多かった。 ③いじめ認知件数：R2は96件、R3は39件、R4は89件であった。学校生活も通常に戻り、コロナ禍で少なかった認知件数も再び増加している。 R4のいじめについては、54件が解消、30件は新年度も様子の観察を継続した。 ④年間30日以上不登校報告数：R2は47人、R3は101人、R4は119人であった。 R4の不登校増加の原因としては、複雑な要因が絡み合っているケースが多いが、コロナ禍で休みやすさが増した影響も引き続き見られる。					

新型コロナウイルス感染症対策(影響による教訓をどこに生かしたのか)	新型コロナウイルス感染症対策として、マスクの着用、換気の徹底を行いながら、実施した。					
	事業評価(数値化)					
	必要性	有効性	経済性効率性	正確性信頼度	評価数値	評価結果
5	4	3	3	3.8	B	

今後の課題と改善に向けた方向性	みどり市全体では、学級生活満足群の割合が小・中学校ともに全国平均を大きく上回っている。結果を学校全体で分析し、個々の児童理解や学級経営に生かしていることが成果と考えられる。Q-Uの活用は、児童生徒の実態を把握し、個々への対応や改善点を把握するのに大いに役立っている。今後も一人一人の児童生徒の様子や、困り感に対応した適切かつ効果的な指導をしていく必要がある。 また、不登校については増加傾向が続いているため、SCやSSW、教育支援センターと連携した組織的・計画的な支援を行う必要がある。																						
	<p>■ 2年度 ■ 3年度 ■ 4年度</p> <table border="1"> <caption>事業評価(数値化)の推移</caption> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要性</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>経済効率</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>正確信頼</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>				評価項目	2年度	3年度	4年度	必要性	4	5	5	有効性	4	4	4	経済効率	3	3	3	正確信頼	3	3
評価項目	2年度	3年度	4年度																				
必要性	4	5	5																				
有効性	4	4	4																				
経済効率	3	3	3																				
正確信頼	3	3	3																				

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	教育の充実	担当課	学校教育課		
施策の成果指標	学校生活に満足している児童の割合(小学校) 学校生活に満足している生徒の割合(中学校)	体系コード	2	2	5
		めざそう値 (2022年度)	(小学校)95.0% (中学校)95.0%		

基本事業名	教職員の資質向上				
基本事業成果指標	人事評価の能力評価において、評価項目の平均が5段階で3以上となった教職員の割合	めざそう値 (2022年度)	90.0%		
	学校評価アンケートの授業の理解度に関する質問に肯定的な回答をした児童・生徒の割合		95.0%		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	教職員研修事業	重点施策 コード	2	(5)	イ	(ア)
事業の目的 (何をやるのか)	「生きる力」を身に付けた児童生徒を育成するため、教職員の指導力と資質の向上を図る。					
4年度事業の 取組内容	各種研修講座や研究班の活動を通して、各種の教育課題に関する必要な専門知識や技能の習得を促進し教職員の資質の向上を図った。					

実施結果と成果	◎ この事業を行うための費用					
	事業 コス ト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)
	事業費	①(千円)	138	238	446	306
	人件費(概算)	②(千円)	0	0	0	0
	総コスト	①+②(千円)	138	238	446	306
	うち一般財源	(千円)	138	238	446	306
(何をどのようにして、何がどのようにになったのか)	<p>(1)班別研究・・・「授業活用推進班」「基本操作能力向上班」「英語力向上班」の3班編制で年間15回程度の研修を実施した。R4年度は、R3年度に引き続きICT活用に関わる教師のスキルアップを課題とし、授業公開のほか各校の校内研修で活用できる資料の作成等を通して、班員の資質向上と市内教職員への情報提供を行った。</p> <p>(2)教育相談研修・・・教育相談技術認定研修中級については、2名の講師(市内教職員)を依頼して実施した。(初級は隔年実施のためなし。)</p> <p>(3)学校経営研修講座・・・県教委学校人事課長や東部教育事務所管理主監等を講師に7講座を実施した。のべ311名が参加した。</p> <p>(4)その他・・・教職員夏季研修講座は、落語家を講師に招いた講演会という形で実施し、278名の教職員が参加した。ふたばプラン研修、大樹プラン研修については、計画どおり実施した。</p> <p>班別研究では、みどり市GIGAスクール構想に基づき、教師のICT活用能力向上のための研究が推進された。学校経営研修講座、夏季研修講座では、3年ぶりに参集型の研修が実施でき、教職員の深い学びにつながった。</p>					

新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	基本的には、参集型の研修が実施できたが、みどり市WEB会議システムの構築により、感染状況に応じてはオンラインでの会議や研修ができるよう準備を整えている。今後もハイブリッド型の研修実施を通して、業務の効率化を図りたい。					
	事業評価(数値化)					
	必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
5	5	4	5	4.8	A	

今後の課題と改善に向けた方向性	教職員研修事業については、GIGAスクール構想への対応や特色ある英語教育の充実に向けて、増々重要性が高まっている。研究班での研修を市内全体で共有し、その後の授業実践に生かしていくことが大切であると考え。特にICTの活用については、昨年度立ち上げたICT推進主任会を中心に、より効果的な活用に向けてさらに充実した研修となるよう工夫していく計画である。																								
	<p>■ 2年度 ■ 3年度 ■ 4年度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要性</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>経済効率</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>正確信頼</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>						項目	2年度	3年度	4年度	必要性	5	5	5	有効性	5	5	5	経済効率	4	4	4	正確信頼	5	5
項目	2年度	3年度	4年度																						
必要性	5	5	5																						
有効性	5	5	5																						
経済効率	4	4	4																						
正確信頼	5	5	5																						

◎総合計画における事業目標

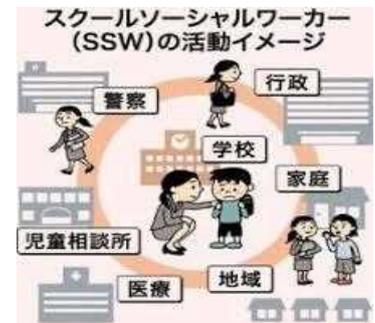
総合計画施策名	教育の充実	担当課	学校教育課		
施策の成果指標	学校生活に満足している児童の割合(小学校) 学校生活に満足している生徒の割合(中学校)	体系コード	2	2	6
		めざそう値 (2022年度)	(小学校)95.0% (中学校)95.0%		

基本事業名	教育環境の整備と充実				
基本事業成果指標	施設維持管理上の不具合・トラブル対応件数	めざそう値 (2022年度)	50件		
	児童生徒ひとりあたりの学校維持管理費		57,000円		
	学校評価アンケートの安心・安全な環境に関する質問に肯定的な回答をした保護者の割合		95.0%		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

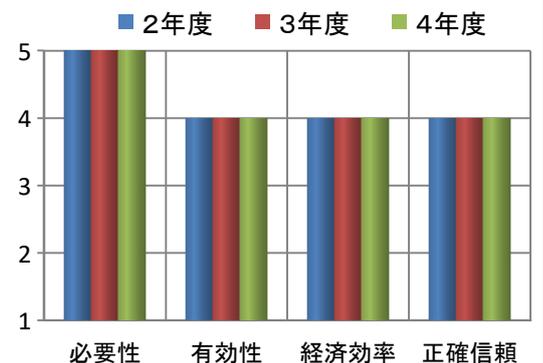
教育行政方針 重点施策名	スクールソーシャルワーカー配置事業	重点施策 コード	2	(6)	ア	(工)
事業の目的 (何をやるのか)	児童生徒を取り巻く環境に注目し、学校内の相談室だけでなく、家庭や他の機関の職員と合同で相談するなど、生活環境を改善する方法をコーディネートする。					
4年度事業の 取組内容	問題を抱える家庭の状況を的確に把握し、アセスメント(評価・見立て)やプランニング(手立て)、コンサルテーション(福祉の観点からの助言)等の支援を行った。教職員の専門領域外であり、今まで連携することがあまり進んでいなかった学校外の保健・医療・福祉等の各関係機関とのネットワークの活用や、就学援助制度等経済的な制度を利用する支援など問題の解決を図った。					

実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのようになったのか)	◎ この事業を行うための費用					
	事業 コス ト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)
	事業費 ①(千円)		0	0	0	0
	人件費(概算) ②(千円)		882	882	882	882
	総コスト ①+②(千円)		882	882	882	882
	うち一般財源(千円)		882	882	882	882
	◎実施結果 ○スクールソーシャルワーカーを市内1校(笠懸中学校)に配置し、必要に応じて市内の他校に派遣した。 ○令和4年度の支援件数は235件で、多くの児童生徒、保護者にかかわり、問題解決に向けて取り組んだ。					
	◎成果 ○教職員に対する助言・支援も行き、このことにより教師の視野が広がり、支援のスキルも大きく向上している。					



新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	新型コロナウイルスの影響で、更なる問題を抱えた家庭、児童生徒に寄り添った対応をした。		事業評価(数値化)			
	必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
	5	4	4	4	4.3	B

今後の課題と改善に向けた方向性	様々な理由で通常の学校生活を送ることが困難な家庭にスクールソーシャルワーカーが関わることで、その原因の除去や生活状況の改善等、児童生徒の健全な育成に効果的であった。また、家庭的な孤立や虐待への迅速な対応、いじめや問題行動、不登校の減少等が期待できる。教職員の資質向上と負担軽減にも貢献している。			
	現在は笠懸中学校に1名の配置であるが、令和5年度は県費による1名を増員した。今後はさらに、各中学校区への配置の必要性の検討が必要である。			



◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	教育の充実	担当課	学校教育課		
施策の成果指標	学校生活に満足している児童の割合(小学校) 学校生活に満足している生徒の割合(中学校)	体系コード	2	2	6
		めざそう値 (2022年度)	(小学校)95.0% (中学校)95.0%		

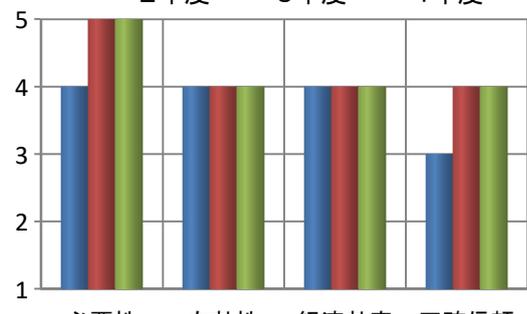
基本事業名	教育環境の整備と充実				
基本事業成果指標	施設維持管理上の不具合・トラブル対応件数	めざそう値 (2022年度)	50件		
	児童生徒ひとりあたりの学校維持管理費		57,000円		
	学校評価アンケートの安心・安全な環境に関する質問に肯定的な回答をした保護者の割合		95.0%		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	生徒指導特別サポート員配置事業	重点施策 コード	2	(6)	イ	(ア)
事業の目的 (何をやるのか)	心理的・情緒的・家庭環境などの問題から心理状態が不安定な生徒に対してきめ細かな指導・支援を行う。					
4年度事業の 取組内容	生徒指導特別サポート員を会計年度任用職員として活用し、様々な問題を抱える生徒を支援するために市内中学校5校に配置した。					

実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのようになったのか)	◎ この事業を行うための費用					
	事業 コスト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)
	事業費	①(千円)	0	0	0	0
	人件費(概算)	②(千円)	6,670	6,584	6,405	5,812
	総コスト	①+②(千円)	6,670	6,584	6,405	5,812
	うち一般財源	(千円)	6,670	6,584	6,405	5,812
	◎事業結果と成果					
	配置校及び任用数・・・市内全中学校(5校)に1名ずつ計5名を配置					
	不登校傾向にある生徒や問題行動を抱える生徒に対して、学級担任や教育相談担当、養護教諭、スクールカウンセラー等と連携し、次のような指導・支援を行い、生徒一人一人に寄り添うことができた。					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心の相談室等での指導及び相談</li> <li>・心の相談室等での学習支援や生活支援</li> <li>・不登校生徒への適応指導</li> <li>・家庭訪問及び当該生徒の保護者への支援</li> <li>・教育支援センターとの連携</li> </ul>					
	<div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">心の相談室</div> 					

新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	新型コロナウイルス感染症対策として、マスクの着用、換気、手指消毒を徹底した。					
	事業評価 (数値化)					
	必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
5	4	4	4	4.3	B	

今後の課題と改善に向けた方向性	中学生は、心理的・精神的発達段階から、情緒的に不安定になりやすい年齢段階である。一人一人が抱える問題が複雑化、多様化している上、不登校傾向の生徒は年々増加している。そのような中、学校では生徒指導サポート員が別室登校の生徒の指導にあたる等、一人一人の心情に寄り添った支援に大きな成果を挙げている。今後も、生徒指導サポート員を継続して配置する必要があると考えている。			
	<div style="text-align: center;"> <span style="color: blue;">■</span> 2年度    <span style="color: red;">■</span> 3年度    <span style="color: green;">■</span> 4年度             </div> 			

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	教育の充実	担当課	学校教育課		
施策の成果指標	学校生活に満足している児童の割合(小学校) 学校生活に満足している生徒の割合(中学校)	体系コード	2	2	6
		めざそう値 (2022年度)	(小学校)95.0% (中学校)95.0%		

基本事業名	教育環境の整備と充実				
基本事業成果指標	施設維持管理上の不具合・トラブル対応件数	めざそう値 (2022年度)	50件		
	児童生徒ひとりあたりの学校維持管理費		57,000円		
	学校評価アンケートの安心・安全な環境に関する質問に肯定的な回答をした保護者の割合		95.0%		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	学校カウンセラー活用事業	重点施策 コード	2	(6)	イ	(イ)
事業の目的 (何をやるのか)	いじめ・不登校など学校生活において幼児児童生徒及び保護者が抱えている問題や悩みに対して適切に対応し、幼児児童生徒が安心して学校生活を送ることができるように学校カウンセラーを配置する。					
4年度事業の 取組内容	臨床心理士等の資格や心理臨床業務等の経験を有し「心の専門家」として専門的相談技術を持つ者を学校カウンセラーとして任用し、小・中学校及び幼稚園に会計年度任用職員として配置した。					

実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのように変わったのか)	◎ この事業を行うための費用						
	事業 コ ス ト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)	
		事業費 ①(千円)	153	97	106	103	
		人件費(概算) ②(千円)	8,849	8,201	9,041	8,684	
		総コスト ①+②(千円)	9,002	8,298	9,147	8,787	
		うち一般財源(千円)	9,002	8,298	9,147	8,787	
	◎事業結果						
	県費カウンセラーの配置時数に加えて市費でカウンセラー8名を任用し、市立幼稚園、小・中学校(12校・1園)に配置することで、1日あたりの勤務時間及び年間勤務日数を増やし、教育相談体制の充実を図った。学校カウンセラーの専門性を生かすため、以下の取組を行った。 【カウンセリング】児童生徒へのカウンセリング、保護者へのカウンセリング 【職員への研修】教職員への研修(カウンセリングの仕方、発達障害への対応等) 【個別の支援】不登校児童生徒への家庭訪問、別室登校の児童生徒への教室復帰支援 【学校・関係機関との連携】学校職員と連携した児童生徒支援、適応指導教室との連携						
	◎成果						
	幼稚園、小中学校において積極的に相談活動を展開し、児童・生徒、教職員、保護者の心の安定を図ることができた。また、カウンセラーの専門性を生かし、ケース会議の運営や支援内容に関する適切な助言が教職員の児童生徒理解や有効な支援につながった。						

新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	新型コロナウイルス感染症の影響で、さらなる問題を抱えた家庭、児童生徒に寄り添った対応をした。また、教職員についても支援の方向性や支援内容についてアドバイスすることで、適切な対応を行うことができた。	事業評価(数値化)					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	5	3	4	4.3	B

今後の課題と改善に向けた方向性	カウンセラーの配置では、県費と市費の組み合わせにより、十分な相談体制がとれるように配慮している。カウンセラーは、児童生徒や保護者の相談はもちろん、問題行動、不登校などについても、担任や養護教諭、スクールソーシャルワーカー等と連携しながら対応にあたっており、大きな成果を挙げている。 引き続きカウンセラーを配置し、各学校の相談体制の充実を図っていきたい。	2年度 3年度 4年度 
		必要性 有効性 経済効率 正確信頼

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	教育の充実	担当課	学校教育課		
施策の成果指標	学校生活に満足している児童の割合(小学校) 学校生活に満足している生徒の割合(中学校)	体系コード	2	2	6
		めざそう値 (2022年度)	(小学校)95.0% (中学校)95.0%		

基本事業名	教育環境の整備と充実				
基本事業成果指標	施設維持管理上の不具合・トラブル対応件数	めざそう値 (2022年度)	50件		
	児童生徒ひとりあたりの学校維持管理費		57,000円		
	学校評価アンケートの安心・安全な環境に関する質問に肯定的な回答をした保護者の割合		95.0%		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	教育支援センター運営事業	重点施策 コード	2	(6)	イ	(ウ)																				
事業の目的 (何をするのか)	心理的・情緒的・身体的・社会的要因を背景に、「登校しない」あるいは「登校したくてもできない」状態の児童生徒に対する指導・支援を行う教室として設置する。																									
4年度事業の 取組内容	大間々教室、笠懸教室の2教室に、相談員、指導員を配置し、来所する児童生徒への指導、保護者への支援、学校との連携を図り、学校復帰に向けた指導・支援を行った。																									
実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのようになったのか)	◎ この事業を行うための費用																									
	事業 コス ト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)																				
	事業費 ①(千円)		1,053	1,063	1,336	1,195																				
	人件費(概算) ②(千円)		9,673	9,506	11,060	10,507																				
	総コスト ①+②(千円)		10,726	10,569	12,396	11,702																				
	うち一般財源(千円)		10,726	10,569	12,396	11,702																				
	◎事業結果 相談員配置数 笠懸教室・・・相談員1名 指導員2名 大間々教室・・・相談員1名 指導員2名																									
	教育支援センター(なごみ教室笠懸・なごみ教室大間々)に通室する児童生徒一人一人に合わせた支援プログラムを実施している。この支援プログラムは、個に応じた学習課題から児童生徒の相互交流まで幅広く実施するとともに、地域の関係機関と連携し、専門性の高い対応となるようにした。各学校との連携を一層密にするために、計画訪問を市内12校・1園で各2回実施した。併せて、学校の要請等により、随時学校訪問を行った。保護者に対しても、電話相談や来所相談を通じて、受容的・共感的に心情を受けとめる対応に努めた。																									
	◎成果 大間々教室7名、笠懸教室11名 計18名が通室した。保護者の対応を含め、個に応じたきめ細かな対応をした結果、どの児童生徒についても学校への適応改善がみられた。また、通室児童生徒以外にも、随時体験通所を受け入れ、適応改善につなげることができた。																									
新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	不登校傾向となった児童生徒への対応についても、新型コロナウイルス感染症の対策をしっかりと丁寧に対応した。		事業評価(数値化)																							
	必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果																				
	5	4	3	4	4.0	B																				
今後の課題と改善に向けた方向性	県全体の不登校児童生徒は増加傾向にあり、みどり市も同様である。学校との連携を密にし、情報交換を行うことで、支援を必要としている児童生徒に速やかに支援の手が届くよう、体制を整えていきたいが、体験通所を希望する児童生徒が増加しており、施設の広さや指導員の数が課題である。 教育支援センターでは、全く学校に通学できない、又は学校以外の場所であれば通える児童生徒のために、適切な学習の機会を提供することが重要であり、その方法について検討していきたい。また、再登校や社会的自立に向けた支援の在り方についても引き続き検討していきたい。		<table border="1"> <caption>事業評価(数値化)の推移</caption> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要性</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>経済効率</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>正確信頼</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>				評価項目	2年度	3年度	4年度	必要性	5	5	5	有効性	4	4	4	経済効率	3	3	3	正確信頼	4	4	4
評価項目	2年度	3年度	4年度																							
必要性	5	5	5																							
有効性	4	4	4																							
経済効率	3	3	3																							
正確信頼	4	4	4																							

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	教育の充実	担当課	学校教育課		
施策の成果指標	学校生活に満足している児童の割合(小学校) 学校生活に満足している生徒の割合(中学校)	体系コード	2	2	6
		めざそう値 (2022年度)	(小学校)95.0% (中学校)95.0%		

基本事業名	教育環境の整備と充実				
基本事業成果指標	施設維持管理上の不具合・トラブル対応件数	めざそう値 (2022年度)	50件		
	児童生徒ひとりあたりの学校維持管理費		57,000円		
	学校評価アンケートの安心・安全な環境に関する質問に肯定的な回答をした保護者の割合		95.0%		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	いじめ防止対策推進事業	重点施策 コード	2	(6)	イ	(工)
事業の目的 (何をやるのか)	いじめ防止に関係する機関及び団体の連携を推進し、いじめ防止に向けた対策の実効性を高める。					
4年度事業の 取組内容	みどり市いじめ問題対策連絡協議会、みどり市いじめ問題専門委員会を開催し、関係機関と連携し、いじめ防止に向けた取組を行った。					

実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのようになったのか)	◎ この事業を行うための費用					
	事業 コス ト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)
	事業費 ①(千円)		0	0	0	0
	人件費(概算) ②(千円)		44	0	124	40
	総コスト ①+②(千円)		44	0	124	40
	うち一般財源(千円)		44	0	124	40
	◎実施結果 いじめ防止について、関係機関と共通理解を図り、いじめ防止や重大事態への対応などについての体制を構築した。					
	◎成果 いじめ問題専門委員会及びいじめ問題対策連絡協議会は、新型コロナウイルス感染症の対策を取りながら対面で実施できた。みどり市におけるいじめの現状を報告したり、いじめの未然防止に向けた対応を説明したりするなど、みどり市のいじめ防止に関わる取組について理解していただくとともに、指導・助言をいただいた。					

新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	新型コロナウイルス感染症対策として、マスクの着用、換気の徹底を行いながら、実施した。	事業評価(数値化)					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	3	3	4	3.8	B

今後の課題と 改善に向けた 方向性	令和4年度は、いじめ問題対策連絡協議会、いじめ問題専門委員会の2つの会議を数年ぶりに対面で実施することができた。みどり市のいじめ防止活動において、重要な役割を果たす組織であることから、今後も開催方法等を工夫しながら実施していく必要がある。				
		必要性	有効性	経済効率	正確信頼

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	教育の充実	担当課	学校教育課		
施策の成果指標	学校生活に満足している児童の割合(小学校) 学校生活に満足している生徒の割合(中学校)	体系コード	2	2	6
		めざそう値 (2022年度)	(小学校)95.0% (中学校)95.0%		

基本事業名	教育環境の整備と充実				
基本事業成果指標	施設維持管理上の不具合・トラブル対応件数	めざそう値 (2022年度)	50件		
	児童生徒ひとりあたりの学校維持管理費		57,000円		
	学校評価アンケートの安心・安全な環境に関する質問に肯定的な回答をした保護者の割合		95.0%		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	学力向上対策支援員事業	重点施策 コード	2	(6)	イ	(才)
事業の目的 (何をするのか)	児童生徒の個に応じた指導きめ細かな指導の充実を図る。					
4年度事業の 取組内容	個に応じたきめ細かな指導を行うため、教員免許を持つマイタウンティーチャーを会計年度任用職員として任用し、各小中学校に配置した。					

実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのようになったのか)	◎ この事業を行うための費用					
	事業 コスト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)
		事業費 ①(千円)	0	0	0	0
		人件費(概算) ②(千円)	24,640	29,200	28,728	25,110
総コスト ①+②(千円)		24,640	29,200	28,728	25,110	
内 訳	うち一般財源(千円)	24,640	29,200	28,728	25,110	
	小学校事業費	15,260	17,653	15,254	14,277	
	中学校事業費	9,380	11,547	11,462	8,880	
	義務教育学校事業費	-	-	2,012	1,953	
	◎ 配置校及び任用数…小中学校16名、あずま小複式指導助手2名配置					
	学力向上対策支援員		複式解消			
小学校	9名	笠小:2名、笠東小:1名、笠北小:1名、大北小:1名、大南小:1名、大東小:1名、青い鳥分教室:1名、あずま小中:1名	あずま小中 2名			
中学校	7名	笠中:1名、笠南中:1名、大中:1名、大東中:1名、青い鳥分教室2名、あずま小中:1名				
	◎ 成果 支援員を配置することにより、個に応じた指導やきめ細かな指導、学習習慣の定着等の指導の充実が図られ、学力向上に貢献した。また、支援員の配置により、複式学級での指導の充実が図られた。					



新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	新型コロナウイルス感染症対策として、マスクの着用、換気、手指消毒を徹底した。	事業評価(数値化)					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	4	3	4	4.0	B

今後の課題と改善に向けた方向性	1人1台端末の整備など、教育現場の現代的課題にもきめ細かく対応していくため、学力向上対策支援員の配置は必要である。個別最適学習や協働的な学びの実現に対しても、引き続き本事業を継続していくことが重要である。しかし、全国的にも任用を希望する教員免許所有者が減少しており、教員免許所有者を確保することが困難となっているため、今後もこの課題が継続されることが予想されるため、退職教員のリスト作成や県教委人事担当との連携強化・情報共有をさらに図っていく。				
		必要性	有効性	経済効率	正確信頼

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	教育の充実	担当課	学校教育課		
施策の成果指標	学校生活に満足している児童の割合(小学校) 学校生活に満足している生徒の割合(中学校)	体系コード	2	2	6
		めざそう値 (2022年度)	(小学校)95.0% (中学校)95.0%		

基本事業名	教育環境の整備と充実				
基本事業成果指標	施設維持管理上の不具合・トラブル対応件数	めざそう値 (2022年度)	50件		
	児童生徒ひとりあたりの学校維持管理費		57,000円		
	学校評価アンケートの安心・安全な環境に関する質問に肯定的な回答をした保護者の割合		95.0%		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	きめ細かな指導充実支援員配置事業	重点施策 コード	2	(6)	イ	(力)																													
事業の目的 (何をやるのか)	「GUNMAニューノーマルクラスプロジェクト」により、小1・2年30人学級から小3年から中3年35人学級への移行時に学級減となり、1学級の児童数が増加するため、支援員を配置し、きめ細かな指導を継続充実させ、児童の学力向上及び心身の健全育成を図る。																																		
4年度事業の 取組内容	教員免許を持つ者をきめ細かな指導充実支援員(会計年度任用職員)として任用し、大東小に1名配置した。																																		
実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのようになったのか)	◎ この事業を行うための費用																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業コスト</th> <th>区分</th> <th>R2決算</th> <th>R3決算</th> <th>R4予算</th> <th>R4決算(概算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>事業費 ①(千円)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費(概算) ②(千円)</td> <td>1,744</td> <td>5,268</td> <td>1,867</td> <td>1,805</td> </tr> <tr> <td></td> <td>総コスト ①+②(千円)</td> <td>1,744</td> <td>5,268</td> <td>1,867</td> <td>1,805</td> </tr> <tr> <td></td> <td>うち一般財源(千円)</td> <td>1,744</td> <td>5,268</td> <td>1,867</td> <td>1,805</td> </tr> </tbody> </table>						事業コスト	区分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)		事業費 ①(千円)	0	0	0	0		人件費(概算) ②(千円)	1,744	5,268	1,867	1,805		総コスト ①+②(千円)	1,744	5,268	1,867	1,805		うち一般財源(千円)	1,744	5,268	1,867
事業コスト	区分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)																														
	事業費 ①(千円)	0	0	0	0																														
	人件費(概算) ②(千円)	1,744	5,268	1,867	1,805																														
	総コスト ①+②(千円)	1,744	5,268	1,867	1,805																														
	うち一般財源(千円)	1,744	5,268	1,867	1,805																														
	◎実施結果 配置校及び任用数…大東小1名配置																																		
	◎ 成果 きめ細かな指導充実支援員を配置することにより、教師が児童一人一人に関わる時間が増え、学級の人数の急激な増加による戸惑いや不適應に対応することができ、児童が安心して学校生活を送ることができている。また、個に応じた指導や、きめ細かな指導、学習習慣の定着等の指導の充実が図られ、学力向上に貢献した。																																		
新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	新型コロナウイルス感染症対策として、マスクの着用、換気、手指消毒を徹底した。	事業評価(数値化)																																	
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果																												
		5	4	3	4	4.0	B																												
今後の課題と改善に向けた方向性	小学校3年生への移行時に学級減となり、1学級の児童数が増える学級では、教師が児童一人一人に関わることができる時間が短くなり、児童の学習面や生活面での戸惑いや不適應に対応しきれない状況が起こる。きめ細かな指導充実支援員は、こうした状況の学級に配置され、担任の大きな手助けになっている。今後もこのような状況は発生していくため、引続き本事業を継続していくことが必要である。																																		
	<table border="1"> <caption>事業評価(数値化)の推移</caption> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要性</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>経済効率</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>正確信頼</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>						評価項目	2年度	3年度	4年度	必要性	5	5	5	有効性	4	4	4	経済効率	4	3	3	正確信頼	4	4	4									
評価項目	2年度	3年度	4年度																																
必要性	5	5	5																																
有効性	4	4	4																																
経済効率	4	3	3																																
正確信頼	4	4	4																																

◎総合計画における事業目標

		担当課	学校教育課		
総合計画施策名	教育の充実	体系コード	2	2	6
施策の成果指標	学校生活に満足している児童の割合(小学校) 学校生活に満足している生徒の割合(中学校)	めざそう値 (2022年度)	(小学校)95.0% (中学校)95.0%		

基本事業名	教育環境の整備と充実				
基本事業成果指標	施設維持管理上の不具合・トラブル対応件数	めざそう値 (2022年度)	50件		
	児童生徒ひとりあたりの学校維持管理費		57,000円		
	学校評価アンケートの安心・安全な環境に関する質問に肯定的な回答をした保護者の割合		95.0%		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	学校情報整備管理運営事業	重点施策 コード	2	(6)	イ	(ク)																										
事業の目的 (何をするのか)	教職員や児童生徒用の情報機器(PC機器等)を整備し、校務の情報化及び情報教育の充実を図る。																															
4年度事業の 取組内容	令和3年8月末でリースアップとなり使用期限を1年間延長したセンターサーバ機器の入れ替えを行い、併せてインターネットフィルターライセンス及び大間々地区5校の校務支援システムライセンスを更新した。また、サーバ機器等の保守契約やコンピュータウイルス対策ソフト等の契約を更新した。																															
実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのようにになったのか)	◎ この事業を行うための費用																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業 コス ト</th> <th>区 分</th> <th>R2決算</th> <th>R3決算</th> <th>R4予算</th> <th>R4決算(概算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4"></td> <td>事業費 ①(千円)</td> <td>106,404</td> <td>117,814</td> <td>107,714</td> <td>107,360</td> </tr> <tr> <td>人件費(概算) ②(千円)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>総コスト ①+②(千円)</td> <td>106,404</td> <td>117,814</td> <td>107,714</td> <td>107,360</td> </tr> <tr> <td>うち一般財源(千円)</td> <td>106,404</td> <td>117,814</td> <td>107,714</td> <td>107,360</td> </tr> </tbody> </table>						事業 コス ト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)		事業費 ①(千円)	106,404	117,814	107,714	107,360	人件費(概算) ②(千円)	0	0	0	0	総コスト ①+②(千円)	106,404	117,814	107,714	107,360	うち一般財源(千円)	106,404	117,814	107,714
事業 コス ト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)																											
	事業費 ①(千円)	106,404	117,814	107,714	107,360																											
	人件費(概算) ②(千円)	0	0	0	0																											
	総コスト ①+②(千円)	106,404	117,814	107,714	107,360																											
	うち一般財源(千円)	106,404	117,814	107,714	107,360																											
◎事業の結果 ・令和3年8月末でリースアップとなり使用期限を1年間延長したセンターサーバ機器の入れ替えを行い、併せて各種ライセンスを更新した。また、サーバ機器等の保守契約やコンピュータウイルス対策ソフト等の契約を更新し、引き続き円滑に校務が進められるようにした。																																
◎事業の成果 ・ウイルス対策ソフト等の契約を更新し、高いセキュリティレベルを維持することで、ウイルス感染や不正アクセスを防ぎ、児童生徒、教職員が安心安全にインターネットを利用できた。																																
新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	昨年度に構築した市内の教育ネットワーク内で使用できるWeb会議システムを引き続き活用し、会議や研修、校内の集会や行事等をリモートで行うことにより、参集による三密を防ぎ、新型コロナウイルス感染症対策に活かさせた。	事業評価(数値化)																														
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果																									
		5	5	4	4	4.5	A																									
今後の課題と 改善に向けた 方向性	情報セキュリティ対策を行う上で、コンピュータウイルス対策ソフト等の更新が重要となってきている。高いセキュリティレベルを維持するためには、コンピュータウイルス対策ソフト等の更新が引き続き重要となってくる。 また、導入から長年使用し老朽化が進む機器等の更新を引き続き行うとともに、1人1台タブレット端末を活用した授業のより一層の充実を図るために必要な機器の選定・整備を計画的に進めていく。	<table border="1"> <caption>事業評価(数値化)の推移</caption> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要性</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>経済効率</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>正確信頼</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>					評価項目	2年度	3年度	4年度	必要性	5	5	5	有効性	5	5	5	経済効率	4	4	4	正確信頼	4	4	4						
評価項目	2年度	3年度	4年度																													
必要性	5	5	5																													
有効性	5	5	5																													
経済効率	4	4	4																													
正確信頼	4	4	4																													

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	教育の充実	担当課	学校教育課		
施策の成果指標	学校生活に満足している児童の割合(小学校) 学校生活に満足している生徒の割合(中学校)	体系コード	2	2	6
		めざそう値 (2022年度)	(小学校)95.0% (中学校)95.0%		

基本事業名	教育環境の整備と充実				
基本事業成果指標	施設維持管理上の不具合・トラブル対応件数	めざそう値 (2022年度)	50件		
	児童生徒ひとりあたりの学校維持管理費		57,000円		
	学校評価アンケートの安心・安全な環境に関する質問に肯定的な回答をした保護者の割合		95.0%		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	部活動指導員配置事業	重点施策 コード	2	(6)	エ	(イ)																													
事業の目的 (何をするのか)	専門的な指導による部活動の充実及び質的な向上等により部活動の適正化を図る。																																		
4年度事業の 取組内容	市内中学校に部活動指導員を配置し、専門的な指導を実施することで、生徒の競技力の向上や教職員の資質向上とともに、部活動業務に関わる負担軽減を図る。																																		
実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのようになったのか)	◎ この事業を行うための費用																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業コスト</th> <th>区分</th> <th>R2決算</th> <th>R3決算</th> <th>R4予算</th> <th>R4決算(概算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>事業費 ①(千円)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費(概算) ②(千円)</td> <td>813</td> <td>846</td> <td>2,688</td> <td>1,675</td> </tr> <tr> <td></td> <td>総コスト ①+②(千円)</td> <td>813</td> <td>846</td> <td>2,688</td> <td>1,675</td> </tr> <tr> <td></td> <td>うち一般財源(千円)</td> <td>275</td> <td>282</td> <td>896</td> <td>561</td> </tr> </tbody> </table>						事業コスト	区分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)		事業費 ①(千円)	0	0	0	0		人件費(概算) ②(千円)	813	846	2,688	1,675		総コスト ①+②(千円)	813	846	2,688	1,675		うち一般財源(千円)	275	282	896
事業コスト	区分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)																														
	事業費 ①(千円)	0	0	0	0																														
	人件費(概算) ②(千円)	813	846	2,688	1,675																														
	総コスト ①+②(千円)	813	846	2,688	1,675																														
	うち一般財源(千円)	275	282	896	561																														
	◎部活動指導員を配置した中学校と部活動 ・笠懸中学校・・・卓球部・吹奏楽部(2名)      ・笠懸南中学校・・・ソフトボール部・卓球部(2名) ・大間々中学校・・・卓球部(1名)                      ・大間々東中学校・・・吹奏楽部(1名)																																		
	◎成果 笠懸中学校卓球部では年間93時間、吹奏楽部では年間113時間、笠懸南中学校ソフトボール部・卓球部、大間々中学校卓球部、大間々東中学校吹奏楽部ではそれぞれ年間210時間、指導いただいた。このことにより、担当顧問教職員の部活動に関わる指導時数を軽減することができた。また、部活動指導員は週休日に指導ができるので、担当顧問教職員の心身の負担軽減にもなっている。更に、大会等への引率も可能であるため、担当顧問教職員が競技役員となった際に生徒への指導・対応ができ、安全確保の面からも成果があった。																																		
新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	みどり市学校感染症対策マニュアル、みどり市立学校における部活動方針に基づき、指導に携わった。	事業評価(数値化) <table border="1"> <thead> <tr> <th>必要性</th> <th>有効性</th> <th>経済性 効率性</th> <th>正確性 信頼度</th> <th>評価 数値</th> <th>評価 結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>4.3</td> <td>B</td> </tr> </tbody> </table>					必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果	5	5	3	4	4.3	B																	
必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果																														
5	5	3	4	4.3	B																														
今後の課題と改善に向けた方向性	休日の部活動地域移行に向けて、みどり市の部活動のあり方について検討する協議会を立ち上げ、みどり市の実態に沿った地域移行になるよう準備を進める。	<table border="1"> <caption>事業評価(数値化)の推移</caption> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要性</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>経済効率</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>正確信頼</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>					評価項目	2年度	3年度	4年度	必要性	5	5	5	有効性	5	5	5	経済効率	3	3	3	正確信頼	4	4	4									
評価項目	2年度	3年度	4年度																																
必要性	5	5	5																																
有効性	5	5	5																																
経済効率	3	3	3																																
正確信頼	4	4	4																																

◎総合計画における事業目標

		担当課	学校教育課		
総合計画施策名	教育の充実	体系コード	2	2	6
施策の成果指標	学校生活に満足している児童の割合(小学校) 学校生活に満足している生徒の割合(中学校)	めざそう値 (2022年度)	(小学校)95.0% (中学校)95.0%		

基本事業名	教育環境の整備と充実				
基本事業成果指標	施設維持管理上の不具合・トラブル対応件数	めざそう値 (2022年度)	50件		
	児童生徒ひとりあたりの学校維持管理費		57,000円		
	学校評価アンケートの安心・安全な環境に関する質問に肯定的な回答をした保護者の割合		95.0%		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	教職員健康管理事業	重点施策 コード	2	(6)	エ	(ウ)																													
事業の目的 (何をするのか)	健康安全保健法等に基づき、教職員の心身の健康管理を行う。																																		
4年度事業の 取組内容	教職員健康診断、教職員エックス線検査、胃がん検診、ストレスチェックを実施した。																																		
実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのようになったのか)	◎ この事業を行うための費用																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業 コス ト</th> <th>区 分</th> <th>R2決算</th> <th>R3決算</th> <th>R4予算</th> <th>R4決算(概算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>①(千円)</td> <td>1,637</td> <td>1,309</td> <td>1,790</td> <td>1,335</td> </tr> <tr> <td>人件費(概算)</td> <td>②(千円)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>総コスト</td> <td>①+②(千円)</td> <td>1,637</td> <td>1,309</td> <td>1,790</td> <td>1,335</td> </tr> <tr> <td></td> <td>うち一般財源(千円)</td> <td>1,637</td> <td>1,309</td> <td>1,790</td> <td>1,335</td> </tr> </tbody> </table>						事業 コス ト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)	事業費	①(千円)	1,637	1,309	1,790	1,335	人件費(概算)	②(千円)	0	0	0	0	総コスト	①+②(千円)	1,637	1,309	1,790	1,335		うち一般財源(千円)	1,637	1,309	1,790
事業 コス ト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)																														
事業費	①(千円)	1,637	1,309	1,790	1,335																														
人件費(概算)	②(千円)	0	0	0	0																														
総コスト	①+②(千円)	1,637	1,309	1,790	1,335																														
	うち一般財源(千円)	1,637	1,309	1,790	1,335																														
	◎実施結果 新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、健康診断、X線検査、胃がん検診、ストレスチェックを実施することができた。																																		
	◎成果 健康安全保健法等で示されている健康診断などを全て実施し、受診した教職員に結果を示すことができた。ストレスチェックでは、管理職に集団分析結果を示し、学校運営に生かせるようにした。																																		
新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	健康診断や胃がん検診では、密にならないようにするために、受付時間を指定して実施した。		事業評価(数値化)																																
	必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果																													
	5	5	5	4	4.8	A																													
今後の課題と 改善に向けた 方向性	新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが概ね事業の目的を達成したといえる。 本事業は、教職員の健康管理には欠かせない事業である。今後も感染症等の対策を十分にしながら実施していく。		<table border="1"> <caption>事業評価(数値化)の推移</caption> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要性</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>経済効率</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>正確信頼</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>				評価項目	2年度	3年度	4年度	必要性	5	5	5	有効性	5	5	5	経済効率	5	5	5	正確信頼	4	4	4									
評価項目	2年度	3年度	4年度																																
必要性	5	5	5																																
有効性	5	5	5																																
経済効率	5	5	5																																
正確信頼	4	4	4																																

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	教育の充実	担当課	学校教育課		
施策の成果指標	学校生活に満足している児童の割合(小学校) 学校生活に満足している生徒の割合(中学校)	体系コード	2	2	6
		めざそう値 (2022年度)	(小学校)95.0% (中学校)95.0%		

基本事業名	教育環境の整備と充実				
基本事業成果指標	施設維持管理上の不具合・トラブル対応件数	めざそう値 (2022年度)	50件		
	児童生徒ひとりあたりの学校維持管理費		57,000円		
	学校評価アンケートの安心・安全な環境に関する質問に肯定的な回答をした保護者の割合		95.0%		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	語学指導者設置事業	重点施策 コード	2	(6)	オ	(ア) (イ)																				
事業の目的 (何をやるのか)	英語の授業等でネイティブの発音に触れることにより、小学校ではコミュニケーション能力の素地を、中学校ではコミュニケーション能力の基礎を習得する。異文化に対する理解の推進を図る。																									
4年度事業の 取組内容	市内全小中学校に、JETプログラム(国の斡旋)によるALTを2名、直接雇用3名、民間企業との業務委託契約によるALTを6名の合計11名を配置した。																									
実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのように変わったのか)	◎ この事業を行うための費用																									
	事業 コス ト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)																				
		事業費 ①(千円)	25,397	27,331	26,986	26,593																				
		人件費(概算) ②(千円)	13,312	12,276	17,858	17,524																				
		総コスト ①+②(千円)	38,709	39,607	44,844	44,117																				
うち一般財源(千円)	38,709	39,607	44,844	44,117																						
◎実施結果 <ALTが行う授業回数> <授業の内容>																										
	幼稚園	年間10回程度	・外国文化の紹介 ・英語の歌や英語を使ったゲーム																							
	小学校	・5、6年生は週2回程度 ・3、4年生は週1回程度 ・1、2年生は年間10回程度 ※あずま小は1、2年生も週1回	・外国文化の紹介 ・英語の歌や英語を使ったゲーム ・簡単な英会話 ・アルファベットと英語の正しい発音を学ぶ活動																							
	中学校	・1年生は週2回以上 ・2、3年生は週1回以上	・外国文化の理解を深める活動 ・英語の正しい発音や文法を学ぶ活動 ・英語によるコミュニケーション活動																							
◎成果 英語によるコミュニケーション活動を大切に授業展開が図られた。また、ALTを通して他国の家庭での生活習慣や学校生活など、他国の文化に触れ国際理解を深めることができた。																										
新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	新型コロナウイルス感染症対策として、マスクの着用、換気、手指消毒を徹底した。場合によりフェイスマスクを着用して指導にあたった。		事業評価(数値化)																							
	必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果																				
	5	3	4	4	4.0	B																				
今後の課題と改善に向けた方向性	学習指導要領では、小学校高学年において週2時間の英語科、中学年において週1時間の外国語活動が教育課程に位置づけられ、すべての小学校で3、4年生年間35時間、5、6年生70時間の実施が義務付けられている。英語力向上の観点から、ネイティブ・スピーカーの活用は必須であり、ALTの継続配置の必要がある。 令和4年度からの笠懸西小学校開校に合わせ、直接雇用(会計年度任用職員)を1名増員した。このことにより大北小と大南小の兼務1名を除き、他の学校では1校ALT1名体制となった。		<table border="1"> <caption>事業評価(数値化)の推移</caption> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要性</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>経済効率</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>正確信頼</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>				評価項目	2年度	3年度	4年度	必要性	5	5	5	有効性	3	3	3	経済効率	4	4	4	正確信頼	4	4	4
評価項目	2年度	3年度	4年度																							
必要性	5	5	5																							
有効性	3	3	3																							
経済効率	4	4	4																							
正確信頼	4	4	4																							

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	教育の充実	担当課	学校教育課		
施策の成果指標	学校生活に満足している児童の割合(小学校) 学校生活に満足している生徒の割合(中学校)	体系コード	2	2	6
		めざそう値 (2022年度)	(小学校)95.0% (中学校)95.0%		

基本事業名	教育環境の整備と充実				
基本事業成果指標	施設維持管理上の不具合・トラブル対応件数	めざそう値 (2022年度)	50件		
	児童生徒ひとりあたりの学校維持管理費		57,000円		
	学校評価アンケートの安心・安全な環境に関する質問に肯定的な回答をした保護者の割合		95.0%		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	教育支援員配置事業	重点施策 コード	2	(6)	カ	(ア)
事業の目的 (何をやるのか)	通常学級及び特別支援学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒を支援するための「教育支援員」を配置し、支援を必要とする児童生徒の情緒面の安定及び学校生活や集団生活への適応を図り、児童生徒が安心して学校生活を送ることができるようにする。					
4年度事業の 取組内容	市内小・中学校に会計年度任用職員を41名を配置し、通常学級及び特別支援学級に在籍する児童・生徒の支援を行う。(特別支援学級に在籍する児童生徒4名に対して1名、以降原則児童生徒2名増で1名の教育支援員を配置する。また、学校の実態に応じ1~3名を追加配置する。)					

実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのようになったのか)	◎ この事業を行うための費用					
	事業 コスト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)
		事業費 ①(千円)	0	0	0	0
		人件費(概算) ②(千円)	38,295	40,721	40,899	36,392
		総コスト ①+②(千円)	38,295	40,721	40,899	36,392
うち一般財源(千円)	38,295	40,721	40,899	36,392		
	◎実施結果 配置校及び任用数…41名を配置					
	小学校	29名	笠小:5名、笠東小:5名、笠北小:3名、笠西小:3名、大北小:3名、大南小:3名、大東小:5名、青い鳥分教室:2名			
	中学校	11名	笠中:3名、笠南中:5名、大中:3名、大東中:0名			
	義務教育学校	1名	あずま小中:1名			
	特別支援学級や通常学級において特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対して、学級担任や教科担任と連携して介助や支援を行った。					
	◎成果 教育支援員の適切な支援により、児童生徒の情緒面の安定及び学校生活や集団生活への適応が図られ、落ち着いた雰囲気の中で学習を進めることができた。また、児童生徒が安心して学校生活を送ることができた。					

新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	新型コロナウイルス感染症対策として、マスクの着用、換気、手指消毒を徹底した。	事業評価(数値化)					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	5	4	4	4.5	A

今後の課題と改善に向けた方向性	市内の学校で特別支援学級に在籍している児童生徒数は年々増加している。また、特別支援学級に在籍する児童生徒の障害は一人一人様々であるため、個に応じた支援が必要である。また、通常学級でも支援を必要とする児童生徒が増えていくことから、教育支援員をそのような学級へ柔軟に配置することで、通常学級における支援の充実にもつながっている。 今後も個に応じた支援を必要とする児童生徒にきめ細かく対応するため、本事業は大変有効である。教育支援員の資質向上研修の充実を図るとともに、継続配置していくことが必要である。	
	<p>■ 2年度 ■ 3年度 ■ 4年度</p> <p>必要性 有効性 経済効率 正確信頼</p>	

◎総合計画における事業目標

		担当課	学校教育課		
総合計画施策名	教育の充実	体系コード	2	2	6
施策の成果指標	学校生活に満足している児童の割合(小学校) 学校生活に満足している生徒の割合(中学校)	めざそう値 (2022年度)	(小学校)95.0% (中学校)95.0%		

基本事業名	教育環境の整備と充実				
基本事業成果指標	施設維持管理上の不具合・トラブル対応件数	めざそう値 (2022年度)	50件		
	児童生徒ひとりあたりの学校維持管理費		57,000円		
	学校評価アンケートの安心・安全な環境に関する質問に肯定的な回答をした保護者の割合		95.0%		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	小学校通級指導教室運営事業	重点施策 コード	2	(6)	カ	(ア)																													
事業の目的 (何をやるのか)	特別な支援を必要とする児童が在籍する通級指導教室で、学びやすいように教材や教具を工夫しながら指導を行う。																																		
4年度事業の 取組内容	通級指導教室で使用する、ファイル、色鉛筆、再生紙等を購入した。																																		
実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのようになったのか)	◎ この事業を行うための費用																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業コスト</th> <th>区 分</th> <th>R2決算</th> <th>R3決算</th> <th>R4予算</th> <th>R4決算(概算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>事業費 ①(千円)</td> <td>30</td> <td>61</td> <td>90</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費(概算) ②(千円)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>総コスト ①+②(千円)</td> <td>30</td> <td>61</td> <td>90</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td></td> <td>うち一般財源(千円)</td> <td>30</td> <td>61</td> <td>90</td> <td>32</td> </tr> </tbody> </table>						事業コスト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)		事業費 ①(千円)	30	61	90	32		人件費(概算) ②(千円)	0	0	0	0		総コスト ①+②(千円)	30	61	90	32		うち一般財源(千円)	30	61	90
事業コスト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)																														
	事業費 ①(千円)	30	61	90	32																														
	人件費(概算) ②(千円)	0	0	0	0																														
	総コスト ①+②(千円)	30	61	90	32																														
	うち一般財源(千円)	30	61	90	32																														
	◎実施結果 笠懸小学校内通級指導教室31名(笠懸小学校23名、笠懸北小学校4名、笠懸中学校2名、笠懸南中学校2名) 大間々南小学校内通級指導教室9名 (大間々南小学校4名・大間々東小学校4名・大間々北小学校1名) 笠懸西小学校内通級指導教室23名(笠懸西小学校20名、笠懸東小学校3名) フラットファイル、コピー用紙、色鉛筆、折り紙、教材集等を購入した。																																		
	◎成果 子どもの困難さやその障がいとなる特性を理解し、その子どもに合った指導目標を立て、学びやすいように教材や教具を工夫しながら指導を行い、本人の得意な面からアプローチすることができた。																																		
新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	新型コロナウイルス感染症対策として、マスクの着用、換気、手指消毒を徹底した。	事業評価(数値化)																																	
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果																												
		5	5	4	4	4.5	A																												
今後の課題と 改善に向けた 方向性	通級指導が、困難さを抱えた子供やその保護者にとって、安心できる時間や場所となり児童の自信や意欲につながるように、今後も継続して指導していく必要がある。需要は年々高まっていることと、中学生も指導を受けられるようになったこと等を鑑みると、通級指導教室の増設を考える必要がある。	<table border="1"> <caption>事業評価(数値化)の推移</caption> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要性</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>経済効率</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>正確信頼</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>					評価項目	2年度	3年度	4年度	必要性	5	5	5	有効性	5	5	5	経済効率	4	4	4	正確信頼	4	4	4									
評価項目	2年度	3年度	4年度																																
必要性	5	5	5																																
有効性	5	5	5																																
経済効率	4	4	4																																
正確信頼	4	4	4																																

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	教育の充実	担当課	学校教育課		
施策の成果指標	学校生活に満足している児童の割合(小学校) 学校生活に満足している生徒の割合(中学校)	体系コード	2	2	6
		めざそう値 (2022年度)	(小学校)95.0% (中学校)95.0%		

基本事業名	教育環境の整備と充実				
基本事業成果指標	施設維持管理上の不具合・トラブル対応件数	めざそう値 (2022年度)	50件		
	児童生徒ひとりあたりの学校維持管理費		57,000円		
	学校評価アンケートの安心・安全な環境に関する質問に肯定的な回答をした保護者の割合		95.0%		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	防犯カメラ設置事業	重点施策 コード	2	(6)	キ	(ウ)
事業の目的 (何をするのか)	市内小中学校及び公立幼稚園に防犯カメラを設置し、不審者の侵入を早期に発見するとともに、不審者の侵入を未然に防ぐ。					
4年度事業の 取組内容	平成26年度及び令和2年度契約した機器は修繕等を実施し、継続して使用できる状態を確保した。また、令和4年度に開校したみどり市立笠懸西小学校の防犯カメラ保守委託を行った。					

実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのようになったのか)	◎ この事業を行うための費用					
	事業 コ ス ト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)
	事業費	① (千円)	2,348	7,997	8,105	8,104
	人件費(概算)	② (千円)	0	0	0	0
	総コスト	①+② (千円)	2,348	7,997	8,105	8,104
		うち一般財源 (千円)	2,348	7,997	8,105	8,104
	◎事業の結果 ・笠懸西小学校除く小中義務教育学校及び公立幼稚園については、設置済機器のリース料金(保守を含む)となっている。 ・市内小中学校については、カメラの保守委託契約を行っている。 ・市内小中義務教育学校及び公立幼稚園に設置済みのカメラの台数は合計146台で、定期点検や修繕等を実施し、全台が正常に稼働している。 ・令和4年度の修繕件数は3件であった。(バッテリー交換やカメラレンズの交換修繕)					
	◎事業の成果 ・定期的な保守点検を実施し、機器の不具合や故障を早期に発見し対応しているため、安全安心な学校環境が築けている。 ・更新、入替に際して、全施設の防犯カメラ可動範囲や死角の有無等の検証を行い、設置位置等の調整を行うことで、防犯対策が向上し、不審者侵入の未然防止に成果を上げている。					



新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	特になし	事業評価 (数値化)					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	4	4	4	4.3	B

今後の課題と 改善に向けた 方向性	146台の防犯カメラは全台が正常に稼働している。定期的な保守点検を実施することで、機器の不具合等に迅速に対応できるようにする必要がある。 また、定期的な保守点検を行う中で、防犯カメラの可動範囲や死角の有無等の検証を行い、より効果的な整備を進めることで、児童生徒が安全安心に学校生活を送れるように引き続き環境の構築に努めていく。				
		必要性	有効性	経済効率	正確信頼

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	教育の充実	担当課	学校教育課		
施策の成果指標	学校生活に満足している児童の割合(小学校) 学校生活に満足している生徒の割合(中学校)	体系コード	2	2	6
		めざそう値 (2022年度)	(小学校)95.0% (中学校)95.0%		

基本事業名	教育環境の整備と充実			
基本事業成果指標	施設維持管理上の不具合・トラブル対応件数	めざそう値 (2022年度)	50件	
	児童生徒ひとりあたりの学校維持管理費		57,000円	
	学校評価アンケートの安心・安全な環境に関する質問に肯定的な回答をした保護者の割合		95.0%	

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針重点施策名	就学援助事業	重点施策コード	2	(6)	ク	(イ) (ウ)
事業の目的(何をやるのか)	経済的理由により就学困難と認められる小中学校の児童生徒等の保護者に対して、学用品費等の一部を支給し、保護者の経済的負担軽減を図る。					
4年度事業の取組内容	「みどり市児童・生徒就学援助費支給要綱」に基づき、市内に住所を有する小学校の児童、中学校の生徒又は就学予定者の保護者226世帯へ、合計17,804,868円(小学校費7,226,289円196人、中学校費10,115,475円158人、義務教育学校費463,104円10人)の援助費を支給した。					

実施結果と成果	◎ この事業を行うための費用					
	事業コスト	区分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)
(何をどのようにして、何がどのようになったのか)	内訳	事業費 ①(千円)	12,848	10,228	22,649	17,805
		人件費(概算) ②(千円)	0	0	0	0
		総コスト ①+②(千円)	12,848	10,228	22,649	17,805
		うち一般財源(千円)	12,848	10,228	22,556	17,765
	◎対象となる主な経費と年間支給上限額	費目	年間支給上限額		対象学年	備考
			小学校	中学校		
		学用品費	11,630円	22,730円	全学年	
		通学用品費	2,270円	2,270円	1年生以外	
		就学準備費(R5年度入学者)	54,060円	60,000円	1年生のみ	
		就学援助費(R4年度入学者)	51,060円	60,000円	1年生のみ	
校外活動費(泊あり)	3,690円	6,210円	実施学年	実費額と比べて低い額(各1回)		
校外活動費(泊なし)	1,600円	2,310円	実施学年			
児童会等活動費	4,650円	5,550円	全学年			
PTA活動費	3,450円	4,260円	全学年			
修学旅行費	実費額の一部		実施学年	学校報告額による		
オンライン学習通信費	14,000円	14,000円	全学年	新設		
◎成果	援助費を支給することにより、当該児童生徒の保護者の経済的負担を軽減した。					

新型コロナウイルス感染症対策(影響による教訓をどこに生かしたのか)	特になし	事業評価(数値化)					
		必要性	有効性	経済性効率性	正確性信頼度	評価数値	評価結果
		5	3	4	4	4.0	B

今後の課題と改善に向けた方向性	経済状況の悪化により、年々申請者数は増加傾向にある。入学前や進級時などで就学援助の周知をしているが、援助が必要な児童・生徒の全保護者に対して行き届くように、学校関係者からの聞き取りや他部局との連携などにより、周知徹底していく必要がある。 認定基準については要綱に規定されているが、援助が必要な児童・生徒の全保護者が対象となっているかの検証も含め、検討していく必要がある。				
		<p>■ 2年度 ■ 3年度 ■ 4年度</p> <p>必要性 有効性 経済効率 正確信頼</p>			

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	教育の充実	担当課	学校教育課		
施策の成果指標	学校生活に満足している児童の割合(小学校) 学校生活に満足している生徒の割合(中学校)	体系コード	2	2	6
		めざそう値 (2022年度)	(小学校)95.0% (中学校)95.0%		

基本事業名	教育環境の整備と充実				
基本事業成果指標	施設維持管理上の不具合・トラブル対応件数	めざそう値 (2022年度)	50件		
	児童生徒ひとりあたりの学校維持管理費		57,000円		
	学校評価アンケートの安心・安全な環境に関する質問に肯定的な回答をした保護者の割合		95.0%		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	特別支援学級補助事業	重点施策 コード	2	(6)	ク	(イ) (ウ)
事業の目的 (何をやるのか)	特別支援学級に在籍する児童生徒の教育活動に係る経費の一部を補助金として学校に交付し教育活動で要する経費の一部に充てることで、児童生徒の保護者の経済的負担を軽減する。					
4年度事業の 取組内容	特別支援学級に在籍する児童生徒の学校12校2分教室へ、計1,012,165円の補助金を交付した。					

実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのようになったのか)	◎ この事業を行うための費用						
	事業 コスト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)	
	事業費 ①(千円)		1,071	1,124	1,033	1,012	
	人件費(概算) ②(千円)		0	0	0	0	
	総コスト ①+②(千円)		1,071	1,124	1,033	1,012	
	うち一般財源(千円)		1,071	1,124	1,033	1,012	
	内 訳 補 助 金	笠懸小	94,700円	大間々南小	59,900円	大間々東中(※1)	88,500円
		笠懸東小	83,100円	大間々東小(※1)	143,600円	あずま小中(前期)	50,719円
		笠懸北小	68,600円	笠懸中	68,572円	あずま小中(後期)	36,798円
		笠懸西小	83,100円	笠懸南中	88,900円		
		大間々北小	68,376円	大間々中	77,300円		
	(※1)大間々東小、大間々東中には、それぞれ青い鳥分教室を含める。 (※2)補助金額は、各校の特別支援学級在籍児童生徒数から算出する。 ◎ 補助金の主な用途 児童生徒が教育活動で使用する消耗品費(文具や教材)、校外活動で必要になる交通費(鉄道やタクシー料金)などに使用されている。 ◎ 成果 補助金を交付することにより、当該児童生徒の保護者の経済的負担を軽減した。 (対象児童生徒1人当たりの平均補助額 約8,163円/124人)						



新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	特になし	事業評価(数値化)					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		3	5	3	3	3.5	C

今後の課題と改善に向けた方向性	特別支援学級は8人以下のため、使用する教材購入に対し、本補助により、保護者の負担軽減となっている。 特別支援学級では具体物を使用した教材の使用や実際の体験活動はとても効果的であるため、今後も特別支援教育の充実のために、継続していく必要がある。	■ 2年度 ■ 3年度 ■ 4年度 
		必要性 有効性 経済効率 正確信頼

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	教育の充実	担当課	学校教育課		
施策の成果指標	学校生活に満足している児童の割合(小学校) 学校生活に満足している生徒の割合(中学校)	体系コード	2	2	6
		めざそう値 (2022年度)	(小学校)95.0% (中学校)95.0%		

基本事業名	教育環境の整備と充実				
基本事業成果指標	施設維持管理上の不具合・トラブル対応件数	めざそう値 (2022年度)	50件		
	児童生徒ひとりあたりの学校維持管理費		57,000円		
	学校評価アンケートの安心・安全な環境に関する質問に肯定的な回答をした保護者の割合		95.0%		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	特別支援教育就学奨励事業	重点施策 コード	2	(6)	ク	(イ) (ウ)
事業の目的 (何をやるのか)	特別支援学級に就学する児童生徒の保護者に対し、学用品費や校外活動費の一部を支給し、保護者の経済的負担軽減を図る(国庫補助事業)。					
4年度事業の 取組内容	文部科学省の定める「特別支援学校への就学奨励に関する法律施行令第2条の規定に基づく保護者等の属する世帯の収入額及び需要額の算定要領」に基づき、市立小中義務教育学校特別支援学級に在籍する児童61人へ計747,651円、生徒26人(義務養育学校後期課程含む)へ計926,469円の奨励費を支給しました。					

実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのように変わったのか)	◎ この事業を行うための費用					
	事業 コスト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)
	事業費 ①(千円)		601	675	3,647	1,675
	人件費(概算) ②(千円)		0	0	0	0
	総コスト ①+②(千円)		601	675	3,647	1,675
	うち一般財源(千円)		302	338	1,826	838
	内 訳	小学校費	204	306	1,601	748
		中学校費	397	369	1,788	867
		義務教育学校費	-	-	258	60
	◎対象となる主な経費と年間支給上限額					
	費目	年間支給上限額				
		小学校	中学校			
	学用品・通学用品費	5,820円	11,370円			
	新入学学用品・通学用品費	25,555円	28,990円			
	校外活動費(宿泊有)	1,845円	3,105円			
	校外活動費(宿泊無)	800円	1,155円			
	修学旅行費	10,790円	28,860円			
	オンライン学習通信費	7,000円				
	(※1)学用品・通学用品費と新入学学用品・通学用品費は、学年によりどちらかを支給する。 (※2)オンライン学習通信費は所得に応じて支給する。 ◎成果 奨励費を支給することにより、当該児童生徒の保護者の経済的負担を軽減した。 対象児童生徒1人当たりの平均支給額 児童:約12,256円(61人)、生徒:約35,633円(26人)					



新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	特になし	事業評価(数値化)					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	4	3	3	3.8	B

今後の課題と改善に向けた方向性	国庫補助事業であり、支給額は経費の1/2のみで、費目毎に年間支給上限額も決められている。支給額は経費全額でなく、1/2であることや、実績が上限額を大きく超える金額であったり、十分な支給額とも言えないことから、今後は国に対し見直しの要望も視野に入れていく必要がある。	■ 2年度 ■ 3年度 ■ 4年度			

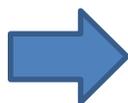
## 教育委員会事業評価 実績一覧(資料)

教育総務課及び学校教育課が行った市内小学校・中学校の施設整備に係る維持管理業務と整備改修業務について、その概要をまとめました。

### ○笠懸小学校トイレ改修工事(第1期)



before



after

### ○笠懸東小学校外壁改修工事



before



after

### ○上記の他にに行われた令和4年度の小中学校施設整備改修事業一覧

#### 小学校

##### 予定された工事(主なもの)

- 1 笠懸小学校校内放送設備更新工事
- 2 笠懸北小学校変圧器更新工事
- 3 笠懸北小学校東校舎外壁工事
- 4 大間々北小学校西側屋根防水工事
- 5 大間々南小学校校舎西側防水・外壁改修工事
- 6 大間々東小学校外周フェンス改修工事
- 7 あずま小中学校中庭階段補修工事

##### 緊急工事(主なもの)

- 1 笠懸小学校浄化槽放流配管補修工事
- 2 笠懸東小学校給水管・散水栓漏水補修工事
- 3 笠懸北小学校中央階段手摺設置工事
- 4 大間々北小学校校舎2階ベランダ一部改修工事
- 5 大間々北小学校照明器具漏電改修工事
- 6 大間々南小学校給水管補修工事
- 7 大間々東小学校揚水ポンプ制御盤内ブレーカー交換工事

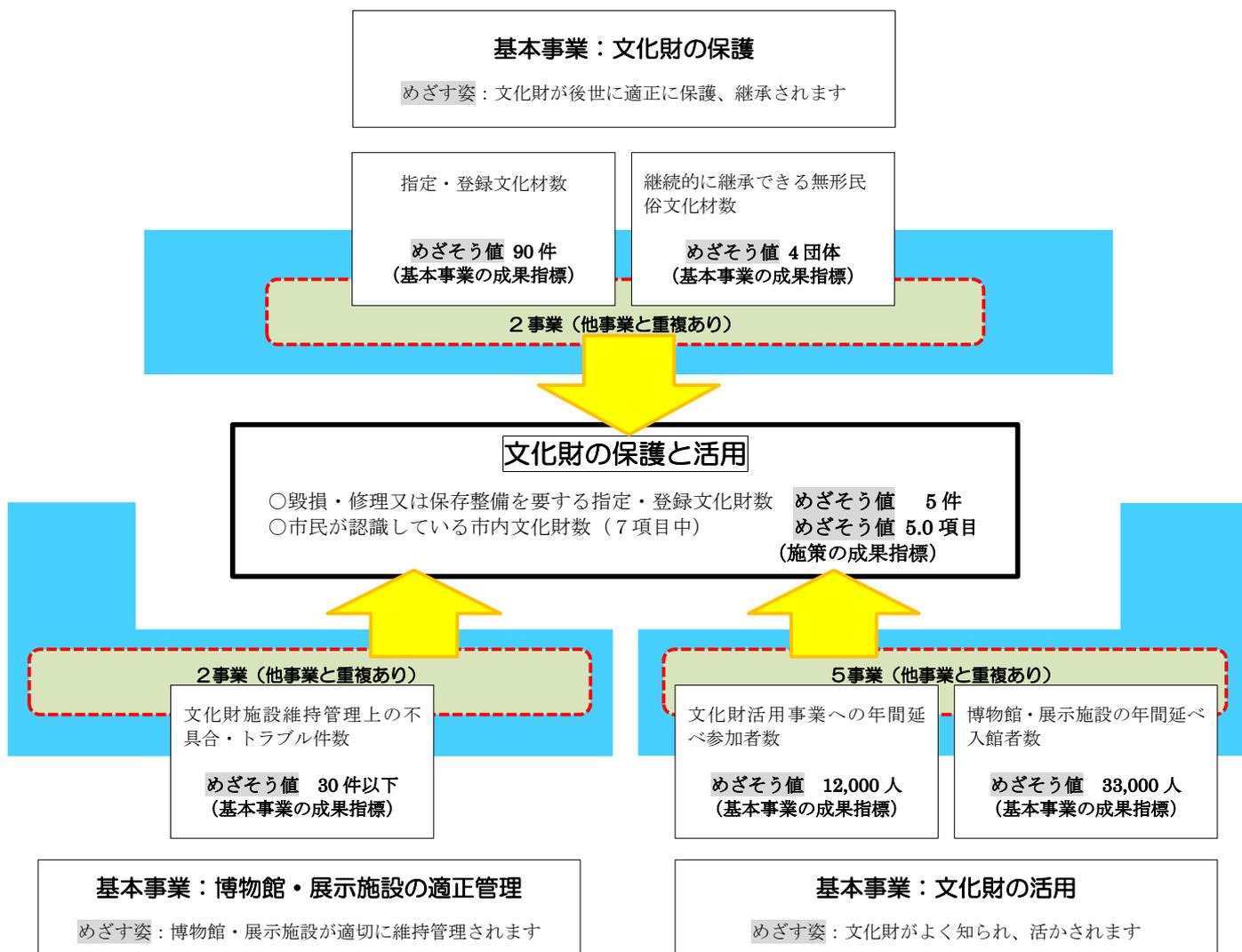
#### 中学校

##### 予定された工事(主なもの)

- 1 笠懸中学校駐輪場設置工事
- 2 笠懸南中学校駐輪場改修工事
- 3 大間々中学校トイレ改修工事(第2期)
- 4 大間々中学校技術棟屋上防水改修工事
- 5 大間々中学校防球ネット改修工事
- 6 大間々東中学校トイレ改修工事(第2期)
- 7 大間々東中学校特別教室棟屋上防水改修工事

##### 緊急工事(主なもの)

- 1 笠懸中学校食堂漏電改修工事
- 2 笠懸中学校外灯改修工事
- 3 笠懸南中学校チャイム改修工事
- 4 笠懸南中学校サッシ調整工事
- 5 大間々中学校音楽室窓台補修工事
- 6 大間々中学校ボイラー室雨樋改修工事
- 7 大間々東中学校屋内消火栓改修工事



基本事業名	番号	事業名	担当課	評価		
				2年度	3年度	4年度
文化財の保護	45	文化財保護事業	文化財課	B	B	C
文化財の活用	46	埋蔵文化財保存事業	文化財課	B	B	C
文化財の活用	47	岩宿文化賞事業	文化財課	B	B	B
文化財の活用	48	岩宿博物館事業	文化財課	B	B	B
博物館・展示施設の適正管理	49	大間々博物館事業	文化財課	B	B	B



◎総合計画における事業目標

		担当課	文化財課		
総合計画施策名	文化財の保護と活用	体系コード	2	3	1 2
施策の成果指標	毀損・修理又は保存整備を要する指定・登録文化財数 市民が認識している市内文化財数(7項目中)	めざそう値 (2022年度)	5件 5.0項目		

基本事業名	文化財の保護、文化財の活用				
基本事業成果指標	指定・登録文化財数	めざそう値 (2022年度)	90件		
	継続的に継承できる無形民俗文化財数		4団体		
	文化財活用事業への年間延べ参加者数		12,000人		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	文化財保存活用事業	重点施策 コード	3	(1)	ア	(ア)
事業の目的 (何をやるのか)	文化財を適正に保護し、後世に継承できるよう推進する。 文化財がよく知られ、活用されるように啓発を図る。					
4年度事業の 取組内容	指定・登録に向けた文化財調査、史跡の維持管理、市指定無形民俗文化財保有団体への支援及び助成。					

実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのように変わったのか)	◎ この事業を行うための費用					
	事業 コス ト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)
	事業費 ①(千円)		7,236	9,627	9,921	20,541
	人件費(概算) ②(千円)		3	5	0	0
	総コスト ①+②(千円)		7,239	9,632	9,921	20,541
	うち一般財源(千円)		6,703	3,334	0	0
	◎ 主要な事業の実施結果					
	○文化財保護審議会の開催(8月、3月)対面開催					
	○施設の公開					
	・史跡岩宿遺跡遺構保護観察施設(岩宿ドーム) 公開:307日(前年比+86日)、来場者:12,946人(前年比+3,618人)					
	・史跡西鹿田中島遺跡ガイダンス施設 公開:306日(前年比+89日)、来場者:502人(前年比+139人)					
	○史跡岩宿遺跡内危険木緊急伐採:233本					
	○穴原薬師本堂屋根改修工事(市補助事業)					
	◎ 成果					
	○岩宿ドーム・西鹿田中島遺跡ガイダンス施設が市民等に活用された。					
	○修繕を必要とする文化財について計画された2件の文化財のうち1件を補助事業により修理した。					



史跡内の倒木

新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	施設の公開における手指消毒、ソーシャルディスタンスの確保					事業評価 (数値化)					
	施設の公開における健康状態申告書の記載、記載用筆記用具の消毒(5月31日をもって規制緩和のため中止)					必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
						5	3	3	2	3.3	C

今後の課題と改善に向けた方向性	4月末に発生した史跡岩宿遺跡内の倒木事故により、急遽実施した危険支障木の伐採工事で決算額が大幅に増額した。また、史跡岩宿遺跡保存整備事業が倒木事故の影響等で再考が必要となり繰越事案となった。			
	文化財等の計画的な点検・管理を実施することにより、いかに未然に事故を防ぐかが課題として捉えている。 活動が休止している民俗文化財保持団体があるなど文化財の衰退・滅失を防いでいくため抜本的な対策として、文化財保存活用地域計画の策定などの検討を進めていく必要がある。			

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	文化財の保護と活用	担当課	文化財課		
施策の成果指標	毀損・修理又は保存整備を要する指定・登録文化財数 市民が認識している市内文化財数(7項目中)	体系コード	2	3	1 2
		めざそう値 (2022年度)	5件 5.0項目		

基本事業名	文化財の活用、博物館・展示施設の適正管理				
基本事業成果指標	博物館・展示施設の年間延べ入館者数	めざそう値 (2022年度)	33,000人		
	文化財活用事業への年間延べ参加者数		12,000人		
	文化財施設維持管理上の不具合・トラブル件数		30件		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	埋蔵文化財保存活用事業	重点施策 コード	3	(1) (2)	ア イ	(イ) (ア)
事業の目的 (何をやるのか)	包蔵地内での開発行為に関して、埋蔵文化財の取扱いに係る事前協議及び緊急発掘調査を実施し、遺跡の記録保存と適正な管理を行う。					
4年度事業の 取組内容	・市内の周知の遺跡内における開発行為に係る届出の受理・行政指導・発掘調査の実施 ・市内遺跡埋蔵文化財Web公開システムの公開					

実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのように変わったのか)	◎ この事業を行うための費用					
	事業 コス ト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)
	事業費 ① (千円)		1,608	3,893	2,350	1,902
	人件費(概算) ② (千円)		7,321	7,289	7,623	6,863
	総コスト ①+② (千円)		8,929	11,182	9,973	8,765
	うち一般財源 (千円)		7,119	8,656	8,173	7,643
	◎ 主要な事業の実施結果					
	○埋蔵文化財に係る届出の受理・行政指導・発掘調査					
	・埋蔵文化財包蔵地の照会及び回答件数 242件(前年比+45件)					
	・発掘届出書・通知書受理件数 51件(前年比+9件)					
	・試掘・確認調査・本調査実施件数 6件(前年比▲6件)					
	・発掘届出書・通知書に対する指示・勧告件数 51件(前年比+11件)					
	(内訳:発掘調査 1件、工事立会 17件、慎重工事 33件)					
	○みどり市内埋蔵文化財Web公開システムの運用					
	◎ 成果					
	○発掘調査報告書『みどり市内遺跡12』を刊行					
	○みどり市内埋蔵文化財Web公開システムの公開					



確認調査で見つかった平安時代のイェ

新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	事業評価 (数値化)					
	必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
	5	4	3	2	3.5	C

今後の課題と改善に向けた方向性	埋蔵文化財の発掘調査は、相当な専門知識と実務経験が必要不可欠な業務であり、担当者の育成には様々な現場を経験する機会が必要です。特定の担当者への負担を軽減するためにも、計画的な専門職員の配置が課題である。 みどり市埋蔵文化財Web公開システムは令和3年度にシステム更改を行ったが、令和元年度以降実質更新がなされていない状況である。限られた部数の報告書を公開することは、発掘調査の成果を広く周知することや、博物館等で出土品を活用していく基礎となる作業であるため、早急に対処する必要がある。																								
	<table border="1"> <caption>事業評価 (数値化) の推移</caption> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要性</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>経済効率</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>正確信頼</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>						評価項目	2年度	3年度	4年度	必要性	5	5	5	有効性	4	4	4	経済効率	4	4	3	正確信頼	2	2
評価項目	2年度	3年度	4年度																						
必要性	5	5	5																						
有効性	4	4	4																						
経済効率	4	4	3																						
正確信頼	2	2	2																						

◎総合計画における事業目標

		担当課	文化財課		
総合計画施策名	文化財の保護と活用	体系コード	2	3	2
施策の成果指標	毀損・修理又は保存整備を要する指定・登録文化財数 市民が認識している市内文化財数(7項目中)	めざそう値 (2022年度)	5件 5.0項目		

基本事業名	文化財の活用、博物館・展示施設の適正管理				
基本事業成果指標	博物館・展示施設の年間延べ入館者数	めざそう値 (2022年度)	33,000人		
	文化財活用事業への年間延べ参加者数		12,000人		
	文化財施設維持管理上の不具合・トラブル件数		30件		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	岩宿文化賞事業	重点施策 コード	3	(2)	ア	(ア)
事業の目的 (何をやるのか)	岩宿時代研究の進展に功績のあった者を顕彰すると共に、子供たちが自由研究を通し岩宿時代・縄文時代に興味を持つ機会を作ることで、文化財がよく知られ、活用されるよう推進を図る。					
4年度事業の 取組内容	令和4年度は、本賞、研究奨励賞一般部門並びに学生部門のみの募集を行った。本賞並びに学生部門の小中高生の岩宿時代(旧石器時代)や縄文時代に関する自由研究の中から優秀な作品を選考し表彰した。					

実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのようになったのか)	◎ この事業を行うための費用					
	事業 コス ト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)
	事業費 ① (千円)		0	256	1,531	1,182
	人件費(概算) ② (千円)		0	0	0	
	総コスト ①+② (千円)		0	256	1,531	1,182
	うち一般財源 (千円)		0	256	1,531	1,182
	◎ 主な事業の実施成果 ○本賞 推薦4件 受賞者1件 ○研究奨励賞一般部門 推薦0件 ○研究奨励賞学生部門(応募総数 336件) 小学生の部 応募 250件 優秀研究賞 2件 努力賞 5件 中学生の部 応募 83件 優秀研究賞 1件 努力賞 3件 ユニーク研究賞 1件 高校生の部 応募 3件 優秀研究賞 1件 努力賞 1件 ○授賞式参加者数 52人 ◎成果 本年度は3年ぶりの対面での開催となった。 学生部門賞の応募点数は、前年比▲231人となった。 本賞も4人の推薦があった。 (本賞:岩宿文化賞)					



令和4年度岩宿文化賞授賞式

新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	令和4年度の授賞式は、岩宿博物館開館30周年記念式典とタイアップし、3年ぶりに対面形式での実施となったため、感染症対策として、検温や手指消毒の実施、招待者数の人数制限(通常は100人程度の座席配置)や座席間隔を開けるなどの対策を施しての実施となった。					
	事業評価 (数値化)					
	必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
4	4	4	4	4.0	B	

今後の課題と改善に向けた方向性	岩宿文化賞研究奨励賞学生部門は、年度早期に募集を開始し、周知することで、市内小学校は夏休みの研究課題として取り組んでいただいている。応募者数の減少は、令和3年度に令和2年度の募集中止の救済措置をとり一旦増加したが、令和4年度には通常募集に戻したことによるものである。 本年度は、高校生の部からの応募作品から9年ぶりに優秀研究賞が出るなど、賞のもつ質の向上が認められた。 本賞を含む応募者・推薦者数の増減は、事前の周知に影響を受けるため、周知方法の工夫が引き続き課題となる。			
	<p>■ 2年度 ■ 3年度 ■ 4年度</p> <p>必要性 有効性 経済効率 正確信頼</p>			

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	文化財の保護と活用	担当課	文化財課		
施策の成果指標	文化財の保護と活用	体系コード	2	3	2・3
	毀損・修理又は保存整備を要する指定・登録文化財数 市民が認識している市内文化財数(7項目中)	めざそう値 (2022年度)	5件 5.0項目		

基本事業名	文化財の活用、博物館・展示施設の適正管理				
基本事業成果指標	博物館・展示施設の年間延べ入館者数	めざそう値 (2022年度)	33,000人		
	文化財活用事業への年間延べ参加者数		12,000人		
	文化財施設維持管理上の不具合・トラブル件数		30件		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	岩宿博物館事業	重点施策 コード	3	(2)	ウ エ ア	(ア)・(イ) (ア)~(オ) (イ)
事業の目的 (何をやるのか)	文化財がよく知られ、活用されるように文化財活用事業の充実を図る。 博物館や展示施設の適切な維持管理を行う。					
4年度事業の 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示事業(特別展/常設展/その他の展示)</li> <li>・体験学習事業(学校等の体験学習他)</li> <li>・講座事業(岩宿フォーラム)</li> <li>・施設維持管理事業</li> <li>・相澤忠洋資料保存活用事業</li> <li>・情報収集発信事業(年報・紀要刊行/文献収集)</li> <li>・展示事業(企画展/常設展/その他の展示)</li> </ul>					

実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのようになったのか)	◎ この事業を行うための費用					
	事業 コス ト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)
	事業費 ①(千円)		21,128	21,054	24,297	21,583
	人件費(概算) ②(千円)		10,365	11,030	11,320	10,825
	総コスト ①+②(千円)		31,493	32,084	35,617	32,408
	うち一般財源(千円)		24,841	26,994	29,564	27,989
	◎ 主要な事業の実施結果					
	○ 展示事業 常設展示、企画展、友の会展示、「岩宿人の暮らしをさぐる」展、岩宿人になろう等 開館日数301日 観覧者16,349人(前年比+5,715人) 利用者4,980人(前年比+1,839人) (参考) 令和3年度 開館日数221日 観覧者10,634人 利用者 3,141人					
	○ 体験学習事業 小学校等が石器作りを中心に利用。市内の小中学校には出張事業を行う 利用団体延べ数59団体(前年比+12) 利用者延べ数2,883人(前年比+3人) (参考) 令和3年度 利用団体延べ数47団体 利用者延べ数2,880人					
	○ 相澤忠洋資料保存活用事業 主要な資料の常設展での展示。 4万点を超える資料を一括して寄贈を受ける。					
	○ 講座事業 岩宿大学(4講参加者103人)、岩宿フォーラム(参加者60人) 計163人参加(前年比+41人) (参考) 令和3年度実績122人					
	○ 情報収集発信事業 岩宿時代の文献収集と公開活用、年報、紀要、 広報誌「Origin」刊行、HP・みどり市博物館チャンネル公開。					



相澤忠洋資料の贈与契約に係る調印式での市長と相澤千恵子氏

新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	事業評価 (数値化)					
	必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
	4	4	4	4	4.0	B

今後の課題と改善に向けた方向性	令和5年5月8日からは5類へ移行したことにより、体験学習や講座事業の参加者数の制限を少しずつ緩和していく必要がある。また、アフターコロナでの観覧者・利用者の獲得に向け、博物館に関する情報を発信し続けることや、再び博物館に足を向けてもらうための魅力的なコンテンツを引き続き開発していくことが課題である。 なお、令和4年12月に4万点を超える相澤忠洋資料が市へ寄贈されたことから、相澤氏の功績を恒久的に顕彰していく必要がある。			
	<p>■ 2年度 ■ 3年度 ■ 4年度</p> <p>必要性 有効性 経済効率 正確信頼</p>			

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	文化財の保護と活用	担当課	文化財課		
施策の成果指標	文化財の保護と活用	体系コード	2	3	2・3
	毀損・修理又は保存整備を要する指定・登録文化財数 市民が認識している市内文化財数(7項目中)	めざそう値 (2022年度)	5件 5.0項目		

基本事業名	文化財の活用、博物館・展示施設の適正管理				
基本事業成果指標	博物館・展示施設の年間延べ入館者数	めざそう値 (2022年度)	33,000人		
	文化財活用事業への年間延べ参加者数		12,000人		
	文化財施設維持管理上の不具合・トラブル件数		30件		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	大間々博物館事業	重点施策 コード	3	(2) (3)	エ ア	(ウ)・(エ) (ア)・(イ)
事業の目的 (何をやるのか)	文化財がよく知られ、活用されるように文化財活用事業の充実を図る。 博物館や展示施設の適切な維持管理を行う。					
4年度事業の 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常設展示の充実と企画展・体験企画の開催</li> <li>・小学校総合学習(昔のくらし)等での博物館利用</li> <li>・施設・設備等の不具合の修繕</li> </ul>					

実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのようになったのか)	◎ この事業を行うための費用					
	事業 コス ト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)
	事業費 ① (千円)		5,676	3,946	4,565	3,175
	人件費(概算) ② (千円)		5,601	5,960	5,470	6,109
	総コスト ①+② (千円)		11,277	9,906	10,035	9,284
	うち一般財源 (千円)		10,775	9,295	9,269	8,592
	◎ 主要な事業の実施結果					
	○ 展示及び体験学習の状況 常設展示<通年>、企画展3回、特別展示4回、体験学習2回 ・開館日数 307日(前年比+ 87日) ・観覧者数 5,906人(前年比+802人)					
	○ 市内園児・生徒の利用状況 利用回数11回 計244人 (内訳: 幼稚園1回、保育園1回、小学校3回、中学校1回、高校5回)					
	○ 修繕の状況 ・自動ドア修繕 ・入り口等照明修繕 ・浄化槽柵修繕					
	◎ 成果 ・カブトムシ教室や化石探しの体験学習は子供から大人まで楽しみながら学ぶことができた。 ・企画展などを通して、みどり市の魅力を再発見し、情報発信をすることができた。 ・小学校3年生の「昔のくらし」や大間々高校の地学の授業などで利用された。					



第100回企画展ポスター

新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	事業評価 (数値化)					
	必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
	4	4	3	4	3.8	B

今後の課題と 改善に向けた 方向性	コロナの5類移行後は、観覧者数の回復を図ることが課題と捉え、人気の体験学習や特色ある企画展の開催をするとともに、市内の学校や社会教育施設等と連携し、多様な企画に取り組んで行く必要がある。 施設管理では、開館から35年近くが経過(本館建物 築100年)し、建物自体の老朽化による修繕が増えていることから、計画的な改修が必要である。 また、貴重な資料の増加に伴い保管する収蔵スペースの確保も課題である。			
	■ 2年度 ■ 3年度 ■ 4年度 			

## 教育委員会事業評価 実績一覧(資料)

教育総務課及び文化財課が行った文化財の施設整備に係る維持管理業務と整備改修業務について、その概要をまとめました。

### ○岩宿博物館空調設備改修工事(第2期)

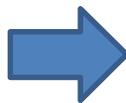
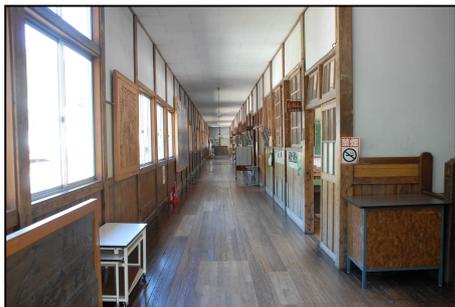


before



after

### ○旧花輪小学校記念館改修工事



### ○上記の他に行われた令和4年度の文化財施設整備改修事業一覧

- ・ちびっこ広場複合遊具修繕
- ・岩宿博物館浄化槽ブロワーモーター交換修繕
- ・岩宿博物館防犯カメラ修繕

### 【文化財施設の維持管理に伴う主な事業】

#### ○施設管理

施設清掃、機械警備、空調設備機器保守、消防設備保守、エレベーター保守、シャッター保守、自動扉保守、電器設備保安管理、ガラス清掃、受水槽清掃、非常用発電機保守、浄化槽維持管理、汚泥引抜、植栽管理、環境衛生管理、節電システム維持管理、防火対象物点検

## 教育委員会事業評価 実績一覧(資料)

岩宿博物館、大間々博物館、富弘美術館の3館は、「博物館法」に基づき設置された施設です。ここでは、この3館の利用状況について、その概要を一覧できるようにまとめてみました。

### 岩宿博物館

2年度開館日数	入館者数	
204	来場者総数	13,157
	来場者のうち観覧者数	10,222
	来場者のうち利用者数	2,935
3年度開館日数	入館者数	
221	来場者総数	13,775
	来場者のうち観覧者数	10,634
	来場者のうち利用者数	3,141
4年度開館日数	入館者数	
301	来場者総数	21,329
	来場者のうち観覧者数	16,349
	来場者のうち利用者数	4,980



### 大間々博物館

2年度開館日数	入館者数	
204	来場者総数	4,414
	来場者のうち観覧者数	4,414
	来場者のうち利用者数	
3年度開館日数	入館者数	
220	来場者総数	5,104
	来場者のうち観覧者数	5,104
	来場者のうち利用者数	
4年度開館日数	入館者数	
307	来場者総数	5,906
	来場者のうち観覧者数	5,906
	来場者のうち利用者数	



### 富弘美術館

2年度開館日数	入館者数	
227	来場者総数	35,376
	来場者のうち観覧者数	29,660
	来場者のうち利用者数	5,716
3年度開館日数	入館者数	
239	来場者総数	36,826
	来場者のうち観覧者数	29,338
	来場者のうち利用者数	7,488
4年度開館日数	入館者数	
337	来場者総数	54,740
	来場者のうち観覧者数	43,966
	来場者のうち利用者数	10,774



※ 観覧者数とは作品展示物の観覧のために入館した人数

※ 利用者数とは学校等への出張授業や館外で開催された事業参加者など、観覧目的ではなく施設を利用された人数

### 基本事業：スポーツ活動の場づくり

めざす姿：より多くの市民が安全、快適に体育施設を利用できます

体育施設の年間延べ利用者数

めざそう値 650,000人  
(基本事業の成果指標)

体育施設維持管理上の不具合・トラブル件数

めざそう値 30件  
(基本事業の成果指標)

1事業

### 市民スポーツの充実

週1回以上スポーツ活動に親しむ成人市民の割合  
めざそう値 35.0% (施策の成果指標)

1事業

スポーツ活動に参加する機会が充足していると思う市民の割合

めざそう値 25%  
(基本事業の成果指標)

教室・大会の延べ参加者数

めざそう値 2,500人  
(基本事業の成果指標)

1事業

市内で組織に属して競技スポーツをしている市民数(体育協会の競技スポーツ種目登録数)

めざそう値 3,000人  
(基本事業の成果指標)

スポーツ登録団体数

めざそう値 440団体  
(基本事業の成果指標)

### 基本事業：スポーツ活動の推進

めざす姿：スポーツ活動に参加する機会が増え、より多くの市民がスポーツを楽しめます

### 基本事業：スポーツ活動の支援

めざす姿：スポーツ活動を継続的にこなえるような組織や指導者が整い、競技スポーツ活動者が増加します

基本事業名	番号	事業名	担当課	評価		
				2年度	3年度	4年度
スポーツ活動の場づくり	50	体育施設管理事業	社会教育課	B	B	B
スポーツ活動の推進	51	スポーツ振興事業	社会教育課	B	C	B
スポーツ活動の支援	52	保健体育総務事業	社会教育課	B	B	B



◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	市民スポーツの充実	担当課	社会教育課		
施策の成果指標	週1回以上スポーツ活動に親しむ成人市民の割合	体系コード	2	4	1
		めざそう値 (2022年度)	35.0%		

基本事業名	スポーツ活動の場づくり				
基本事業成果指標	体育施設の年間延べ利用者数	めざそう値 (2022年度)	650,000人		
	体育施設維持管理上の不具合・トラブル件数		30件		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	体育施設管理事業	重点施策 コード	4	(1)	イ	(イ)
事業の目的 (何をやるのか)	より多くの市民が安全で快適にスポーツ施設を利用できるよう施設の整備と充実を図る。					

4年度事業の  
取組内容

利用者に安全安心で快適に利用していただくため、日常的に施設内の点検及び機器類の修繕を実施しました。状況に応じて空調設備を使用し、熱中症予防対策に取り組みました。また、新型コロナウイルス感染症の減少傾向により、臨時休館せずに開館できましたので、新しい生活様式等による対策を講じ、施設利用の向上を図り利用者の体力・健康づくりに貢献することができました。

◎ この事業を行うための費用

事業 コ ス ト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)
実施結果と成果	事業費 ①(千円)	61,638	58,157	70,470	68,043
	人件費(概算) ②(千円)	0	0	0	0
	総コスト ①+②(千円)	61,638	58,157	70,470	68,043
	うち一般財源(千円)	61,638	58,157	70,470	68,043

【市民体育館利用人数】

区 分	R2年度	R3年度	R4年度
アリーナ	20,541	30,754	60,233
サブアリーナ	2,093	2,054	3,137
会議室	670	845	1,179
トレーニング室	25,046	27,624	43,028
ランニングロード	0	2,652	7,031

【スタジオプログラム】

区 分	R2年度	R3年度	R4年度
教室数	284	353	410
参加者人数	4,794	4,705	6,745

（何をどのようにして、何がどのように変わったのか）

新型コロナウイルス感染症の減少傾向により、臨時休館することなく開館できましたが、開館時には感染防止のため、ガイドラインに則して健康管理、マスク着用、人数制限、換気、手指消毒等による対策を徹底して行いました。市民体育館の情報については、SNSなどを活用し、より多くの方々に情報発信を行いました。

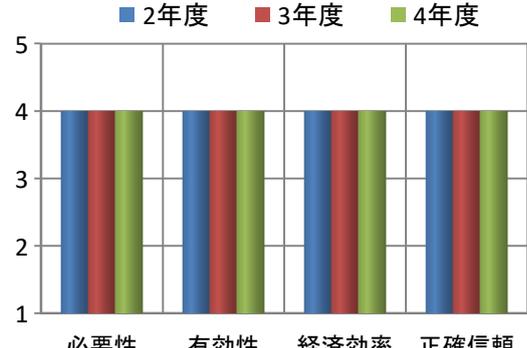
新型コロナウイルス感染症の減少傾向により、臨時休館することなく開館でき、利用者数は前年度比で増加しましたが、コロナ前と比較すると大幅に減少しています。



新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	事業評価(数値化)					
	必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
	4	4	4	4	4.0	B

今後の課題と改善に向けた方向性

市民体育館は2009年1月に開館し、14年が経過し、館内外の設備が、全体的に経年劣化している状況があります。日常的にメンテナンスを適切に行い、利用しやすく良好な施設環境の保持及び安全管理を、図っていく必要があります。トレーニング室では、利用者の定期利用また継続利用の促進のため、また新規利用者の増員確保のため、市民の体力向上、健康づくりの支援となるようなサービス提供に努めます。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、引き続き、利用者の安全を第一に考え、運営を行っていきます。



◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	市民スポーツの充実	担当課	社会教育課		
施策の成果指標	週1回以上スポーツ活動に親しむ成人市民の割合	体系コード	2	4	2
		めざそう値 (2022年度)	35.0%		

基本事業名	スポーツ活動の推進				
基本事業成果指標	スポーツ活動に参加する機会が充足していると思う市民の割合	めざそう値 (2022年度)	25.0%		
	教室・大会の延べ参加者数		2,500人		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針重点施策名	スポーツ振興事業	重点施策コード	4	(2)	ア	(ア)
事業の目的(何をやるのか)	スポーツ活動に参加する機会が増え、より多くの市民がスポーツを楽しめるようにスポーツ機会の充実を図るため市民がいつでも自由にスポーツを楽しめる機会を提供する。					

4年度事業の取組内容	陸上競技の楽しさを味わうとともに生涯にわたりスポーツに親しむ資質を養うことを目的に小学生ナイター陸上競技教室を令和3年度から桐生市、みどり市合同で、桐生市陸上競技場を会場に実施。また、市民スポーツの普及の一環として、みどり市どこでも出前講座を活用したポッチャ(ニュースポーツ)の体験教室を実施した。また、第1回みどり市民ポッチャ大会を開催した。					
------------	--	--	--	--	--	--

実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのようにになったのか)	◎ この事業を行うための費用							
	事業コスト	区分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)		
	事業費 ①(千円)		99	198	2,020	1,073		
	人件費(概算) ②(千円)		2,107	0	0	0		
	総コスト ①+②(千円)		2,206	198	2,020	1,073		
	うち一般財源(千円)		2,205	198	2,020	1,703		
	【小学生ナイター陸上競技教室】			【ポッチャ(ニュースポーツを含む)普及活動】				
	区分	R2年度	R3年度	R4年度	区分	R2年度	R3年度	R4年度
	実施回数	中止	3	5	実施回数	7	3	34
	参加者数	中止	110	59	参加人数	76	151	1704
	みどり市スポーツ協会陸上部、桐生市陸上協会の協力のもと、桐生市と合同で小学4.5.6年生を対象に小学生ナイター陸上競技教室を5日間実施した。(全6日間の日程の内、雨天により1日、中止となった。)				みどり市スポーツ推進委員会を中心にスポーツの普及活動で、みどり市どこでも出前講座によるポッチャ(ニュースポーツを含む)の指導・体験会を行った。 出前講座では、小・中学校及び義務教育学校での実施が多く、その他、行政区等で開催した。			

新型コロナウイルス感染症対策(影響による教訓をどこに生かしたのか)	競技毎のガイドラインの遵守を基本に、健康状態の確認や手指消毒、器具の消毒等を徹底し、スポーツの指導・体験会を開催した。また、指導・体験会の開催にあたり、新型コロナウイルス感染拡大による中止判断の基準を事前に設け実施した。					
	事業評価(数値化)					
	必要性	有効性	経済性効率性	正確性信頼度	評価数値	評価結果
	4	4	4	4	4.0	B

今後の課題と改善に向けた方向性	現役世代(25~44歳)の運動やスポーツ活動に参加する機会が目標値より低いことから、スポーツ活動に親しむ環境づくりが必要である。 健康寿命の延伸は、社会保障費の抑制につながり、運動・スポーツをすることにより、多くの市民が健康で充実した生活ができるよう、市民、団体、企業等が参加する共同の取り組みとして、スポーツに親しみスポーツを始めるきっかけ・健康を意識する機会を提供し、市民スポーツの充実、健康づくりの推進、併せて地域の活性化を図る。																								
	<p>■ 2年度 ■ 3年度 ■ 4年度</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> <tr> <td>必要性</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>経済効率</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>正確信頼</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </table>						項目	2年度	3年度	4年度	必要性	4	4	4	有効性	4	4	4	経済効率	3	3	3	正確信頼	4	4
項目	2年度	3年度	4年度																						
必要性	4	4	4																						
有効性	4	4	4																						
経済効率	3	3	3																						
正確信頼	4	4	4																						

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	市民スポーツの充実	担当課	社会教育課		
施策の成果指標	週1回以上スポーツ活動に親しむ成人市民の割合	体系コード	2	4	3
		めざそう値 (2022年度)	35.0%		

基本事業名	スポーツ活動の推進				
基本事業成果指標	市内で組織に属して競技スポーツをしている市民数(スポーツ協会の競技スポーツ種目登録者数)	めざそう値 (2022年度)	3,000人		
	スポーツ登録団体数		440団体		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針重点施策名	保健体育総務事業	重点施策コード	4	(3)	ア	(ア)
事業の目的(何をするのか)	スポーツ協会やスポーツ少年団の自主的・自律的な活動を支援し、スポーツ活動の継続的な活性化を図る。					
4年度事業の取組内容	スポーツ・レクリエーションを振興し、市民体力の向上と競技スポーツの普及発展を図り、スポーツ精神の育成と市民相互の融和を図ることを目的とするみどり市スポーツ協会の活動に要する経費に対し補助金を交付した。スポーツ少年団の普及と育成及び活動の活性化を図り、青少年にスポーツを振興し、もって青少年の心身の健康な育成に資することを目的とするスポーツ少年団の活動に要する経費に対し、補助金を交付した。					

実施結果と成果	◎ この事業を行うための費用					
	事業コスト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)
		事業費 ①(千円)	4,103	4,075	4,385	4,385
		人件費(概算) ②(千円)	0	0	0	0
総コスト ①+②(千円)		4,103	4,075	4,385	4,385	
	うち一般財源(千円)	4,103	4,075	4,385	4,385	
(何をどのようにして、何がどのようになったのか)	【スポーツ協会の競技スポーツ種目登録者数】					
	区 分	R2年度	R3年度	R4年度		
	登録者数	2,331	2,296	2,197		
	【スポーツ登録団体数】					
	区 分	R2年度	R3年度	R4年度		
	登録者数	382	354	341		
	<p>スポーツ協会には、22競技団体が所属しており、登録人数が多い順で野球、バドミントン、バレーボール、グラウンドゴルフ、卓球となっている。また、3団体(日本拳法、太極拳、健康体操)休部となっている。</p> <p>協会所属団体や個人活動、部活動で活発にスポーツに親しむ中で、全国・関東大会レベルでは、ゴルフ、水泳、ボウリング、県大会レベルではバドミントン、卓球、陸上競技で優勝等、好成績を残している団体や競技者がいた。</p>					

新型コロナウイルス感染症対策(影響による教訓をどこに生かしたのか)	競技毎のガイドラインの遵守を周知し、器具や手指消毒、健康状態の管理を徹底し、スポーツに取り組んでいただいた。					
	事業評価(数値化)					
	必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
	4	3	4	4	3.8	B

今後の課題と改善に向けた方向性	<p>スポーツ協会に加盟していない競技種目及び活動団体もあることから、協会に加盟できるように中心となる団体の育成や立ち上げ等の支援を行う必要がある。</p> <p>スポーツ協会やスポーツ少年団などの団体を支援し、スポーツ団体の活動情報の発信を行うなど、団体との連携を強化し、活動の活性化を図るとともに、指導者の育成や競技スポーツ活動者の増加を促進する。</p>																								
	<table border="1"> <caption>事業評価(数値化)の推移</caption> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要性</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>経済効率</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>正確信頼</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>						評価項目	2年度	3年度	4年度	必要性	4	4	4	有効性	4	4	3	経済効率	4	4	4	正確信頼	4	4
評価項目	2年度	3年度	4年度																						
必要性	4	4	4																						
有効性	4	4	3																						
経済効率	4	4	4																						
正確信頼	4	4	4																						

## 教育委員会事業評価 実績一覧(資料)

社会教育課が行ったスポーツ施設の整備に係る維持管理業務と整備改修業務について、その概要をまとめました。

### ○花輪小学校体育館解体工事



### ○旧神梅小学校体育館屋根改修工事



### ○上記の他にに行われた令和4年度のスポーツ施設施設整備改修事業一覧

- 1 旧神梅小学校体育館誘導灯改修工事
- 2 東運動公園管理棟横インバート柵改修工事
- 3 東運動公園社会体育館時計改修工事
- 4 笠懸グラウンド駐車場敷き砂利工事
- 5 西鹿田グラウンド駐車場敷き砂利工事
- 6 大間々グラウンド仮設フェンス設置工事
- 7 RemoteLOCK設置工事
- 8 笠懸グラウンド固定ベース設置工事
- 9 西鹿田グラウンドバックネット腰壁部防護マット設置工事
- 10 市民体育館電動ロールスクリーン交換工事

### 【スポーツ施設の維持管理に伴う主な事業】

#### ○施設管理

施設清掃、機械警備、空調設備機器保守、消防設備保守、エレベーター保守、自動扉保守、電器設備保安管理、ガラス清掃、受水槽清掃、非常用発電機保守、浄化槽維持管理、汚泥引抜、植栽管理、防火対象物点検

### 基本事業：青少年の健全育成の推進

めざす姿：教育、相談活動が充実し、青少年が健全に育成されます

青少年健全育成活動への参加率

めざそう値 22.0%  
(基本事業の成果指標)

2事業

### 安全な暮らしの推進

交通事故や犯罪が少なく安全だと思う市民の割合

めざそう値 80.0% (施策の成果指標)

基本事業名	番号	事業名	担当課	評価		
				2年度	3年度	4年度
青少年の健全育成の推進	53	子どもの学び支援事業	社会教育課	E	B	B
	54	青少年健全育成事業	社会教育課	B	B	B

### 基本事業：人権教育・啓発の推進

めざす姿：さまざまな人権問題への理解を深め、市民が互いの基本的人権を尊重し合い、人権を侵害しなくなります

各種人権侵害措置件数

めざそう値 0件  
(基本事業の成果指標)

人権に関する相談件数

めざそう値 200件以下  
(基本事業成果指標)

1事業

### 人権尊重の推進

この1年間で人権が侵害されたことがある市民割合

めざそう値 5.0%以下 (施策の成果指標)

基本事業名	番号	事業名	担当課	評価		
				2年度	3年度	4年度
人権教育・啓発の推進	55	人権教育事業	社会教育課	C	B	B



◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	安全な暮らしの推進	担当課	社会教育課		
施策の成果指標	交通事故や犯罪が少なく安全だと思う市民の割合	体系コード	3	3	4
		めざそう値 (2022年度)	80.0%		

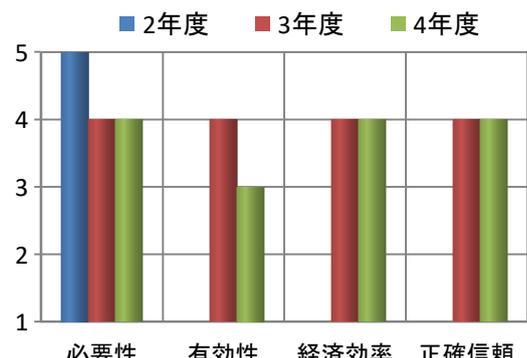
基本事業名	青少年の健全育成の推進				
基本事業成果指標	青少年健全育成活動への参加率	めざそう値 (2022年度)	22.0%		
	—		—		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	子どもの学び支援事業	重点施策 コード	5	(1)	ア	(ア)
事業の目的 (何をやるのか)	子供たちの学校外活動を地域ボランティアで支えることにより、地域全体で健全育成を推進する。					
4年度事業の 取組内容	夏休み等の長期の休みを子供たちが自主的に学習するための環境づくりとして、公民館の会議室等を開放し、グループでの学習を支援するとともに、大学生等の地域ボランティアによる学習支援を行う。					

実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのようになったのか)	◎ この事業を行うための費用						
	事業コスト	区分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)	
	事業費 ① (千円)		0	35	79	46	
	人件費(概算) ② (千円)		0	0	0	0	
	総コスト ①+② (千円)		0	35	79	46	
	うち一般財源 (千円)		0	35	79	46	
実績・成果	公民館	区分	R2年度	R3年度	R4年度		
		笠懸	施設開放日数	中止	8	8	
			延べ参加者数(人)	—	252	155	
		大間々	施設開放日数	中止	8	4	
			延べ参加者数(人)	—	35	20	
		東	施設開放日数	中止	8	4	
			延べ参加者数(人)	—	2	0	
	ボランティア人数	—	15	25			
	<p>事前に学習支援ボランティアを募集し、説明会でボランティア内容等の説明を行った上で事業を実施した。子供たちの学習意欲を高めるとともに、地域の人と交流する機会を作ることができた。</p>  <p>笠懸公民館で実施の様子</p>						

新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	公民館入口での手指消毒・体温測定その他、マスクの着用、使用後の机の消毒、こまめな換気、参加者間の距離の確保等の感染防止対策を実施した。					
	事業評価 (数値化)					
	必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
	4	3	4	4	3.8	B

今後の課題と改善に向けた方向性	3館共通の課題として、事業の実施に欠かせないボランティアの確保が挙げられる。毎年必要人数を確保できる保証はなく、SNSを活用した周知等、効果的な広報を模索する必要がある。最近では学生ボランティアの応募が増えていることから、大学・高校等の教育現場との連携も重要となる。令和4年度は利用者が減少したが、コロナ禍との関連を分析する必要もある。			
	地域により参加者数に偏りがあるため、利用増に向けた各公民館での取り組みが課題となる。子供を対象とした教室等を拡充し利用してもらうことで、公民館を身近な場所と感じてもらおうことが必要と考える。			
	 <p>■ 2年度 ■ 3年度 ■ 4年度</p>			

◎総合計画における事業目標

		担当課	社会教育課		
総合計画施策名	安全な暮らしの推進	体系コード	3	3	4
施策の成果指標	交通事故や犯罪が少なく安全だと思う市民の割合	めざそう値 (2022年度)	80.00%		

基本事業名	青少年の健全育成の推進				
基本事業成果指標	青少年の健全育成活動への参加率	めざそう値 (2022年度)	22%		
	—		—		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	青少年健全育成事業	重点施策 コード	5	(1)	ア	(イ)
事業の目的 (何をやるのか)	子供たちが安心して生活できる地域環境をつくり、青少年を健全に育成するため、地域に密着した青少年健全育成活動を推進し、市民の青少年健全育成に対する意識を向上させる。					
4年度事業の 取組内容	青少年センター相談員及び補導員並びに青少年育成推進員による活動を実施した。パトロールや街頭補導は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑みながらの実施であった。新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、少年の主張大会、青少年健全育成大会、成人式等は一部規模を縮小し、開催した。					

実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのようになったのか)	◎ この事業を行うための費用					
	事業 コス ト	区 分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)
	事業費 ① (千円)		5,837	6,225	7,352	6,535
	人件費(概算) ② (千円)		0	0	0	0
	総コスト ①+② (千円)		5,837	6,225	7,352	6,535
	うち一般財源 (千円)		5,753	6,141	7,268	6,451
	実績・成果					
	事業名		R2年度	R3年度	R4年度	
	少年の主張みどり市大会	来場者数	—	55人	64人	
	非行防止標語コンクール	応募者数	2,494人	2,606人	2,471人	
	青少年健全育成大会	来場者数	—	129人	136人	
	青少推パトロール・広報	回数	23回	6回	14回	
	街頭指導	延人数/回数	290人/99回	142人/60回	353人/127回	
	各種大会については、感染対策を講じた上で開催した。 青少年育成推進員によるパトロールや青少年センター補導員による街頭補導活動など、新型コロナウイルス感染症が比較的落ち着いたため、令和3年度に比べて回数は増加となった。 スマートフォンやゲーム機などの正しい使用方法を啓発するリーフレット「おぜのかみさま」を使用した啓発活動などを実施した。					

新型コロナウイルス感染症対策 (影響による教訓をどこに生かしたのか)	新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で、各種大会、活動を実施した。					
	事業評価 (数値化)					
	必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
	5	4	4	4	4.3	B

今後の課題と改善に向けた方向性	青少年の健全育成のためには、家庭や地域との連携がとて重要になっている。 コロナ禍では様々な制限がある中での各種大会の開催、活動であったため、実績にも影響が及んだが、コロナ対応が変更となる中で、地域の多くの方々に各種大会、活動の内容を知ってもらえるようにいかにPRしていくかを検討していく。																						
	<p>■ 2年度 ■ 3年度 ■ 4年度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要性</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>経済効率</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>正確信頼</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>				項目	2年度	3年度	4年度	必要性	5	5	5	有効性	4	4	4	経済効率	4	4	4	正確信頼	4	4
項目	2年度	3年度	4年度																				
必要性	5	5	5																				
有効性	4	4	4																				
経済効率	4	4	4																				
正確信頼	4	4	4																				

◎総合計画における事業目標

総合計画施策名	人権尊重の推進	担当課	社会教育課		
施策の成果指標	この1年間で、人権が侵害されたことがある市民の割合	体系コード	7	2	1
		めざそう値 (2022年度)	5%		

基本事業名	人権教育・啓発の推進				
基本事業成果指標	各種人権侵害措置件数	めざそう値 (2022年度)	0件		
	人権に関する相談件数		200件		

◎総合計画実現に向けた令和4年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針重点施策名	人権教育事業	重点施策コード	6	(1)	ア	(ア) (イ)
事業の目的 (何をやるのか)	市民一人一人が互いの生命と人権を尊重し、あらゆる差別と偏見をなくすための学習機会や活動の充実を図るとともに、地域や職場における人権教育のリーダーとなる人材を養成する。					
4年度事業の取組内容	人権教育事業として、「女性の人権(市民対象)」、「指導者養成講座(教職員対象)」を開催した。また、啓発事業として「みどり市人権展」を開催するとともに、子供たちが作った人権標語の代表作品を印字したクリアフォルダを作成し、園児・児童・生徒に配布し、人権問題啓発を実施した。					

実施結果と成果  (何をどのようにして、何がどのように変わったのか)	◎ この事業を行うための費用					
	事業コスト	区分	R2決算	R3決算	R4予算	R4決算(概算)
	事業費 ①(千円)		297	293	415	329
	人件費(概算) ②(千円)		0	0	0	0
	総コスト ①+②(千円)		297	293	415	329
	うち一般財源(千円)		297	293	415	329
実績・成果	事業名		R2年度	R3年度	R4年度	
	人権教育指導者養成講座	参加者数	29人	14人	11人	
	人権教育啓発講座	参加者数	67人	25人	46人	
	人権展	出品数	8,833点	8,086点	7,486点	
	人権標語クリアフォルダ配布	配布数	5,500枚	5,300枚	5,260枚	
<p>人権教育指導者養成講座は、「部落問題の現状と課題について」をテーマに、教職員向け講座として実施し、人権教育啓発講座は、「インターネット等による人権侵害」、「子どもたちの人権」をテーマに、PTA連合会会員等を対象に実施した。</p> <p>また、市内の幼稚園・小中高等学校・特別支援学校が、人権教育の一環として作成した作品を展示する「人権展」を笠懸公民館を会場に開催した。また、各校を代表する標語を掲載したクリアファイルを作成し、園児・児童生徒に配布することで、人権問題の啓発につなげた。</p>						

新型コロナウイルス感染症対策(影響による教訓をどこに生かしたのか)	感染症対策を講じた上で、各種講座等を実施した。					
	事業評価(数値化)					
	必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
	5	4	2	4	3.8	B

今後の課題と改善に向けた方向性	性の多様性やスマートフォン・インターネットによる人権侵害など、新たな人権問題への対応も求められている。人権問題を学び、気づくことで意識も変わってくるものであるから、市民への意識付けをどのように行っていくかが検討していく必要がある。																								
	<p>■ 2年度 ■ 3年度 ■ 4年度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要性</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>経済効率</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>正確信頼</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>						項目	2年度	3年度	4年度	必要性	5	5	5	有効性	4	4	4	経済効率	2	2	2	正確信頼	4	4
項目	2年度	3年度	4年度																						
必要性	5	5	5																						
有効性	4	4	4																						
経済効率	2	2	2																						
正確信頼	4	4	4																						